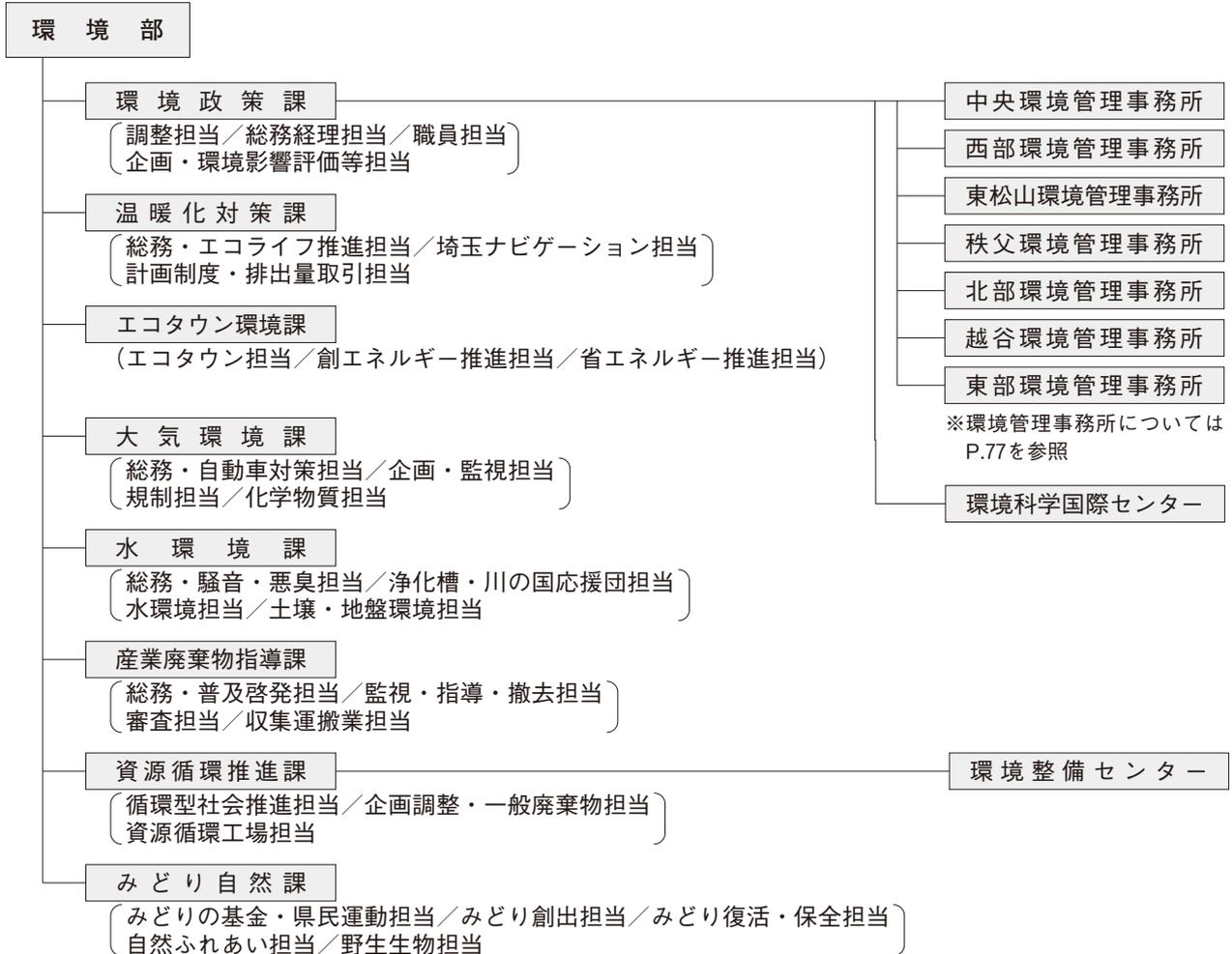


1 環境行政全般

(1) 環境保全・創出の推進体制 ア 環境部の組織 (H29.4.1)



イ 環境保全対策予算(環境費)

(単位：千円)

| 項目 | 平成28年度当初予算 | 平成27年度当初予算 |
|---------|------------|------------|
| 環境総務費 | 3,566,096 | 3,568,491 |
| 環境保全推進費 | 1,827,485 | 2,766,298 |
| 自然保護対策費 | 3,060,127 | 2,296,929 |
| 公害対策費 | 1,227,498 | 1,378,883 |
| 廃棄物対策費 | 1,689,847 | 1,702,532 |
| 合計(環境費) | 11,371,053 | 11,713,133 |

[環境管理事務所について]

地域における環境保全対策は、地域の自然特性、環境の状況、社会経済の動向、地域住民の要求等に対応して総合的に講じる必要があります。埼玉県では、地域の環境問題を総合的に把握し、きめ細かい環境行政を推進するため、県内7か所に環境管理事務所を設置しています。

大気・水質関係

(工場・事業場への立入検査)

大気汚染や水質汚濁を防止するため、工場や事業場に焼却炉などの施設を設置する場合、事前の届出により、審査しています。

設置した施設に、立入検査を行い、排出ガスや排出水の自主測定結果を確認しています。

また、定期的に排出ガスや排出水を県が測定し、排出基準を超えた場合には、勧告や改善命令などの措置を行っています。

(浄化槽関係)

住宅その他建築物に浄化槽を設置する場合、事前の届出により、審査しています。

また、浄化槽相談員を置き、浄化槽の適正な維持管理を指導しています。

(異常水質事故)

公共用水域において油の流出、魚類の浮上・へい死などが発生した場合、河川管理者などと連携して発生

源の特定や被害の拡散防止などを行っています。

(土壌・地下水関係)

工場又は事業場の施設を廃止した場合や大規模な土地改変を行う場合に、土地の所有者等に土壌汚染状況を確認させ、汚染されていた場合には、土壌や地下水の汚染の除去等の措置を指導しています。

また、地盤沈下を防止するため、地下水の採取に関する規制を行っています。

(化学物質関係)

化学物質による人や環境への影響を軽減させるため、化学物質管理促進法や県生活環境保全条例に基づき、事業者から排出量や移動量、取扱量について届出を受けています。また化学物質を適正管理するための手順書や環境負荷低減主任者の届出等を受理するほか、県条例に基づき事業所への立入検査を実施しています。

自動車対策関係

ディーゼル車の運行規制等による排出ガス対策、低燃費車の導入やエコドライブ等によるCO₂削減対策を推進するため、運行車両の検査や事業場の立入検査を行うほか、事業者が提出する自動車使用管理計画、自動車地球温暖化対策計画の受理等を行っています。

自然保護関係

狩猟免許試験と免許の更新、県内狩猟者の登録、傷病野生鳥獣の保護、緑化の推進などの事務を行っています。

県内では秩父多摩甲斐国立公園及び10か所の県立自然公園を指定しており、中央、西部、東松山、秩父、北部の各環境管理事務所において建築物の新築等の許可、届出の受理、歩道等の施設の設置・修繕等を行っています。

廃棄物・残土関係

一般廃棄物については、市町村等の一般廃棄物処理施設などに立入検査を行っています。また、産業廃棄物については、産業廃棄物処理施設や家屋解体現場、PCB廃棄物保管事業所に対して重点的に立入検査を実施しています。さらに、悪質な不法投棄、不適正な処理が後を絶たないため、監視パトロールを強化しています。

また、無秩序な土砂の堆積防止を目的として土砂の排出及び堆積の規制業務を行っています。

砂利関係

西部、東松山、秩父、北部、東部の各環境管理事務所管内で砂利、岩石、土の採取が行われており、事業者の登録、採取計画の認可のための指導等を行っています。

また、随時、各事業所等への立入検査を実施して、岩石等の崩落などによる災害の未然防止や無認可、不法採取の監視に努めています。

温暖化対策関係

家電製品等の省エネルギー情報提供の義務付け等による地球温暖化対策を推進するため、店舗への立入検査を行うほか、事業者が提出する省エネルギー性能説明推進者の届出の受理などを行っています。

ウ 環境保全に関する主な条例、計画等の概要

環境保全に関する主な条例

◆埼玉県環境基本条例

本県における環境の保全及び創造に関する施策の基本的な方向と枠組みを示すものとして、平成7年4月から施行されました。環境への負荷の少ない持続的に発展することができる社会の構築等を基本理念に、行政、事業者、県民の責務などについて定めています。

◆埼玉県生活環境保全条例

大気汚染や水質汚濁など工場等を排出源とする産業型公害の規制措置のほか、自動車交通公害などの都市・生活型公害対策や増大する廃棄物の処理対策、化学物質の適正管理対策に関する必要な事項を定めています。平成13年7月に従来からの公害防止条例（昭和37年6月制定）を全部改正し、平成14年4月から施行されました。

◆埼玉県環境影響評価条例

環境に著しい影響を及ぼすおそれのある事業の実施に際し、あらかじめその事業の実施による影響について調査・予測を行い、環境保全のための措置を検討する手順を定めています。平成7年12月から施行されました。

◆埼玉県地球温暖化対策推進条例

県、事業者、県民、環境保全活動団体等の責務を規定し、県民総ぐるみでの取組により、地球温暖化対策を推進するための幅広い対策を定めています。平成21年3月から施行されました。具体的な温室効果ガス削減

のための制度を盛り込み「ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050（埼玉県地球温暖化対策実行計画）の実効性を高めています。

◆埼玉県土砂の排出、たい積等の規制に関する条例

土砂の排出、堆積等に関し必要な規制を行うことにより、無秩序な土砂の堆積を防止し、県民の生活の安全の確保及び生活環境の保全に寄与することを目的として平成15年2月に施行されました。土砂の排出や堆積を行うに際しての必要な手順を定めています。

◆埼玉県ごみの散乱防止に関する条例

県土の環境美化を推進し、快適な生活環境の確保を図るために、ごみの散乱防止に関し必要な事項を定めています。平成13年4月から施行されました。

◆ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例

緑の保全と創出を一層推進するため、市民団体等との協働による緑地の保全や、1,000㎡以上の敷地における建築行為に際して緑化計画書の届出を行うことを定めています。平成17年3月にふるさと埼玉の緑を守る条例（昭和54年3月制定）を一部改正し、平成17年10月から施行されました。

◆埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例

希少な野生動植物を絶滅から守り、県民共通の財産として次代に継承するため、希少野生動植物の種の保護に必要な事項を定めています。平成12年12月から全部施行されました。

環境保全に関する主な計画

●埼玉県環境基本計画

「環境基本条例」の基本理念の実現を図るための総合的な計画で、5つの長期的な目標と20の施策展開の方向を示すとともに、施策、取組、施策指標を掲げています。

●埼玉地域公害防止計画

現に公害が著しいか、又は、人口及び産業の急速な集中により公害が著しくなるおそれがある地域を対象として、総合的な公害防止策を講じ、地域住民の健康を保護し、生活環境を保全しようとするものです。（昭和47年度以降9回策定）

●埼玉県環境配慮方針

「環境基本計画」に基づき、県が実施する公共事業や事務事業（オフィスづくり）において、環境へ配慮すべき事項を定めました。オフィスづくり部門では、平成27年度から「第2期ストップ温暖化・埼玉県庁率先実行プラン」に基づき、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。公共事業については、平成14年3月に改訂しました。

●ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050

（埼玉県地球温暖化対策実行計画）

地球温暖化対策の視点から2050年の本県のあるべき姿を描き、その達成に向けた中期目標とその実現のための施策を示しています。平成27年3月に見直しを行い、2020年における埼玉県の温室効果ガス（需要側）を2005年比21%削減する目標を定めています。

●埼玉県自動車排出窒素酸化物及び自動車排出粒子状物質総量削減計画

「自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質

の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法」（自動車NOx・PM法）の規定に基づき平成25年5月に策定しました。

●化学的酸素要求量、窒素含有量及びりん含有量に係る総量削減計画

国が策定した「化学的酸素要求量、窒素含有量及びりん含有量に係る総量削減基本方針」を受けて、東京湾に流入する汚濁負荷量の総量を削減する目的で、第8次総量削減計画を平成29年7月に策定しました。

●埼玉県廃棄物処理基本計画

県内で発生する廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用、適正処理を推進し、廃棄物を取り巻く諸情勢の変化や新たな課題への対応を図るための具体的な施策を取りまとめたものです。第8次計画を平成28年3月に策定しました。

●生物多様性保全県戦略

本県の豊かな自然環境を守り、生物多様性を保全していくための取組を示しています。平成20年3月に策定しました。

●埼玉県広域緑地計画

緑の将来像を「緑とともに暮らす、ゆとり・安らぎ「埼玉」とし、ふるさと埼玉を象徴する緑を守り、新たな緑を育てていくことにより、緑豊かな埼玉を形成していくために、第2次計画を平成29年3月に策定しました。

(2) 市町村の環境基本計画策定状況及び環境保全に係る条例の制定状況

(平成29年9月1日現在)

| 市町村名 | 環境保全の基本的姿勢や方向を示すもの | | 公害防止・生活環境保全に係るもの | | 自然環境の保全に係るもの | |
|-------|---|------------------|---|---|---|------------------------|
| | (上段) 条例名称 (下段) 計画名称 | 制定時期 策定時期 | 条例名称 | 制定時期 | 条例名称 | 制定時期 |
| さいたま市 | さいたま市環境基本条例 | H13.5.1 | さいたま市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例 | H13.5.1 | さいたま市みどりの条例 | H13.5.1 |
| | さいたま市環境基本計画 | H16.1 H23.3改訂 | さいたま市空き地の環境保全に関する条例 さいたま市土砂のたい積等の規制に関する条例 さいたま市環境影響評価条例 さいたま市路上喫煙及び空き缶等のポイ捨ての防止に関する条例 さいたま市生活環境の保全に関する条例 さいたま市水質汚濁防止法に規定する特定事業場に 係る排水の汚染状態の測定の回数を定める条例 さいたま市産業廃棄物処理施設の設置等の手続に関する条例 | H13.5.1 H14.12.26 H15.13.14 H19.3.15 H20.10.17 H23.12.27 H27.3.12 | | |
| 川越市 | 川越市良好な環境の保全 に関する基本条例 | H18.9.25 | 川越市あき地の環境保全に関する条例 | S44.11.1 H7.6.27 | 川越市緑の基金条例 川越市地区計画区域 内における建築物の 緑化率の最低限度に 関する条例 | H2.3.26 H21.3.25 |
| | 川越市環境基本計画 | H10.3 | 川越市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例 | H14.12.24 | | |
| | 第二次川越市環境基本計画 | H19.3 | 川越市土砂のたい積等の規制に関する条例 | H19.3.20 | | |
| | 第三次川越市環境基本計画 ※川越市緑の基本計画(平 成28年3月改定版)と合冊 | H28.3 | 川越市廃棄物処理施設設置等紛争の予防及び調整条例 川越市地球温暖化対策条例 川越市廃棄物処理施設専門委員会条例 | H19.12.19 H26.6.25 | | |
| 熊谷市 | 熊谷市環境基本条例 | H17.10.1 | 熊谷市ダイオキシン類排出抑制条例 | H17.10.1 | 熊谷市みどりの基金 条例 | H17.10.1 |
| | 熊谷市環境基本計画 | H20.3 H26.3改訂 | 熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 熊谷市廃棄物焼却施設の設置等に係る紛争の予 防及び調整に関する条例 熊谷市あき地の環境保全に関する条例 熊谷市路上等の喫煙及び吸い殻の散乱の防止に関する条例 熊谷市土砂等のたい積の規制に関する条例 | H17.10.1 H17.10.1 H18.6.27 H19.3.23 | | |
| | 熊谷市環境基本計画 | H20.3 | 熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 | H17.10.1 | 熊谷市ホタルの保護 に関する条例 | H18.12.27 |
| | 熊谷市環境基本計画 | H26.3改訂 | 熊谷市廃棄物焼却施設の設置等に係る紛争の予 防及び調整に関する条例 熊谷市あき地の環境保全に関する条例 熊谷市路上等の喫煙及び吸い殻の散乱の防止に関する条例 熊谷市土砂等のたい積の規制に関する条例 | H17.10.1 H18.6.27 H19.3.23 | | |
| 川口市 | 川口市環境基本条例 | H10.9.28 | 川口市あき地の環境保全に関する条例 | S43.12.26 | 川口市環境みどり基金条例 川口市緑のまちづくり推進条例 | S60.3.6 H11.12.21 |
| | 川口市環境基本計画 | H13.3 | 川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 | H7.3.16 | | |
| | 改訂川口市環境基本計画 | H20.3 | 川口市飲料容器等の散乱の防止に関する条例 | H11.9.30 | | |
| | 第2次川口市環境基本計画 | H23.3 | 川口市地球温暖化対策基金条例 川口市レジ袋の大幅な削減に向けた取組の推進に関する条例 | H22.3.9 H22.3.24 | | |
| | 川口市環境基本計画 | H23.3 | 川口市地球温暖化対策基金条例 川口市レジ袋の大幅な削減に向けた取組の推進に関する条例 | H22.3.9 H22.3.24 | | |
| 行田市 | 行田市環境基本条例 | H14.3.29 | 行田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 | S47.3.30 | | |
| | 行田市環境基本計画 | H16.3 H21.3改定 | 行田市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 行田市産業廃棄物処理施設等の設置に係る紛争 の予防及び調整に関する条例 | H14.9.30 H20.7.1 | | |
| | 第2次行田市環境基本計画 | H26.3 | 行田市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 行田市産業廃棄物処理施設等の設置に係る紛争 の予防及び調整に関する条例 | H14.9.30 H20.7.1 | | |
| 秩父市 | 秩父市環境基本条例 | H18.3.24 | 秩父市環境保全条例 | H17.4.1 | | |
| | ちちぶ環境基本計画 | H24.12 | 秩父市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 秩父市産業廃棄物処理施設の設置等に係る紛争 の予防及び調整に関する条例 | H17.4.1 H18.3.24 | | |
| | ちちぶ定住自立圏で策定 (秩父市、横瀬町、皆野町、 長瀬町、小鹿野町) | H24.12 | 秩父市土砂等のたい積の規制に関する条例 | H18.9.26 | | |
| 所沢市 | 所沢市環境基本条例 | H9.4.1 | 所沢市あき地の雑草除去に関する条例 | S44.10.1 | 所沢市緑の基金条例 | S61.6.21 |
| | 所沢市まちごとエコタウン推進基金条例 | H.26.9.30 | 所沢市あき地の雑草除去に関する条例 | S44.10.1 | | |
| | 所沢市環境基本計画 | H11.3 | 所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 | H7.12.28 | ふるさと所沢のみど りを守り育てる条例 | S63.10.1改正 H23.9.30 |
| | 第2期所沢市環境基本計画 | H23.3 H27.3改定 | ダイオキシンを少なくし所沢にきれいな空気を 取り戻すための条例 | H9.4.1 | | |
| | まちごとエコタウン所沢構想 | H26.3 | 所沢市ダイオキシン類等の汚染防止に関する条例 所沢市土砂のたい積の規制に関する条例 所沢市歩きたばこ等の防止に関する条例 | H11.3.26 H15.7.1 H18.3.27 | | |
| 飯能市 | 飯能市環境基本条例 | H20.6.26 | 飯能市環境保全条例 | H8.3.29 | | |
| | 飯能市環境基本計画 | H15.3 H20.8改定 | 飯能市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 | H14.9.30 | | |
| | 第2次飯能市環境基本計画 | H25.3 | 飯能市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 | H14.9.30 | | |
| 加須市 | 加須市環境基本条例 | H22.3.23 | 加須市環境保全条例 | H22.3.23 | 加須市水と緑と文化の まちづくり基金条例 | H27.3.16 |
| | 加須市環境基本計画 | H28.3改定 | 加須市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 | H22.3.23 | | |
| 本庄市 | 本庄市環境基本条例 | H18.1.10 | 本庄市環境保全条例 | H18.1.10 | | |
| | 本庄市環境基本計画 | H20.3 | 本庄市土砂の堆積の規制に関する条例 | H18.1.10 | | |

| 市町村名 | 環境保全の基本的姿勢や方向を示すもの | | 公害防止・生活環境保全に係るもの | | 自然環境の保全に係るもの | |
|------|---|--|---|---|---|----------------------------------|
| | (上段) 条例名称 (下段) 計画名称 | 制定時期 策定時期 | 条例名称 | 制定時期 | 条例名称 | 制定時期 |
| | | | 本庄市廃棄物の排出の抑制及び適正処理の促進に関する条例 H18.1.10 本庄市廃棄物の減量及び処理に関する条例 H19.12.28 | | | |
| 東松山市 | 東松山市美しく住みよい環境づくり基本条例 東松山市環境基本計画 | H8.12.18 H11.3.31 H23.4.1改定 | 東松山市空き地の環境保全に関する条例 東松山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 東松山市土砂等による土地の埋立て等及び不法投棄の規制に関する条例 東松山のまちをみんなで美しくする条例 | S48.3.24 S52.4.1 H15.6.30 H24.12.20 | | |
| 春日部市 | 春日部市環境基本条例 春日部市環境基本計画 | H19.3.20 H20.3 H25.3見直し | 春日部市あき地の環境保全に関する条例 春日部市土砂のたい積の規制に関する条例 春日部市廃棄物の処理及び再利用に関する条例 春日部市環境にやさしいまちづくり基金条例 | H17.10.1 H17.10.1 H17.10.1 H26.3.13 | 春日部市緑の保全と緑化の推進に関する条例 | H17.10.1 |
| 狭山市 | 狭山市環境基本条例 狭山市環境基本計画 第2次狭山市環境基本計画 | H9.9.30 H10.3 H15.3改定 H24.3 H29.3改定 | 狭山市あき地の環境保全に関する条例 狭山市廃棄物の処理及び再利用に関する条例 狭山市ダイオキシン類の排出の抑制に関する条例 狭山市ポイ捨ての防止に関する条例 狭山市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 狭山市廃棄物焼却炉の設置等の手続きに関する条例 | S44.12.27 H7.12.26 H10.12.28 H11.7.1 H14.3.28 H16.6.22 | 狭山市緑化推進及び緑地保全に関する条例 | S47.9.29 |
| 羽生市 | 羽生市環境基本条例 羽生市環境基本計画 第2期羽生市環境基本計画 | H13.3.30 H15.3 H23.3 | 羽生市空き地の環境保全に関する条例 羽生市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例 羽生市空き缶等の散乱防止に関する条例 羽生市飼い犬ふん害等防止条例 羽生市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 | S56.10.1 H5.6.25 H7.3.30 H7.3.30 H14.3.29 | | |
| 鴻巣市 | 鴻巣市環境基本条例 鴻巣市環境基本計画 | H12.6.30 H15.3 H20.3改定 H25.3改定 | 鴻巣市あき地の環境保全に関する条例 鴻巣市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 鴻巣市路上喫煙及び空き缶等のポイ捨て並びに犬のふんの放置の防止に関する条例 | S45.4.20 S47.4.3 H19.10.1 | 鴻巣市緑化推進条例 | S53.3.30 |
| 深谷市 | 深谷市環境基本条例 深谷市環境基本計画 | H18.1.1 H20.3 | 深谷市ダイオキシン類の排出を抑制する条例 深谷市廃棄物の処理及び再利用に関する条例 深谷市くらしの環境美化条例 深谷市土砂等のたい積の規制に関する条例 | H18.1.1 H18.1.1 H18.1.1 H19.3.30 | | |
| 上尾市 | 上尾市環境基本条例 上尾市環境基本計画 第二次上尾市環境基本計画 第2次上尾市環境基本計画(改訂版) | H9.9.30 H10.3 H22.3 H28.3 | 上尾市あき地の環境保全に関する条例 上尾市環境審議会条例 上尾市廃棄物の処理及び再利用に関する条例 上尾市ポイ捨て等の防止及び環境美化の促進に関する条例 上尾市土砂等のたい積の規制に関する条例 上尾市一般廃棄物処理施設建設基金条例 | S52.12.26 H6.6.23 H7.9.29 H11.3.30 H14.12.27 H22.3.25 | 上尾市自然環境保全と緑化推進に関する条例 上尾市みどりの基金条例 上尾市自然学習館条例 | S48.12.25 H2.3.29 H11.9.30 |
| 草加市 | 草加市環境基本条例 草加市環境基本計画 第二次草加市環境基本計画 | H12.3.28 H12.3 H17.3改定 H22.3改定 H28.3 | 草加市廃棄物の処理及び再利用に関する条例 草加市あき地の環境保全に関する条例 草加市公害を防止し市民の環境を確保する条例 草加市ポイ捨て及び飼い犬のふんの放置の防止に関する条例 草加市土砂等の堆積の規制に関する条例 | S47.9.30 S51.7.1 H16.9.17 H18.3.24 H25.3.18 | 草加市みどりの条例 | S62.3.24 |
| 越谷市 | 越谷市環境条例 越谷市環境管理計画 | H12.3.31 S58.3 H23.12改定 | 空閑地等に繁茂した雑草類の除去に関する条例 越谷市浄化槽の維持管理に関する条例 越谷市廃棄物の処理及び再利用に関する条例 越谷市まちをきれいにする条例 越谷市土砂の堆積等の規制に関する条例 越谷市産業廃棄物処理施設の設置等の手続きに関する条例 | S44.3.31 S51.3.30 H5.3.24 H12.3.31 H26.12.22 H26.12.22 | 越谷市みどりの推進に関する条例 | S48.7.1 |
| 蕨市 | 蕨市環境基本条例 蕨市環境基本計画 | H13.3.30 H15.3 H25.3改定 | 蕨市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 蕨市さわやか環境条例 | H7.3.31 H10.6.23 | | |
| 戸田市 | 戸田市環境基本条例 戸田市環境基本計画 | H12.3.28 H14.3 H25.3改訂 | 戸田市あき地の環境保全に関する条例 戸田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 戸田市ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例 | S49.12.19 H12.3.28 H19.12.17 | 戸田市緑化推進条例 | S49.7.1 |

| 市町村名 | 環境保全の基本的姿勢や方向を示すもの | | 公害防止・生活環境保全に係るもの | | 自然環境の保全に係るもの | |
|------|------------------------|---------------------|-----------------------------------|-----------|--------------------------------|-----------|
| | (上段) 条例名称 (下段) 計画名称 | 制定時期 策定時期 | 条例名称 | 制定時期 | 条例名称 | 制定時期 |
| | | | 戸田市地球温暖化対策条例 | H21.12.21 | | |
| 入間市 | 入間市環境基本条例 | H10.9.30 | 入間市空閑地の環境保全に関する条例 | S45.3.28 | 入間市樹林等の保護及び緑化推進に関する条例 | S60.12.25 |
| | 入間市環境基本計画 | H12.3.21 | 入間市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 | H8.3.26 | | |
| | 第二次入間市環境基本計画 | H21.3 H27.11改訂 | 入間市土砂等による土地の埋め立て等の規制に関する条例 | H14.6.28 | | |
| 朝霞市 | 朝霞市住み良い環境づくり基本条例 | H8.9.30 | 朝霞市産業廃棄物の処理施設の設置等に係る周辺環境の保全に関する条例 | H16.6.29 | 朝霞市緑の基金条例 | H1.6.30 |
| | 朝霞市環境基本計画 | H14.3 | 朝霞市あき地の環境保全に関する条例 | S44.12.25 | | |
| | 第2次朝霞市環境基本計画 | H24.3 | 朝霞市あき地の環境保全に関する条例 | S44.12.25 | | |
| 志木市 | 朝霞市環境基本計画 | H14.3 | 朝霞市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 | H10.12.24 | 朝霞市みどりのまちづくり基金条例 | H14.3.22 |
| | 志木市環境基本条例 | H15.12.24 | 朝霞市ポイ捨ての防止に関する条例 | H12.3.21 | | |
| | 志木市環境基本計画 | H11.3 | 志木市あき地の環境保全に関する条例 | S45.9.21 | | |
| 和光市 | 志木市環境基本計画 | H21.3 | 志木市廃棄物の減量化、再生利用及び適正処理等に関する条例 | H11.3.3 | 志木市みどりの条例 | S51.3.23 |
| | 第二期志木市環境基本計画 | H21.3 | 志木市ポイ捨て防止に関する条例 | H11.12.22 | | |
| | 和光市環境基本条例 | H15.3.25 | 志木市あき地の環境保全に関する条例 | S45.9.21 | | |
| | 和光市環境基本計画 | H15.5 | 和光市あき地の環境保全に関する条例 | S48.6.30 | | |
| | 和光市環境基本計画(改訂版) | H20.3 | 和光市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 | H10.12.24 | | |
| 新座市 | 和光市環境基本計画(改訂版) | H20.3 | 和光市空き缶等のポイ捨て及び飼い犬のふんの放置の防止に関する条例 | H13.12.27 | 和光市緑の保護及び緑化推進に関する条例 | S49.3.25 |
| | 第二次和光市環境基本計画 | H23.3 | 和光市土砂等のたい積の規制に関する条例 | H18.6.15 | | |
| | 第二次和光市環境基本計画(改訂版) | H28.3 | 和光市土砂等のたい積の規制に関する条例 | H18.6.15 | | |
| | 新座市環境基本条例 | H9.12.25 | 新座市あき地の環境保全に関する条例 | S46.12.23 | | |
| | 新座市環境基本計画 | H12.3.31 | 新座市飼い犬ふん害等防止条例 | H8.3.29 | | |
| 桶川市 | 新座市環境基本計画(見直し) | H19.11.30 | 新座市ダイオキシン類規制条例 | H11.3.29 | 新座市みどりのまちづくり条例 | H3.3.29 |
| | 第2次新座市環境基本計画 | H23.3.31 | 新座市ポイ捨ての防止に関する条例 | H13.3.30 | | |
| | 桶川市環境基本計画 | H12.3 | 新座市土砂等のたい積の規制に関する条例 | H15.3.31 | | |
| | | H24.3改定 | 新座市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 | H15.9.30 | | |
| | | | 桶川市環境美化に関する条例 | H25.12.27 | | |
| 久喜市 | 桶川市環境基本計画 | H12.3 | 桶川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 | S47.6.22 | 桶川市みどりの保全及び推進に関する条例 | H4.3.31 |
| | 久喜市環境基本条例 | H24.10.1 | 桶川市あき地の環境保全に関する条例 | S47.9.26 | | |
| | 久喜市環境基本計画 | H25.3 | 桶川市土砂等のたい積の規制に関する条例 | H16.6.18 | | |
| 北本市 | 久喜市環境基本計画 | H25.3 | 桶川市環境美化に関する条例 | H25.12.27 | 桶川市みどりの基金条例 | H6.3.29 |
| | 北本市環境基本条例 | H10.6.26 | 久喜市空き地の環境保全に関する条例 | H22.3.23 | | |
| | 北本市環境基本計画 | H12.3 | 久喜市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 | H22.3.23 | | |
| | 北本市環境基本計画(改訂版) | H20.3 | 久喜市空き缶等のポイ捨て及び飼い犬のふんの放置の防止に関する条例 | H22.3.23 | | |
| 八潮市 | 北本市環境基本計画 | H29.3 | 久喜市空き缶等のポイ捨て及び飼い犬のふんの放置の防止に関する条例 | H22.3.23 | 久喜市自然環境の保全に関する条例 | H22.3.23 |
| | 第二次北本市環境基本計画 | H29.3 | 北本市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 | S47.6.23 | | |
| | 八潮市環境基本条例 | H19.12.19 | 北本市空き地環境保全に関する条例 | S49.6.20 | | |
| | 八潮市環境基本計画 | H21.4.1 | 北本市土砂等のたい積の規制に関する条例 | H17.6.30 | | |
| 富士見市 | 八潮市環境基本計画 | H28.4 | 北本市土砂等のたい積の規制に関する条例 | H17.6.30 | 北本市緑と花のまちづくり基金の設置、管理及び処分に関する条例 | S61.3.25 |
| | 第2次八潮市環境基本計画 | H28.4 | あき地等に繁茂した雑草類の除去に関する条例 | S45.3.14 | | |
| | 富士見市環境基本条例 | H13.12.15 | 八潮市公害防止条例 | S49.12.24 | | |
| | 富士見市環境基本計画 | H15.3 | 八潮市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例 | H5.6.17 | | |
| 三郷市 | 富士見市環境基本計画(改訂版) | H20.3.31 | 八潮市空き缶等のポイ捨て及び飼い犬のふんの放置の防止に関する条例 | H16.9.28 | 八潮市緑の基金条例 | H21.3.23 |
| | 第2次富士見市環境基本計画 | H25.3.31 | 八潮市土砂等のたい積及び投棄の規制に関する条例 | H16.12.24 | | |
| | 三郷市環境基本条例 | H13.6.15 | 富士見市あき地等環境保全条例 | S49.12.26 | | |
| | 三郷市環境基本計画 | H18.3 | 富士見市廃棄物の減量、再生利用及び適正処理に関する条例 | H18.3.27 | | |
| 蓮田市 | 三郷市環境基本計画後期計画 | H25.3 | 富士見市をきれいにする条例 | H19.6.25 | みどりの保護及び緑化の推進に関する条例 | S56.10.8 |
| | 蓮田市環境基本条例 | H13.3.27 | 三郷市公害防止条例 | S50.6.18 | | |
| | | | 三郷市空き缶等の散乱防止に関する条例 | H9.3.21 | | |
| | | | 三郷市土砂等のたい積の規制に関する条例 | H17.6.16 | | |
| | | | 三郷市廃棄物の処理及び再利用並びに資源物の持ち去り防止に関する条例 | H21.3.23 | 富士見市緑地保全基金条例 | H13.3.14 |
| | | 三郷市あき地の雑草等の除去に関する条例 | H26.3.24 | | | |
| | | 蓮田市空閑地の環境保全に関する条例 | S46.2.15 | | | |
| | | | | | | |

| 市町村名 | 環境保全の基本的姿勢や方向を示すもの | | 公害防止・生活環境保全に係るもの | | 自然環境の保全に係るもの | |
|-------|---|--------------------------------------|--|---|-------------------------------|----------------------|
| | (上段) 条例名称 (下段) 計画名称 | 制定時期 策定時期 | 条例名称 | 制定時期 | 条例名称 | 制定時期 |
| | 蓮田市環境基本計画 | H15.3 | 蓮田市環境保全条例 蓮田市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 | H14.9.30 H17.3.29 | | |
| 坂戸市 | 坂戸市環境基本条例 坂戸市環境基本計画 坂戸市環境基本計画(中間 H20.2 年次改訂版) 第2次坂戸市環境基本計画 | H14.3.27 H15.12 H20.2 H25.3 | 坂戸市環境保全条例 坂戸市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 | H9.12.18 H13.3.30 | 坂戸市緑と花と清流 基金条例 | H17.12.21 |
| 幸手市 | 幸手市環境基本条例 幸手市環境基本計画 | H17.12.27 H16.12 | 幸手市あき地の環境保全に関する条例 幸手市廃棄物の処理及び再利用に関する条例 幸手市土砂等のたい積の規制に関する条例 幸手市産業廃棄物処理施設の設置等に係る紛争の予防及び調整に関する条例 | S51.10.13 H6.3.28 H16.3.22 H21.12.18 | | |
| 鶴ヶ島市 | 美しく住みよい鶴ヶ島市の環境づくりの基本を定める条例 鶴ヶ島市環境基本計画 第2期鶴ヶ島市環境基本計画 | H11.12.22 H15.1 H25.3 | 鶴ヶ島市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 鶴ヶ島市の環境を保全する条例 | S50.3.22 H11.12.22 | 鶴ヶ島市水土里の基金条例 | H21.3.26 |
| 日高市 | 日高市環境基本条例 日高市環境基本計画 | H22.3.26 H23.3 | 日高市あき地の環境保全に関する条例 日高市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 日高市環境保全条例 | S48.3.27 S48.10.25 H9.9.30 | 日高市緑の基金条例 | H4.3.19 |
| 吉川市 | 吉川市環境保全指針 | H12.3.9 | 吉川市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例 吉川市環境保全条例 | H5.3.31 H10.3.23 | 吉川市みどりの条例 | H4.3.24 |
| ふじみ野市 | ふじみ野市環境基本条例 ふじみ野市環境基本計画行動計画 ふじみ野市環境基本計画後期行動計画 | H19.3.22 H20.3 H25.3 | ふじみ野市空き地の環境保全に関する条例 ふじみ野市廃棄物の処理及び再利用に関する条例 ふじみ野市路上喫煙の防止及びまちをきれいにする条例 | H17.10.1 H20.12.19 H23.3.23 | ふじみ野市みどりの条例 ふじみ野市緑の基金条例 | H17.10.1 H22.3.23 |
| 白岡市 | 白岡市環境基本条例 白岡市環境基本計画 | H22.9.29 H23.3 H28.3改訂 | 白岡市空き地等の環境保全に関する条例 白岡市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 | S47.3.25 H28.3.28 | | |
| 伊奈町 | 伊奈町環境基本条例 伊奈町環境基本計画 第2次伊奈町環境基本計画 | H12.12.27 H15.3 H27.3 | 伊奈町あき地の環境保全に関する条例 伊奈町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 | S47.1.10 S49.12.23 | 伊奈町緑の保全及び緑化の推進に関する条例 | H11.3.31 |
| 三芳町 | 三芳町環境基本計画 | H15.3 | 三芳町環境衛生対策審議会条例 三芳町ダイオキシン類等排出抑制に関する条例 三芳町廃棄物の処理及び再利用に関する条例 三芳町をきれいにする条例 | H3.3.12 H11.3.18 H24.9.27 H28.7.1 | 三芳町みどりの保護育成及び活用に関する条例 | H2.3.20 |
| 毛呂山町 | | | 毛呂山町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 毛呂山町環境保全条例 毛呂山町土地の埋立て等の規制に関する条例 | S50.10.1 H8.4.2 H19.12.12 | | |
| 越生町 | | | 越生町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 越生町環境保全条例 越生町土砂のたい積の規制に関する条例 | S50.12.19 H16.6.10 H16.6.10 | | |
| 滑川町 | | | 滑川町公災害防止条例 滑川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 滑川町の環境をよくする条例 滑川町土砂等による土地の埋立て等及び不法投棄の規制に関する条例 | S44.9.30 S51.6.11 H15.3.7 H16.9.10 | | |
| 嵐山町 | 嵐山町環境基本条例 嵐山町環境基本計画兼ストップ温暖化地域推進計画 | H23.6.10 H26.3 | 嵐山町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 嵐山町環境保全条例 嵐山町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 緑と清流・オムラサキが舞う嵐山町ストップ温暖化条例 | S48.3.30 H7.3.17 H18.3.9 H23.6.10 | 嵐山町の緑を豊かにする条例 嵐山町里地里山づくり条例 | H2.6.25 H19.3.5 |
| 小川町 | 小川町環境基本計画 第2次小川町環境基本計画 | H14.10 H29.3 | 小川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 小川町環境保全条例 | S47.6.23 H16.12.17 | | |
| 川島町 | 川島町環境基本計画 川島町一般廃棄物処理基本計画 | H27.3 H27.3 | 川島町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 川島町廃棄物処理施設設置及び管理条例 川島町産業廃棄物処理施設の設置等に係る周辺環境の保全に関する条例 川島町環境保全条例 | S54.10.1 H10.3.23 H18.3.22 H25.3.29 | 川島町環境保全条例 | H25.3.29 |
| 吉見町 | 吉見町環境基本条例 | H23.4.1 | 吉見町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 | H6.3.10 | | |

| 市町村名 | 環境保全の基本的姿勢や方向を示すもの | | 公害防止・生活環境保全に係るもの | | 自然環境の保全に係るもの | |
|-------|---|--------------------------------|---|--|--------------|-----------|
| | (上段) 条例名称 (下段) 計画名称 | 制定時期 策定時期 | 条例名称 | 制定時期 | 条例名称 | 制定時期 |
| | 吉見町環境基本計画 | H23.4.1 | 吉見町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 | S52.4.1 | | |
| 鳩山町 | | | 鳩山町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 鳩山町環境保全条例 鳩山町土砂のたい積の規制に関する条例 | S50.3.22 H5.12.15 H15.12.18 | | |
| ときがわ町 | ときがわ町環境基本条例 ときがわ町環境基本計画 ときがわ町環境基本計画 後期基本計画 | H19.3.15 H20.3 H25.3改定 | ときがわ町環境保全条例 ときがわ町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 | H18.2.1 H18.2.1 | | |
| 横瀬町 | 横瀬町環境基本条例 | H22.12.10 | 横瀬町土砂等のたい積の規制に関する条例 | H19.9.11 | 横瀬町みどりの基金条例 | H20.12.11 |
| 皆野町 | 皆野町環境基本条例 | H22.12.21 | 皆野町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 | H3.12.17 | | |
| 長瀬町 | 長瀬町環境基本条例 | H22.12.20 | 長瀬町環境美化の促進に関する条例 | S59.7.1 | | |
| 小鹿野町 | 小鹿野町環境保全条例 | H17.10.1 | 小鹿野町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 小鹿野町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 小鹿野町浄化槽設置及び管理等に関する条例 | H17.10.1 H17.10.1 H17.10.1 | | |
| 東秩父村 | | | 東秩父村埋土及び盛土等規制条例 | H1.5.1 | | |
| 美里町 | 美里町環境基本条例 美里町環境基本計画 | H12.12.21 H14.8 | 美里町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 美里町土砂のたい積の規制に関する条例 美里町産業廃棄物処理施設の設置等の紛争予防条例 美里町環境保全条例 | H11.3.24 H16.3.24 H17.3.24 H22.9.22 | | |
| 神川町 | 神川町環境基本条例 神川町環境基本計画 | H18.1.1 H19.1.17 H28.4改定 | 神川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 神川町産業廃棄物処理施設の設置等の紛争予防等に関する条例 神川町土砂のたい積の規制に関する条例 | H18.1.1 H18.1.1 H27.6.18 | | |
| 上里町 | 上里町環境基本条例 上里町環境基本計画 第2次上里町環境基本計画 | H12.9.13 H15.3.31 H29.3 | 上里町環境審議会条例 上里町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 上里町産業廃棄物処理施設の設置等の紛争予防条例 | S46.7.23 H11.12.10 H15.1.22 | | |
| 寄居町 | 寄居町環境基本条例 寄居町環境基本計画 | H14.12.24 H17.3 H29.4改定 | 寄居町廃棄物の減量及び処理に関する条例 寄居町廃棄物処理施設の適正化に関する条例 | H10.6.26 H14.12.24 | | |
| 宮代町 | 宮代町環境基本計画 | H13.3 | 宮代町あき地環境保全条例 宮代町土砂のたい積の規制に関する条例 宮代町きれいなまちづくり条例 | S62.3.18 H15.3.27 H18.6.12 | | |
| 杉戸町 | 杉戸町環境基本条例 杉戸町環境基本計画 | H15.3.28 H15.3 | 杉戸町あき地の環境保全に関する条例 杉戸町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 杉戸町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 | S46.12.20 S50.10.1 H13.12.21 | | |
| 松伏町 | | | 松伏町環境保全条例 松伏町廃棄物の処理及び再生利用に関する条例 | H12.3.15 H5.3.10 | | |

(3) 埼玉県環境影響評価条例による環境影響評価手続件数

(H29.3.31現在)

| 事業の種類 | 道路 | 工場 | 廃棄物処理施設 | 高層建築物 | 工業団地の造成 | 研究所用地の造成 | 流通業務施設用地の造成 | スポーツ又はレクリエーション施設用地の造成 | 複合事業 | 土地区画整理事業 | 計 |
|-------|----|----|---------|-------|---------|----------|-------------|-----------------------|------|----------|----|
| 手続中 | 2 | | 5 | | 1 | 1 | 1 | | 3 | 7 | 20 |
| 手続完了 | | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | | | 5 |
| 手続中止* | | 1 | | 1 | 2 | | | 1 | | | 5 |
| 合計件数 | 2 | 3 | 6 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 3 | 7 | 30 |

*事業規模縮小のため条例対象外など

2 大気関係

(1) ばい煙発生施設設置状況

(H29.3.31現在)

| 大気汚染防止法 (ばい煙) | | | | | 埼玉県生活環境保全条例 (指定ばい煙) | | | | |
|---------------|------------------|--------|-----|-------|---------------------|-------------------------------|--------------------|-------|-------|
| 項番号 | 施設の種類の | 県 | 市 | 計 | 項番号 | 施設の種類の | 県 | 市 | 計 |
| 1 | ボイラー (小型ボイラーを除く) | 1,229 | 914 | 2,143 | 1 | 焼成炉及び焼結炉 | 32 | 2 | 34 |
| | 小型ボイラー | 1,695 | 603 | 2,298 | | | | | |
| 2 | ガス発生炉及び加熱炉 | 0 | 1 | 1 | 2 | 金属溶解炉 (精錬又は鑄造用) | 23 | 4 | 27 |
| 3 | 焙焼炉及び焼結炉等 | 1 | 0 | 1 | | | | | |
| 5 | 金属溶解炉 | 136 | 56 | 192 | 3 | 焼成炉 (釉薬瓦製造用) | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 金属加熱炉 | 135 | 18 | 153 | | | | | |
| 7 | 石油加熱炉 | 4 | 0 | 4 | 4 | 溶解炉 (銅、鉛、亜鉛の精錬用) | 0 | 0 | 0 |
| 9 | セメント焼成炉 | 7 | 0 | 7 | | | | | |
| | 10 | 窯業用溶融炉 | 7 | 0 | 7 | 5 | 溶解炉 (鉛の第二次精錬用等) | 1 | 0 |
| その他の焼成炉 | | 19 | 1 | 20 | | | | | |
| 11 | 反応炉及び直火炉 | 36 | 1 | 37 | 6 | 溶解炉 (アルミニウムの二次精錬用) | 16 | 8 | 24 |
| 11 | 骨材乾燥炉 | 40 | 16 | 56 | | | | | |
| 12 | その他の乾燥炉 | 96 | 10 | 106 | 7 | 廃棄物焼却炉 | 41 | 13 | 54 |
| 13 | 製鋼用等の電気炉 | 3 | 1 | 4 | | | | | |
| 14 | 廃棄物焼却炉 | 155 | 65 | 220 | 29 | 焼却能力 100kg/時以上 | 177 | 61 | 238 |
| 14 | 銅・亜鉛等精錬用溶解炉 | 2 | 3 | 5 | | | | | |
| 19 | 塩化水素反応施設 | 2 | 0 | 2 | 30 | 焼却能力 100kg/時未満 30kg/時以上 | 740 | 326 | 1,066 |
| 21 | 複合肥料等溶解炉 | 3 | 0 | 3 | | | | | |
| 24 | 鉛精錬用溶解炉 | 7 | 0 | 7 | 31 | 焼却能力 30kg/時未満 | | | |
| 25 | 鉛蓄電池製造用溶解炉 | 17 | 0 | 17 | | | | | |
| 29 | ガスタービン (常用) | 12 | 5 | 17 | 施設数計 | | | | |
| 30 | ガスタービン (非常用) | 171 | 207 | 378 | (届出事業所数) | | | | |
| | ディーゼル機関 (常用) | 88 | 21 | 109 | 4,592 | 2,514 | 7,106 | 1,030 | 414 |
| 31 | ディーゼル機関 (非常用) | 637 | 531 | 1,168 | 規制対象施設数合計 8,550 | | | | |
| | ガス機関 (常用) | 86 | 57 | 143 | (規制対象事業所数 3,547) | | | | |
| | ガス機関 (非常用) | 4 | 4 | 8 | | | | | |
| | | | | | | | | | |

(2) 粉じん発生施設設置状況

(H29.3.31現在)

| 大気汚染防止法 (一般粉じん) | | | | | 埼玉県生活環境保全条例 (指定粉じん) | | | | |
|--------------------|----------------------|-----|-----|-----|---------------------|-------------------------|-------|-----|-------|
| 項番号 | 施設の種類の | 県 | 市 | 計 | 項番号 | 施設の種類の | 県 | 市 | 計 |
| 1 | コークス炉 | 0 | 0 | 0 | 1 | 堆積場 | 92 | 32 | 124 |
| 2 | 堆積場 | 199 | 81 | 280 | 2 | ベルトコンベア、 バケットコンベア | 1,168 | 388 | 1,556 |
| 3 | ベルトコンベア、 バケットコンベア | 612 | 205 | 817 | 3 | 破砕機、摩砕機 (鉱物、岩石、セメント) | 76 | 23 | 99 |
| | | | | | 4 | 破砕機 (コンクリート) | 44 | 22 | 66 |
| 4 | 破砕機、摩砕機 | 137 | 22 | 159 | 5 | 分級機 | 25 | 0 | 25 |
| | | | | | 6 | ふるい | 71 | 34 | 105 |
| 5 | ふるい | 102 | 10 | 112 | 7 | クリンクーラー | 5 | 2 | 7 |
| | | | | | 8 | ホッパー、 バッチャープラント | 214 | 86 | 300 |
| | | | | | 施設数計 | | | | |
| | | | | | (届出事業所数) | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | 規制対象施設数合計 3,650 | | | | |
| | | | | | (規制対象事業所数 620) | | | | |
| ※ 特定粉じん発生施設はありません。 | | | | | | | | | |

(3) 指定炭化水素類発生施設設置状況 (H29.3.31現在)

| 埼玉県生活環境保全条例 | | | | |
|-------------|---------------|-------|-------|-------|
| 項番号 | 施設の種類の | 県 | 市 | 計 |
| 1 | 貯蔵用屋外タンク | 7 | 0 | 7 |
| 2 | 給油用地下タンク | 1,526 | 734 | 2,260 |
| 3 | 出荷用ローディングアーム | 2 | 0 | 2 |
| 4 | ドライクリーニング用乾燥機 | 178 | 84 | 262 |
| 5 | 製造設備 | 1,493 | 661 | 2,154 |
| 6 | 使用施設 ※ | 95 | 91 | 186 |
| 施設合計 | | 3,301 | 1,570 | 4,871 |
| (届出事業所数) | | 752 | 331 | 1,083 |

※ 使用施設は事業所数を記載しています。

(4) 揮発性有機化合物排出施設設置状況 (H29.3.31現在)

| 大気汚染防止法 | | | | |
|-----------|--|-----|----|-----|
| 項番号 | 施設の種類の | 県 | 市 | 計 |
| 1 | 揮発性有機化合物を溶剤として使用する化学製品の製造の用に供する乾燥施設 | 2 | 0 | 2 |
| 2 | 吹付塗装施設 | 23 | 1 | 24 |
| 3 | 塗装の用に供する乾燥施設 | 37 | 0 | 37 |
| 4 | 印刷回路用銅張積層板、粘着テープ若しくは粘着シート、はく離紙又は包装材料の製造に係る接着の用に供する乾燥施設 | 75 | 10 | 85 |
| 5 | 接着の用に供する乾燥施設 | 30 | 6 | 36 |
| 6 | オフセット輪転印刷の用に供する乾燥施設 | 30 | 4 | 34 |
| 7 | グラビア印刷の用に供する乾燥施設 | 61 | 8 | 69 |
| 8 | 工業の用に供する揮発性有機化合物による洗浄施設 | 3 | 0 | 3 |
| 9 | ガソリン、原油、ナフサその他の揮発性有機化合物の貯蔵タンク | 0 | 0 | 0 |
| 施設合計 | | 261 | 29 | 290 |
| (届出事業所数計) | | 74 | 12 | 86 |

(5) 有害大気汚染物質規制対象事業所数

(H29.3.31現在)

| 埼玉県生活環境保全条例 | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|----|----|----|-----|--------------|-----|-----|-----|
| 項番号 | 規制対象物質 | 県 | 市 | 計 | 項番号 | 規制対象物質 | 県 | 市 | 計 |
| 1 | アクリロニトリル | 3 | 5 | 8 | 10 | トリクロロエチレン | 27 | 13 | 40 |
| 2 | エチレンオキシド | 7 | 2 | 9 | 11 | ニッケル化合物 | 43 | 15 | 58 |
| 3 | 六価クロム化合物 | 30 | 12 | 42 | 12 | 砒素及びその化合物 | 1 | 0 | 1 |
| 4 | クロロエチレン | 0 | 0 | 0 | 13 | 1・3-ブタジエン | 0 | 0 | 0 |
| 5 | クロロホルム | 13 | 3 | 16 | 14 | ベリリウム及びその化合物 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 1・2-ジクロロエタン | 3 | 1 | 4 | 15 | ベンゼン | 44 | 3 | 47 |
| 7 | ジクロロメタン | 53 | 16 | 69 | 16 | ホルムアルデヒド | 32 | 12 | 44 |
| 8 | 水銀及びその化合物 | 0 | 0 | 0 | 17 | マンガン及びその化合物 | 41 | 14 | 55 |
| 9 | テトラクロロエチレン | 12 | 7 | 19 | 合計 | | 309 | 103 | 412 |

(6) 埼玉県生活環境保全条例により県が定める粒子状物質排出基準

| 粒子状物質対策自動車の種別 (車両総重量) | 粒子状物質の量の許容限度 | | 測定方法 |
|-----------------------------|--------------|--------------|--------------------|
| | 平成15年10月1日から | 平成18年4月1日から | |
| 1,700キログラム以下 | 0.08 g / km | 0.052 g / km | 10・15モード |
| 1,700キログラム超 2,500キログラム以下 | 0.09 g / km | 0.06 g / km | 10・15モード |
| 2,500キログラム超 | 0.25 g / kWh | 0.18 g / kWh | ディーゼル自動車用 13モード |

2

大気関係

(7) 県内の次世代自動車普及状況の推移

(単位：台)

| 車種 | 平成24年3月末 | 平成25年3月末 | 平成26年3月末 | 平成27年3月末 | 平成28年3月末 |
|--------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 電気自動車 | 553 | 1,100 | 1,694 | 2,501 | 2,939 |
| プラグインハイブリッド車 | 184 | 828 | 1,440 | 2,311 | 3,044 |
| 天然ガス自動車 | 46 | 38 | 30 | 19 | 14 |
| メタノール自動車 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| ハイブリッド車 | 106,851 | 150,129 | 200,423 | 244,574 | 289,454 |
| 燃料電池自動車 | 2 | 2 | 4 | 7 | 44 |
| 合計 | 107,637 | 152,098 | 203,592 | 249,413 | 295,496 |

(貨物・特殊・軽自動車・自動二輪を除く／(一財)自動車検査登録情報協会統計)

(8) 大気汚染に係る環境基準及びその評価方法

ア 環境基準

| 物質 | 環境上の条件 | 告示年月日 |
|---|---|------------|
| 二酸化硫黄 (SO ₂) | 1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。 | 昭和48年5月16日 |
| 二酸化窒素 (NO ₂) | 1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。 | 昭和53年7月11日 |
| 一酸化炭素 (CO) | 1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。 | 昭和48年5月8日 |
| 光化学オキシダント ^{※1} (Ox) | 1時間値が0.06ppm以下であること。 | 昭和48年5月8日 |
| 浮遊粒子状物質 ^{※2} (SPM) | 1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。 | 昭和48年5月8日 |
| 微小粒子状物質 ^{※3} (PM _{2.5}) | 1年平均値が15μg/m ³ 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m ³ 以下であること。 | 平成21年9月9日 |

※1 光化学オキシダントとは、オゾン、パーオキシアセチルナイトレートその他の光化学反応により生成される酸化性物質(中性ヨウ化カリウム溶液からヨウ素を遊離するものに限り、二酸化窒素を除く。)をいう。

※2 浮遊粒子状物質とは、大気中に浮遊する粒子状物質であって、その粒径が10μm以下のものをいう。

※3 微小粒子状物質とは、大気中に浮遊する粒子状物質であって、粒径が2.5μmの粒子を50%の割合で分離できる分粒装置を用いて、より粒径の大きい粒子を除去した後に採取される粒子をいう。

イ 環境基準の評価方法（要約）

| 物質 | 評価方法 | |
|--|------------------------|---|
| 二酸化硫黄 一酸化炭素 浮遊粒子状物質 | 長期的評価 (1日平均値の2%除外値) | 1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち高い方から数えて2%の範囲にある測定値を除外した後の最高値を環境基準と比較して評価を行う。ただし、環境基準を超える日が2日以上連続した場合には、非達成と評価する。 なお、1日平均値の評価に当たっては、1時間値の欠測（異常値を含む）が1日（24時間）のうち4時間を超える場合には評価の対象としない。（以下同じ） |
| 二酸化窒素 | 長期的評価 (98%値評価) | 1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、低い方から数えて98%目（1未満の端数は切り上げ。以下同じ）に当たる値を環境基準と比較して評価を行う。 |
| 微小粒子状物質 | 長期的評価 | 長期基準（1年平均値）に関する評価は、測定結果の1年平均値を長期基準と比較する。短期基準（1日平均値）に関する評価は、1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、低い方から数えて98%目に当たる値を短期基準と比較する。長期基準と短期基準の両方を満足した局について、環境基準が達成されたと評価する。 |
| 二酸化硫黄 一酸化炭素 光化学オキシダント 浮遊粒子状物質 | 短期的評価 | 連続して又は随時に行った測定結果により、測定を行った日又は時間について環境基準と比較して評価を行う。 |

（注）この環境白書では、二酸化硫黄、一酸化炭素及び浮遊粒子状物質については長期的評価で記述している。

(9) 環境基準達成状況（平成28年度）

| 物質 | 測定局区分 | 有効局数* | 達成局数 | 非達成局数 | 達成率 (%) |
|-----------|------------|-------|------|-------|---------|
| 二酸化硫黄 | 一般環境大気測定局 | 28 | 28 | 0 | 100.0 |
| | 自動車排出ガス測定局 | 3 | 3 | 0 | 100.0 |
| 二酸化窒素 | 一般環境大気測定局 | 54 | 54 | 0 | 100.0 |
| | 自動車排出ガス測定局 | 27 | 27 | 0 | 100.0 |
| 一酸化炭素 | 一般環境大気測定局 | 6 | 6 | 0 | 100.0 |
| | 自動車排出ガス測定局 | 9 | 9 | 0 | 100.0 |
| 光化学オキシダント | 一般環境大気測定局 | 56 | 0 | 56 | 0.0 |
| 浮遊粒子状物質 | 一般環境大気測定局 | 56 | 56 | 0 | 100.0 |
| | 自動車排出ガス測定局 | 27 | 27 | 0 | 100.0 |
| 微粒子状物質 | 一般環境大気測定局 | 39 | 34 | 5 | 87.2 |
| | 自動車排出ガス測定局 | 12 | 10 | 2 | 83.3 |

* 有効局とは、二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質については、年間の測定時間が6000時間以上の測定局のことをいう。

光化学オキシダントについては、昼間（5時から20時まで）の測定時間が1時間以上の測定局をいう。微小粒子物質については有効測定日数が250日以上の測定局をいう。

(10) 大気汚染常時監視局・測定結果一覧（平成28年度）

ア 一般環境大気測定局

| 測定局 | 測定場所 | 二酸化硫黄 | | 二酸化窒素 | | 一酸化炭素 | | 光化学オキシダント | | 浮遊粒子状物質 | | 微小粒子状物質 | | 設置主体 | |
|---------|---------|----------|-------|-----------|-------|----------|-------|-----------|-------|----------------------|-------|----------------------|----------------------|------|-------|
| | | 2日平均除外値の | 達成状況の | 年間平均98%値の | 達成状況の | 2日平均除外値の | 達成状況の | 値の最高値の1時間 | 達成状況の | 2日平均除外値の | 達成状況の | 年平均値 | 年間98%値の | | 達成状況の |
| | | (ppm) | ※ | (ppm) | ※ | (ppm) | ※ | (ppm) | ※ | (mg/m ³) | ※ | (μg/m ³) | (μg/m ³) | ※ | |
| さいたま市役所 | 市役所 | 0.005 | ○ | 0.032 | ○ | 0.5 | ○ | 0.130 | × | 0.046 | ○ | 11.0 | 26.0 | ○ | 政 |
| さいたま市根岸 | 根岸東児童公園 | | | | | | | 0.136 | × | 0.042 | ○ | | | | 政 |
| さいたま市大宮 | 大宮小学校 | 0.002 | ○ | 0.033 | ○ | | | 0.119 | × | 0.039 | ○ | 11.2 | 26.7 | ○ | 政 |
| さいたま市宮原 | 宮原中学校 | | | 0.031 | ○ | | | 0.123 | × | 0.042 | ○ | 12.1 | 30.0 | ○ | 政 |
| さいたま市春里 | 春里中学校 | | | | | | | 0.131 | × | 0.036 | ○ | | | | 政 |
| さいたま市指扇 | 指扇小学校 | 0.003 | ○ | 0.029 | ○ | | | 0.126 | × | 0.046 | ○ | | | | 政 |
| さいたま市片柳 | 片柳中学校 | | | 0.030 | ○ | | | 0.124 | × | 0.040 | ○ | 11.7 | 27.5 | ○ | 政 |
| さいたま市岩槻 | 市所有地 | | | 0.032 | ○ | | | 0.122 | × | 0.040 | ○ | | | | 政 |
| さいたま市城南 | 城南中学校 | 0.002 | ○ | 0.032 | ○ | | | 0.122 | × | 0.039 | ○ | 12.4 | 30.6 | ○ | 政 |
| 川越市川越 | 市所有地 | 0.004 | ○ | 0.030 | ○ | | | 0.146 | × | 0.035 | ○ | 13.1 | 31.8 | ○ | 政 |
| 川越市高階 | 歌声の杜公園 | | | 0.030 | ○ | | | 0.149 | × | 0.035 | ○ | 11.4 | 28.0 | ○ | 政 |

| 測定局 | 測定場所 | 二酸化硫黄 | | | 二酸化窒素 | | | 一酸化炭素 | | | 光化学オキシダント | | | 浮遊粒子状物質 | | | 微小粒子状物質 | | | 設置主体 | |
|---------|------------|-----------|------|--------|------------|-------|--------|-----------|------|--------|-----------|------------|--------|----------------------|------|----------------------|----------------------|------------|------|------|--------|
| | | 2日平均値の除外値 | 達成状況 | 環境基準の値 | 年間98%値の平均値 | 達成状況 | 環境基準の値 | 2日平均値の除外値 | 達成状況 | 環境基準の値 | 値の最高値 | 昼間の1時間達成状況 | 環境基準の値 | 2日平均値の除外値 | 達成状況 | 環境基準の値 | 年平均値 | 年間98%値の平均値 | 達成状況 | | 環境基準の値 |
| | | (ppm) | ※ | (ppm) | ※ | (ppm) | ※ | (ppm) | ※ | (ppm) | ※ | (ppm) | ※ | (mg/m ³) | ※ | (μg/m ³) | (μg/m ³) | ※ | | | |
| 川越市霞ヶ関 | 伊勢原第5緑地 | | | 0.031 | ○ | | | | | 0.137 | × | 0.042 | ○ | | | 9.4 | 25.5 | ○ | 政 | | |
| 熊谷市役所 | 市役所 | 0.001 | ○ | 0.022 | ○ | 0.5 | ○ | | | 0.132 | × | 0.042 | ○ | | | 11.4 | 28.7 | ○ | 県 | | |
| 熊谷妻沼東 | 妻沼中央公民館 | | | 0.025 | ○ | | | | | 0.111 | × | 0.045 | ○ | | | (14.1) | (38.3) | | 県 | | |
| 川口市横曽根 | 西中学校 | | | 0.036 | ○ | | | | | | | 0.036 | ○ | | | | | | 政 | | |
| 川口市南平 | 領家第一公園 | 0.004 | ○ | 0.036 | ○ | | | | | 0.131 | × | 0.041 | ○ | | | 15.1 | 35.0 | × | 政 | | |
| 川口市新郷 | 新郷浄水場 | | | 0.035 | ○ | | | | | 0.120 | × | 0.045 | ○ | | | | | | 政 | | |
| 川口市芝 | 樋ノ爪児童公園 | | | 0.036 | ○ | | | | | 0.139 | × | 0.037 | ○ | | | 14.2 | 37.3 | × | 政 | | |
| 行田 | 保健センター | | | 0.022 | ○ | | | | | 0.123 | × | 0.044 | ○ | | | | | | 県 | | |
| 秩父 | 農林振興センター | 0.004 | ○ | 0.017 | ○ | | | | | 0.117 | × | 0.037 | ○ | | | 10.6 | 25.5 | ○ | 県 | | |
| 所沢市東所沢 | 市所有地 | 0.002 | ○ | 0.034 | ○ | | | | | 0.140 | × | 0.043 | ○ | | | 11.7 | 27.6 | ○ | 政 | | |
| 所沢市北野 | 市所有地 | 0.002 | ○ | 0.029 | ○ | | | | | 0.134 | × | 0.039 | ○ | | | 11.9 | 28.1 | ○ | 政 | | |
| 所沢市中富 | 市民武道館 | | | | | | | | | 0.133 | × | | | | | | | | 政 | | |
| 飯能 | 県土整備事務所 | | | 0.015 | ○ | | | | | 0.119 | × | 0.038 | ○ | | | 12.9 | 32.1 | ○ | 県 | | |
| 加須 | 礼羽小学校 | | | 0.026 | ○ | | | | | 0.116 | × | 0.046 | ○ | | | 14.8 | 36.5 | × | 県 | | |
| 環境科学国際C | 環境科学国際センター | 0.001 | ○ | 0.024 | ○ | | | | | 0.120 | × | 0.047 | ○ | | | | | | 県 | | |
| 本庄 | 本庄東中学校 | 0.002 | ○ | 0.020 | ○ | | | | | 0.125 | × | 0.039 | ○ | | | 10.9 | 26.1 | ○ | 県 | | |
| 本庄児玉 | 児玉児童公園 | | | 0.013 | ○ | | | | | 0.130 | × | 0.039 | ○ | | | 12.0 | 29.1 | ○ | 県 | | |
| 東松山 | 五領町近隣公園 | | | 0.025 | ○ | | | | | 0.139 | × | 0.041 | ○ | | | 12.3 | 30.3 | ○ | 県 | | |
| 春日部 | 谷原第1公園 | 0.002 | ○ | 0.029 | ○ | | | | | 0.116 | × | 0.042 | ○ | | | 14.0 | 33.8 | ○ | 県 | | |
| 狭山 | 堀兼公民館 | | | 0.028 | ○ | | | | | 0.126 | × | 0.041 | ○ | | | (13.1) | (35.2) | | 県 | | |
| 羽生 | 中央公園 | 0.003 | ○ | 0.024 | ○ | | | | | 0.121 | × | 0.038 | ○ | | | 14.3 | 35.5 | × | 県 | | |
| 鴻巣 | 市役所 | 0.003 | ○ | 0.023 | ○ | | | | | 0.124 | × | 0.040 | ○ | | | 11.9 | 29.2 | ○ | 県 | | |
| 深谷 | 桜ヶ丘小学校 | | | 0.019 | ○ | | | | | 0.132 | × | 0.043 | ○ | | | 12.0 | 28.5 | ○ | 県 | | |
| 上尾 | 浅間台大公園 | 0.002 | ○ | 0.025 | ○ | | | | | 0.140 | × | 0.041 | ○ | | | (13.5) | (40.1) | | 県 | | |
| 草加市西町 | 草加保健所 | 0.003 | ○ | 0.038 | ○ | 0.6 | ○ | | | 0.121 | × | 0.044 | ○ | | | | | | 市 | | |
| 越谷市東越谷 | 東越谷第二公園 | 0.002 | ○ | 0.034 | ○ | | | | | 0.128 | × | 0.035 | ○ | | | 12.0 | 28.0 | ○ | 政 | | |
| 越谷市千間台西 | 千間台第四公園 | | | 0.033 | ○ | 0.6 | ○ | | | 0.120 | × | 0.037 | ○ | | | 13.0 | 30.6 | ○ | 政 | | |
| 戸田 | 戸田翔陽高等学校 | 0.002 | ○ | 0.036 | ○ | | | | | 0.146 | × | 0.040 | ○ | | | 11.2 | 26.4 | ○ | 県 | | |
| 戸田市中町 | 市所有地 | 0.003 | ○ | 0.037 | ○ | 0.5 | ○ | | | 0.144 | × | 0.040 | ○ | | | | | | 市 | | |
| 入間 | 富士見公園 | 0.002 | ○ | 0.026 | ○ | | | | | 0.135 | × | 0.039 | ○ | | | 11.4 | 26.7 | ○ | 県 | | |
| 和光 | 第四小学校 | | | 0.038 | ○ | | | | | 0.135 | × | 0.042 | ○ | | | (13.6) | (37.3) | | 県 | | |
| 新座 | 水道管理センター | 0.002 | ○ | 0.036 | ○ | | | | | 0.130 | × | 0.040 | ○ | | | | | | 県 | | |
| 久喜 | 久喜南中学校 | | | 0.033 | ○ | | | | | 0.120 | × | 0.040 | ○ | | | 12.8 | 32.0 | ○ | 県 | | |
| 八潮 | 市水道部 | 0.003 | ○ | 0.038 | ○ | | | | | 0.113 | × | 0.038 | ○ | | | 11.0 | 27.3 | ○ | 県 | | |
| 富士見 | 市役所 | | | 0.029 | ○ | | | | | 0.146 | × | 0.041 | ○ | | | (13.4) | (32.8) | | 県 | | |
| 三郷 | 早稲田小学校 | 0.002 | ○ | 0.040 | ○ | | | | | 0.111 | × | 0.044 | ○ | | | 15.5 | 35.2 | × | 県 | | |
| 蓮田 | 市所有地 | | | 0.028 | ○ | | | | | 0.127 | × | 0.041 | ○ | | | 14.4 | 34.8 | ○ | 県 | | |
| 坂戸 | 芦山公園 | | | 0.023 | ○ | | | | | 0.138 | × | 0.039 | ○ | | | 12.7 | 31.1 | ○ | 県 | | |
| 幸手 | 市所有地 | 0.002 | ○ | 0.026 | ○ | | | | | 0.119 | × | 0.042 | ○ | | | 13.5 | 31.8 | ○ | 県 | | |
| 日高 | 高麗川南公民館 | 0.004 | ○ | 0.019 | ○ | | | | | 0.125 | × | 0.039 | ○ | | | 10.8 | 26.0 | ○ | 県 | | |
| 毛呂山 | きつつき公園 | | | 0.015 | ○ | | | | | 0.129 | × | 0.037 | ○ | | | (11.1) | (31.0) | | 県 | | |
| 小川 | 小川高等学校 | | | 0.015 | ○ | | | | | 0.133 | × | 0.037 | ○ | | | 11.3 | 27.7 | ○ | 県 | | |
| 皆野 | 町役場 | | | 0.014 | ○ | | | | | 0.114 | × | 0.036 | ○ | | | 12.7 | 32.8 | ○ | 県 | | |
| 東秩父 | 堂平山 | 0.002 | ○ | 0.008 | ○ | 0.4 | ○ | | | 0.113 | × | 0.031 | ○ | | | 7.6 | 23.2 | ○ | 県 | | |
| 寄居 | 寄居小学校 | 0.003 | ○ | 0.013 | ○ | | | | | 0.129 | × | 0.039 | ○ | | | 10.4 | 26.8 | ○ | 県 | | |
| 宮代 | 日本工業大学 | | | 0.029 | ○ | | | | | 0.117 | × | 0.040 | ○ | | | 13.6 | 34.1 | ○ | 県 | | |

(注) ()内は有効局ではないため、参考扱い

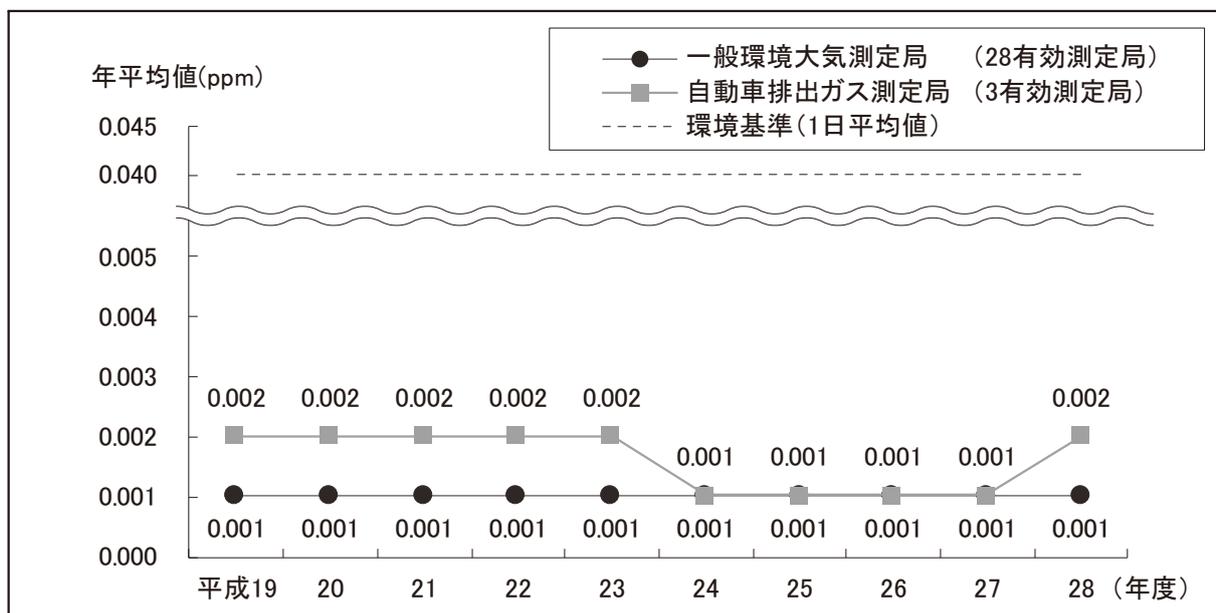
※ ○は環境基準達成、×は環境基準非達成

イ 自動車排出ガス測定局

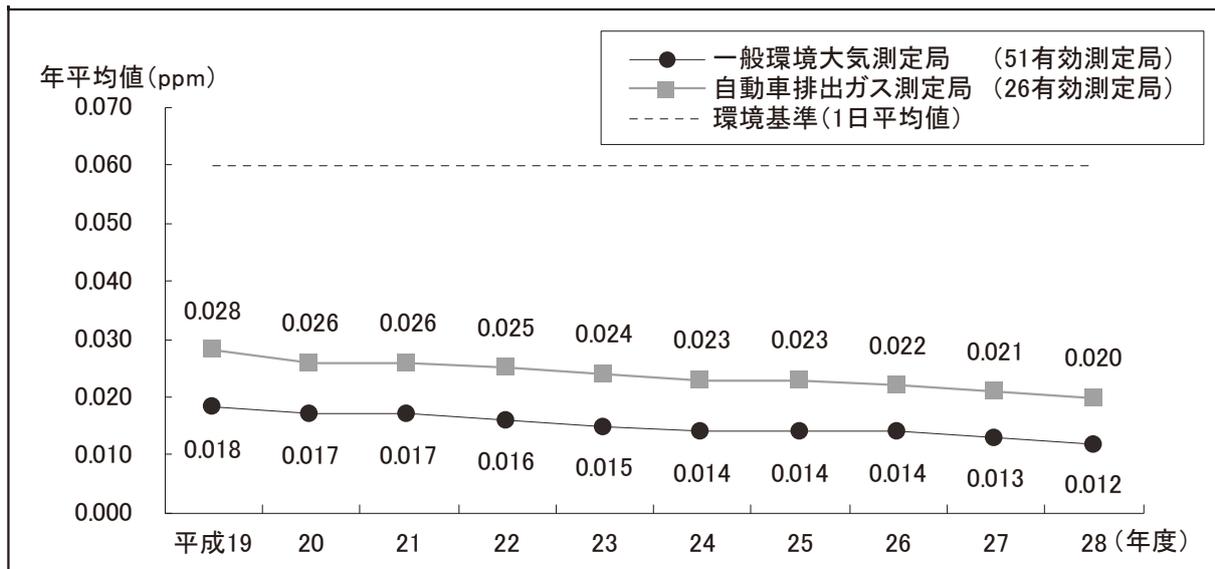
| 測定局 | 測定場所 | 二酸化硫黄 | | 二酸化窒素 | | 一酸化炭素 | | 光化学オキシダント | | 浮遊粒子状物質 | | 微小粒子状物質 | | | 設置主体 | |
|-------------|----------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-------------|-----------|------------|-----------|---------|-----------|-----------|------|-------|
| | | 日平均値の2%除外値 | 環境基準の達成状況 | 年平均値の98%値 | 環境基準の達成状況 | 日平均値の2%除外値 | 環境基準の達成状況 | 昼間の1時間値の最高値 | 環境基準の達成状況 | 日平均値の2%除外値 | 環境基準の達成状況 | 年平均値 | 日平均値の98%値 | 環境基準の達成状況 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | (ppm) |
| さいたま市曲本自排 | 国道17号新大宮バイパス | | | 0.045 | ○ | | | | | | 0.042 | ○ | | | | 政 |
| さいたま市辻自排 | 東京外環自動車道 | | | 0.043 | ○ | | | | | | 0.042 | ○ | | | | 政 |
| さいたま市三橋自排 | 国道17号新大宮バイパス | | | 0.042 | ○ | 0.7 | ○ | | | | 0.042 | ○ | 16.2 | 35.7 | × | 政 |
| さいたま市大和田自排 | 県道さいたま菖蒲線 | | | 0.033 | ○ | | | | | | 0.041 | ○ | | | | 政 |
| さいたま市与野公園自排 | 国道17号新大宮バイパス | | | 0.037 | ○ | | | | | | 0.036 | ○ | | | | 政 |
| さいたま市西原自排 | 東北縦貫自動車道 | | | 0.039 | ○ | | | | | | 0.041 | ○ | | | | 政 |
| 川越市仙波 | 国道16号 | | | 0.038 | ○ | 0.6 | ○ | | | | 0.040 | ○ | 12.5 | 30.8 | ○ | 政 |
| 熊谷肥塚自排 | 国道17号熊谷バイパス | | | 0.034 | ○ | 0.8 | ○ | | | | 0.049 | ○ | 12.6 | 30.3 | ○ | 県 |
| 川口市安行 | 県道足立川口線 | | | 0.041 | ○ | | | | | | 0.042 | ○ | | | | 政 |
| 川口市神根 | 東京外環自動車道 | | | 0.043 | ○ | 0.5 | ○ | | | | 0.048 | ○ | 11.9 | 32.5 | ○ | 政 |
| 所沢市航空公園 | 国道463号 | | | 0.033 | ○ | | | | | | 0.039 | ○ | | | | 政 |
| 所沢市和ヶ原 | 国道403号所沢入間バイパス | | | 0.035 | ○ | 0.7 | ○ | | | | 0.037 | ○ | 14.4 | 30.9 | ○ | 政 |
| 東松山岩鼻自排 | 国道407号 | | | 0.028 | ○ | | | | | | 0.041 | ○ | (12.8) | (35.6) | | 県 |
| 春日部増戸自排 | 国道16号 | | | 0.043 | ○ | | | | | | 0.043 | ○ | 14.8 | 36.0 | × | 県 |
| 鴻巣天神自排 | 国道17号 | 0.004 | ○ | 0.032 | ○ | | | | | | 0.039 | ○ | 12.4 | 28.4 | ○ | 県 |
| 深谷原郷自排 | 国道17号 | | | 0.023 | ○ | | | | | | 0.049 | ○ | | | | 県 |
| 草加市花栗自排 | 国道4号草加バイパス | 0.003 | ○ | 0.043 | ○ | | | | | | 0.041 | ○ | 11.6 | 27.0 | ○ | 市 |
| 草加市原町自排 | 東京外環自動車道 | | | 0.041 | ○ | | | | | | 0.046 | ○ | | | | 市 |
| 戸田美女木自排 | 国道17号新大宮バイパス | 0.002 | ○ | 0.046 | ○ | 0.8 | ○ | | | | 0.042 | ○ | 13.9 | 30.3 | ○ | 県 |
| 戸田市早瀬 | 国道17号新大宮バイパス | | | 0.050 | ○ | 0.6 | ○ | | | | 0.039 | ○ | | | | 市 |
| 国設入間自排 | 国道16号 | | | 0.034 | ○ | 0.6 | ○ | | | | 0.037 | ○ | 12.7 | 28.7 | ○ | 国 |
| 朝霞幸町自排 | 国道254号 | | | 0.047 | ○ | 0.8 | ○ | | | | 0.040 | ○ | | | | 県 |
| 和光新倉自排 | 東京外環自動車道 | | | 0.037 | ○ | | | | | | 0.042 | ○ | | | | 県 |
| 久喜本町自排 | 県道さいたま栗橋線 | | | 0.041 | ○ | | | | | | 0.045 | ○ | 12.9 | 31.0 | ○ | 県 |
| 鶴ヶ島自排 | 首都圏中央連絡自動車道 | | | 0.030 | ○ | | | | | | 0.046 | ○ | | | | 県 |
| 川島自排 | 首都圏中央連絡自動車道 | | | 0.031 | ○ | | | | | | 0.042 | ○ | 14.0 | 32.4 | ○ | 県 |
| 寄居桜沢自排 | 国道140号 | | | 0.021 | ○ | | | | | | 0.041 | ○ | | | | 県 |

(注) () 内は有効局でないため参考扱い
 ※ ○は環境基準達成、×は環境基準非達成

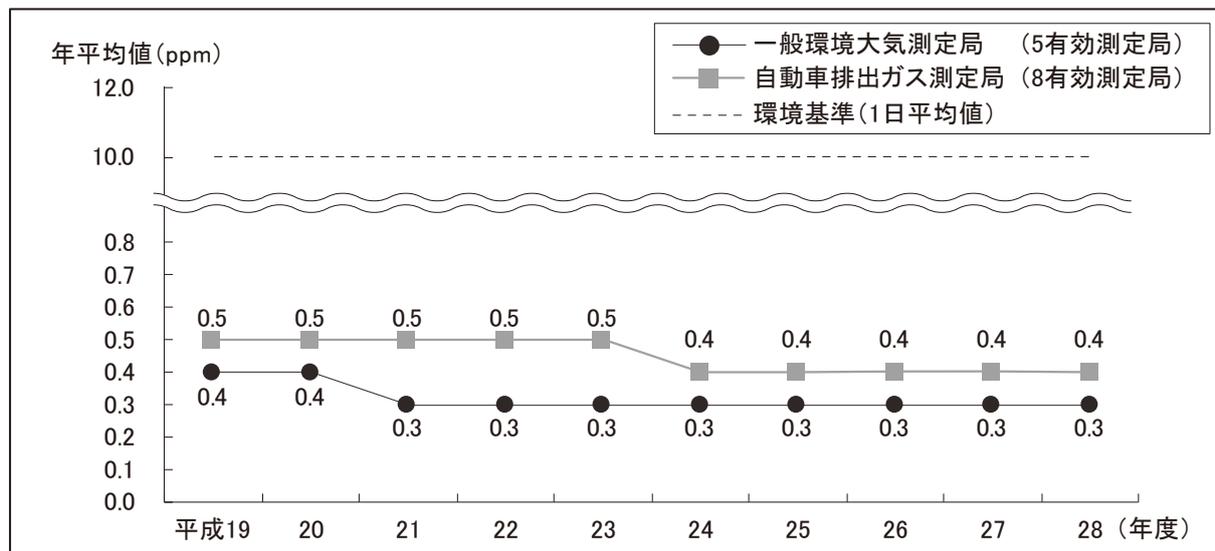
(11) 各物質の年平均値の推移
 ア 二酸化硫黄濃度の推移



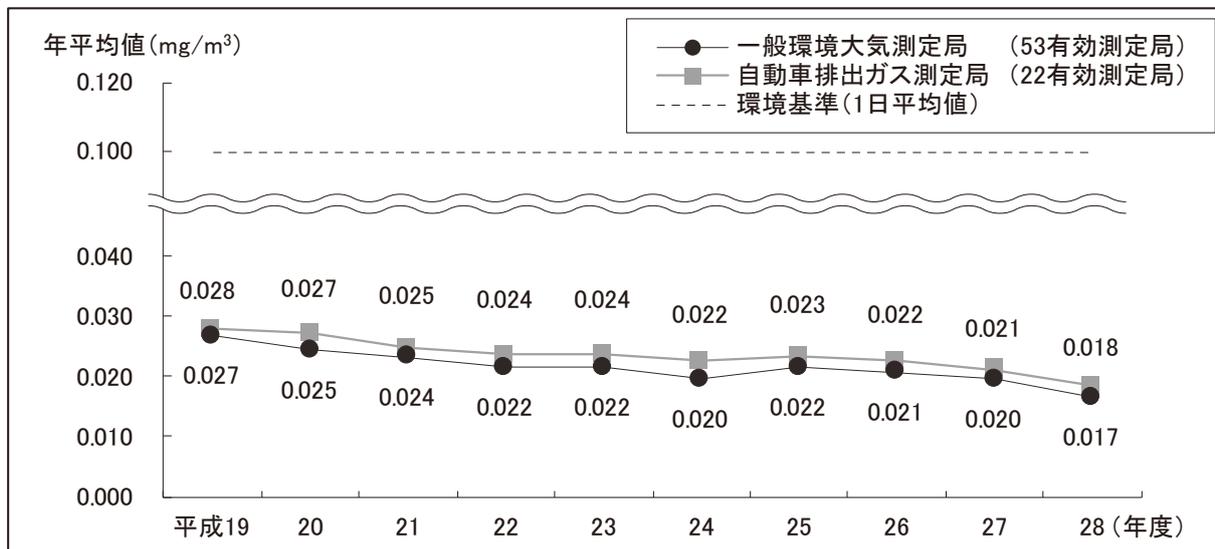
イ 二酸化窒素濃度の推移



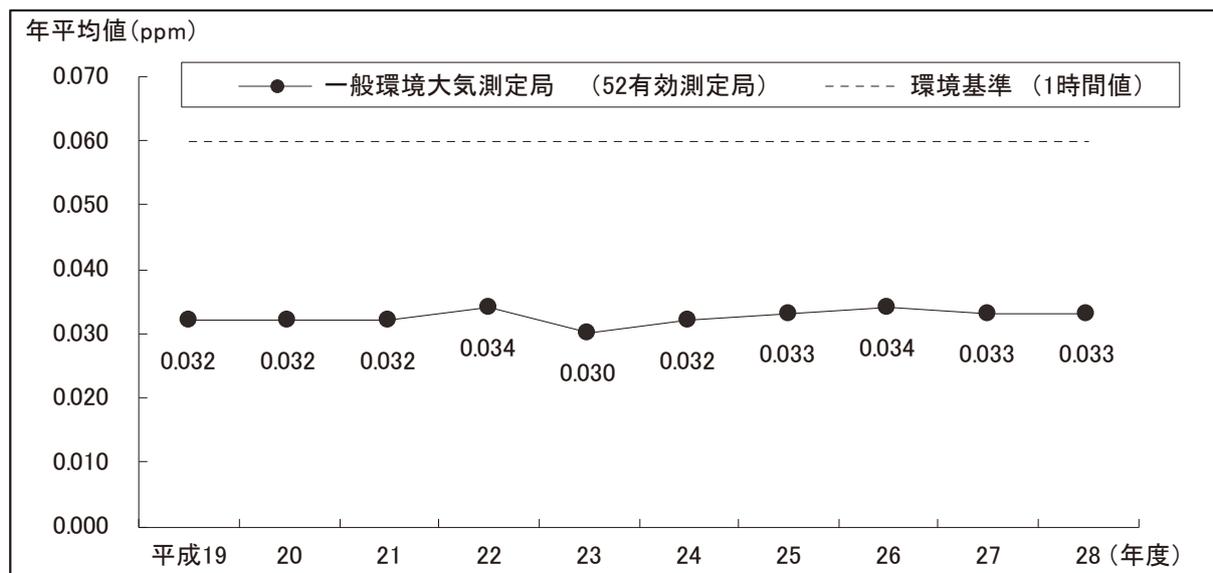
ウ 一酸化炭素濃度の推移



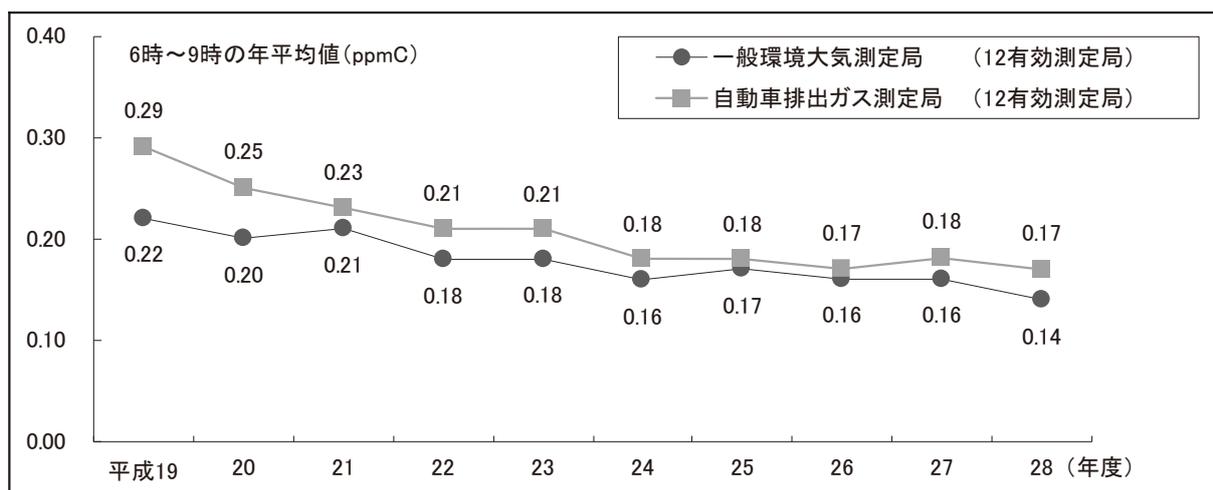
エ 浮遊粒子状物質濃度の推移



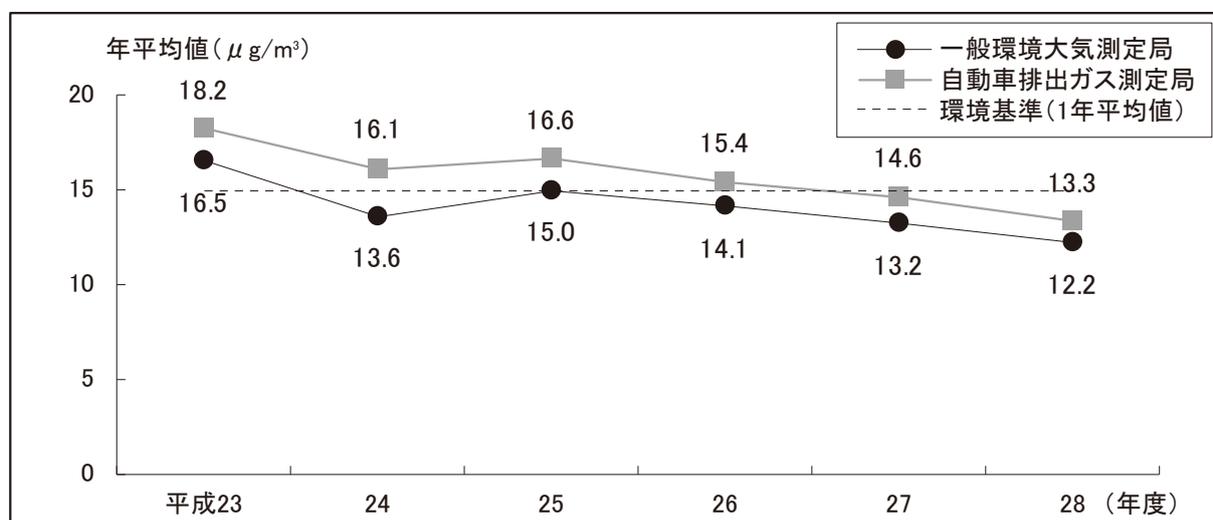
オ 光化学オキシダント濃度の推移



カ 非メタン炭化水素濃度の推移



キ 微小粒子状物質濃度の推移



(12) 都道府県別光化学スモッグ注意報・警報発令日数の推移

(単位：日)

| 都府県 | 年 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
|----------------------------------|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|----|-----|----|----|
| 山形県 福島県 茨城県 栃木県 群馬県 | | | | 1 | | | | | | | |
| | | 15 | 5 | 3 | 1 | | | | | 1 | |
| | | 16 | 5 | 6 | 14 | 2 | 3 | 5 | 9 | 2 | |
| 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 山梨県 | | 32 | 18 | 14 | 25 | 17 | 7 | 13 | 13 | 16 | 1 |
| | | 17 | 12 | 3 | 15 | 11 | 8 | 14 | 12 | 15 | 2 |
| | | 17 | 19 | 7 | 20 | 9 | 4 | 17 | 9 | 14 | 5 |
| 長野県 新潟県 富山県 静岡県 | | | 1 | | | | | | | | |
| | | 1 | | | | | | | | | |
| | | 7 | 2 | 2 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | | 1 |
| 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 | | 2 | 4 | 3 | 2 | | 1 | 1 | | | |
| | | 5 | 2 | 6 | 4 | 1 | 1 | 3 | | | 1 |
| | | 10 | 6 | 4 | 11 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 1 |
| 兵庫県 和歌山県 岡山県 広島県 | | 4 | 6 | 5 | 2 | | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 |
| | | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | | | 1 | 2 | |
| | | 6 | 6 | 6 | 9 | 3 | 5 | 7 | 1 | 9 | 7 |
| 山徳県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 | | 3 | 4 | 1 | | | | | | | |
| | | 2 | 1 | | | | | | | | |
| | | 1 | | | | | | | | 1 | 1 |
| 福佐県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 | | 4 | 2 | 2 | | | 1 | | | | |
| | | | 1 | 2 | 1 | | | 1 | | | |
| | | 3 | | 2 | | 1 | | | | | |
| 鹿児島県 | | | | 1 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 220 | 144 | 123 | 182 | 82 | 53 | 106 | 83 | 101 | 46 | |

() 内は警報発令延日数 (内数)

2

大気関係

(13) 都道府県別光化学スモッグ健康被害届出人数の推移

(単位：人)

| 都府県 | 年 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
|---|---|----------------------|--------------------|-------------------|----------------|--------------|----|---------|----|----|----|
| 福 島 県 茨 城 県 栃 木 県 群 馬 県 埼 玉 県 | | 21 2 4 | 20 3 | 95 | 33 7 | 1 58 9 | | 1 | 26 | | 19 |
| 千 葉 県 東 京 都 神 奈 川 県 新 潟 県 静 岡 県 | | 1 4 352 204 | 3 94 14 3 | 5 21 | 14 18 26 | 1 | 61 | 2 75 | | 2 | |
| 愛 知 県 岐 阜 県 大 岡 山 県 広 島 県 | | 771 3 3 | 82 3 | 733 6 | 12 1 4 | | 6 | | 7 | | |
| 山 口 県 愛 媛 県 福 岡 県 佐 賀 県 長 崎 県 | | 1 513 28 | 10 168 | 6 33 4 1 | 8 5 | | 13 | | | | 27 |
| 熊 本 県 大 分 県 鹿 児 島 県 | | 3 | | 2 1 3 | | | | | | | |
| 合 計 | | 1,910 | 400 | 910 | 128 | 69 | 80 | 78 | 33 | 2 | 46 |

(14) 有害大気汚染物質及びダイオキシン類（大気）の環境基準

| 物質 | ベンゼン | トリクロロエチレン | テトラクロロエチレン | ジクロロメタン | ダイオキシン類 （大気） |
|------------|--|----------------------------------|------------|---|---|
| 環境上の 条件 | 1年平均値が 0.003mg/m ³ 以下で あること | 1年平均値が0.2mg/m ³ であること | | 1年平均値が 0.15mg/m ³ 以下で あること | 1年平均値が 0.6pg-TEQ/m ³ 以下であること |
| 告示 年月日 | 平成9年2月4日 | | | 平成13年4月20日 | 平成11年12月27日 |

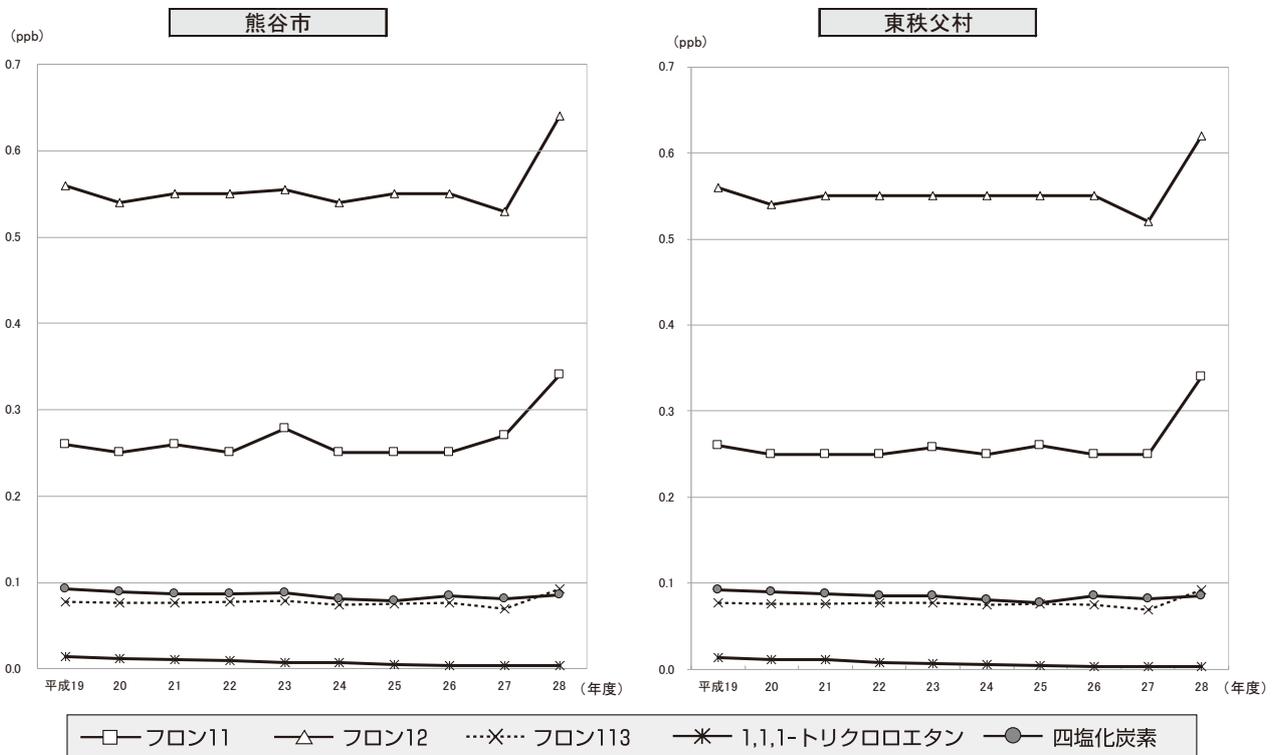
(15) 有害大気汚染物質及びダイオキシン類（大気）の環境基準達成状況（平成28年度）

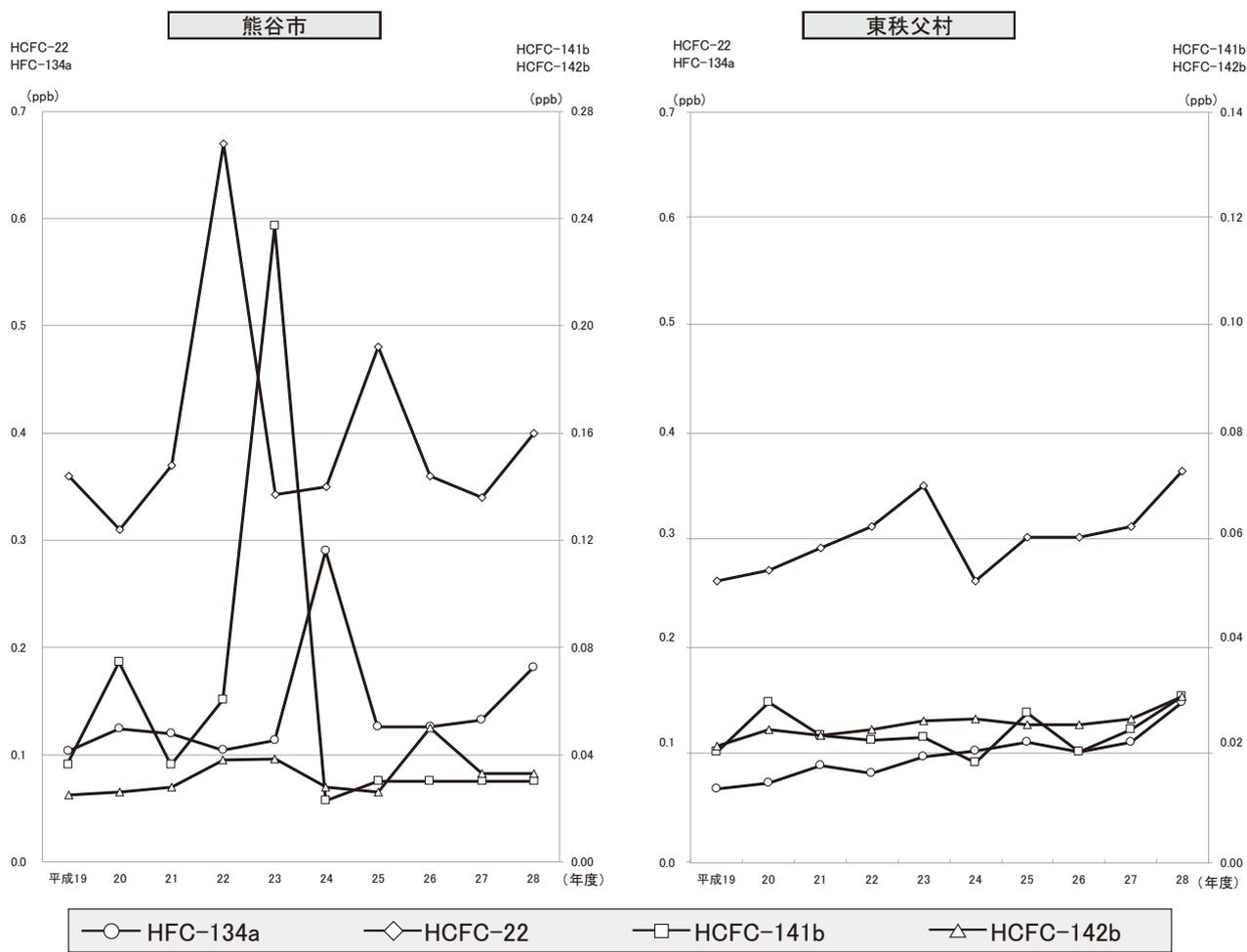
| | 測定地点数 | 達成地点数 | 達成率（%） |
|---------------------|-------|-------|--------|
| ベ ン ゼ ン | 24 | 24 | 100 |
| ト リ ク ロ ロ エ チ レ ン | 19 | 19 | 100 |
| テ ト ラ ク ロ ロ エ チ レ ン | 19 | 19 | 100 |
| ジ ク ロ ロ メ タ ン | 19 | 19 | 100 |
| ダ イ オ キ シ ン 類 | 23 | 23 | 100 |

(16) 有害大気汚染物質モニタリング結果（平成28年度）

| 測定物質名 | 環境基準 | 単位 | 調査結果 | 地点数 | |
|--------------|-------|-------------------|-------------------|------------|----|
| ベンゼン | 3以下 | μg/m ³ | 0.62~1.0 | 24 | |
| トリクロロエチレン | 200以下 | | 0.43~3.3 | 19 | |
| テトラクロロエチレン | 200以下 | | 0.046~0.88 | 19 | |
| ジクロロメタン | 150以下 | | 1.4~4.2 | 19 | |
| アクリロニトリル | — | | 0.022~0.070 | 19 | |
| 塩化ビニルモノマー | — | | 0.010~0.035 | 19 | |
| クロロホルム | — | | 0.15~0.34 | 19 | |
| 1,2-ジクロロエタン | — | | 0.067~0.15 | 19 | |
| 1,3-ブタジエン | — | | 0.048~0.16 | 24 | |
| 塩化メチル | — | | 1.3~1.6 | 19 | |
| キシレン類 | — | | 0.88~2.5 | 21 | |
| トルエン | — | | 6.2~27 | 24 | |
| アセトアルデヒド | — | | 1.3~4.7 | 19 | |
| ホルムアルデヒド | — | | 1.7~4.4 | 19 | |
| 酸化エチレン | — | | 0.046~0.091 | 15 | |
| ベンゾ [a] ピレン | — | | ng/m ³ | 0.061~0.31 | 20 |
| クロム及びその化合物 | — | | | 1.9~8.4 | 18 |
| 水銀及びその化合物 | — | 1.6~2.2 | | 14 | |
| ニッケル化合物 | — | 1.0~5.0 | | 18 | |
| ヒ素及びその化合物 | — | 0.33~1.5 | | 18 | |
| ベリリウム及びその化合物 | — | 0.0082~0.059 | | 18 | |
| マンガン及びその化合物 | — | 7.7~40 | | 18 | |
| 亜鉛及びその化合物 | — | 39~150 | | 12 | |
| バナジウム及びその化合物 | — | 2.3~5.1 | | 12 | |
| カドミウム及びその化合物 | — | 0.15~0.24 | | 12 | |
| 鉛及びその化合物 | — | 4.6~11 | 12 | | |

(17) 地球環境モニタリング調査結果





(18) フロン排出抑制法・自動車リサイクル法の登録業者数 (H29.3.31現在)

| フロン排出抑制法 | 第一種フロン類充填回収業者 | 事業所数 | | 事業者数 | |
|-----------|---------------|-------|----------|-------|-------|
| | | 引取業者 | フロン類回収業者 | 981 | 1,322 |
| 自動車リサイクル法 | | 1,512 | 440 | 341 | |
| | | 2,769 | 1,952 | 2,534 | |

※ 自動車リサイクル法については、さいたま市、川越市、越谷市を除く

(19) フロン回収量実績 (単位：トン)

| 年度 | フロン排出抑制法 (業務用冷凍空調機器) | | | | | | 自動車リサイクル法 (カーエアコン) | | | | | 総計 |
|----|-------------------------|------|-------|------|-------|-------|-----------------------|-------|------|-----|------|-------|
| | 回収量 | | | 充填量 | | | 県 | 市 | | | 合計 | |
| | 廃棄 | 整備 | 合計 | 設置 | 設置以外 | 合計 | | さいたま市 | 川越市 | 越谷市 | | |
| 24 | 130.5 | 49.9 | 180.4 | | | | 28.9 | 9.2 | 11.4 | — | 49.5 | 229.9 |
| 25 | 129.2 | 51.9 | 181.0 | | | | 26.7 | 7.2 | 10.3 | — | 44.1 | 225.1 |
| 26 | 150.7 | 53.9 | 204.5 | | | | 19.9 | 7.0 | 8.6 | — | 35.5 | 240.0 |
| 27 | 160.9 | 52.6 | 213.5 | 67.0 | 121.1 | 188.1 | 15.9 | 6.8 | 8.2 | 3.0 | 33.9 | 247.4 |
| 28 | 177.5 | 57.3 | 234.8 | 65.4 | 153.8 | 219.2 | 15.4 | 6.5 | 7.9 | 3.4 | 33.2 | 268.0 |

※ フロン排出抑制法における「廃棄」とは機器を廃棄又は部品リサイクルの際に回収したフロン、「整備」とは機器を整備（修理）の際に回収したフロン
 ※ 自動車リサイクル法によるフロン回収量は公益財団法人自動車リサイクル促進センターの公表値を基に算出
 ※ フロン排出抑制法の充填量は、法改正により平成27年度から集計

3 化学物質関係

(1) 化学物質管理制度

| | | 化学物質管理促進法 | 埼玉県生活環境保全条例 (県条例) |
|----------------------|--------------|--|---|
| 対象事業所 | 業種 | 製造業等24業種 | |
| | 従業員数 | 21人以上(全社) | |
| | 事業所ごとの年間取扱量等 | 特定第一種指定化学物質 0.5トン以上 第一種指定化学物質 1トン以上 特別要件施設(*2)(量に関係なく届出) | 0.5トン以上 |
| 対象化学物質(*1) | | 第一種指定化学物質 462物質 (特定第一種指定化学物質を含む) | 特定化学物質 606物質 ○第一種指定化学物質 462 (特定第一種指定化学物質を含む) ○第二種指定化学物質 100 ○県独自に定めた物質 44 |
| 届出(報告)内容 | | 環境中への排出量、事業所外への移動量 | 取扱量(使用量、製造量、取り扱う量) |
| 事業者による管理の改善や環境保全への取組 | | 化学物質管理指針に基づく適正管理 | 特定化学物質管理指針に基づく適正管理 ・適正管理のための手順書の提出(*3) ・環境負荷低減主任者の選任 |

備考 政令及び県条例の改正により、平成22年度データ分から対象事業所の業種数と対象化学物質の物質数が、平成26年度データ分から物質数が変わった。

(*1) 対象化学物質

第一種指定化学物質：人の健康や動植物に有害なおそれがある化学物質のうち、生産量などから環境中に広く存在する化学物質

特定第一種指定化学物質：第一種指定化学物質のうち、人に対して発がん性のある15物質

第二種指定化学物質：人の健康や動植物に有害なおそれがある化学物質のうち、生産量が増加すれば環境中に広く存在すると見込まれる化学物質

県独自に定めた物質：化学物質管理促進法の対象とならなかった物質で、県内の使用量が多いものや、内分泌かく乱作用の疑いのある物質など。

(*2) 特別要件施設：下水道終末処理施設、廃棄物処理施設及びダイオキシン類対策特別措置法に規定する特定施設のこと。

(*3) 適正管理のための手順書：各事業所における化学物質の適正管理体制や取扱方法などについて整理したもの。

ア 化学物質の排出量・移動量及び取扱量の集計結果(平成27年度データ/平成28年度届出)

(ア) 業種別届出件数・排出量・移動量・取扱量

(単位：トン/年)

| 業種 | 化学物質管理促進法 | | | 県条例 | |
|--------------------|-----------|---------|---------|-------|-----------|
| | 件数 | 排出量(※4) | 移動量(※5) | 件数 | 取扱量(※6) |
| 製造業 | 733 | 6,949 | 9,424 | 837 | 365,732 |
| 出版・印刷・同関連産業 | 51 | ③ 779 | ⑤ 483 | 58 | 14,568 |
| 化学工業 | ② 155 | ② 1,026 | ① 3,825 | ② 188 | ② 213,378 |
| プラスチック製品製造業 | ④ 85 | ① 1,673 | ③ 621 | ④ 83 | ④ 25,157 |
| ゴム製品製造業 | 17 | ④ 752 | 164 | 19 | 1,595 |
| 鉄鋼業 | 19 | 89 | ② 2,134 | 19 | 11,212 |
| 非鉄金属製造業 | 35 | 234 | 130 | 41 | ⑤ 15,968 |
| 金属製品製造業 | ③ 117 | 635 | ④ 578 | ③ 130 | 6,128 |
| 電気機械器具製造業 | 55 | 154 | 439 | ⑤ 67 | ③ 62,135 |
| 輸送用機械器具製造業 | 48 | ⑤ 641 | 127 | 63 | 3,257 |
| 石油卸売業 | 14 | 0 | 0 | 15 | 1,435 |
| 燃料小売業 | ① 637 | 111 | 0 | ① 586 | ① 342,355 |
| 一般廃棄物処理業(ごみ処分量に限る) | ⑤ 70 | 1 | 5 | 30 | 810 |
| その他 | 85 | 286 | 245 | 70 | 10,965 |
| 合計 | 1,539 | 7,347 | 9,674 | 1,538 | 721,297 |

(注) ○数字は、項目ごとの上位5番目までの順位を示す。

(*4) 排出量：事業所の生産工程などから排出ガスや排水などに含まれて環境中に排出された量のこと、埼玉県では大気への排出が全体の97%を占める。

(*5) 移動量：事業所から排出された廃棄物や下水道に放流された排水の中に含まれている量のこと、埼玉県では廃棄物に含まれての移動が全体の99%を占める。

(*6) 取扱量：使用量(事業所において事業活動に伴い使用した量)、製造量(事業所において製造した量)、取り扱う量(事業者自らは使用せず、卸売り、小売り等をするために、事業所において貯蔵所や貯蔵容器に移し替える等して取り扱う量)の合計で、排出量や移動量の基礎になる量のこと。

(イ) 物質別届出件数・排出量・移動量・取扱量 (単位：トン／年 ダイオキシン類のみ g-TEQ／年)

| 物質名 | 化学物質管理促進法 | | | 県条例 | |
|--------------------|-----------|---------|---------|-------|-----------|
| | 件数 | 排出量 | 移動量 | 件数 | 取扱量 |
| エチルベンゼン | ④ 686 | ⑤ 301 | 203 | ④ 657 | 25,254 |
| キシレン | ① 864 | ② 614 | ④ 425 | ① 854 | ② 80,601 |
| ジクロロメタン (別名塩化メチレン) | 127 | ③ 487 | 211 | 74 | 1,497 |
| ヘキサメチレンテトラミン | 9 | 0 | ③ 1,807 | 10 | 2,014 |
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | ③ 720 | 117 | 44 | ③ 677 | ④ 49,179 |
| トルエン | ① 864 | ① 4,342 | ① 2,401 | ② 848 | ① 203,992 |
| 鉛 | 12 | 0 | 11 | 15 | ⑤ 42,287 |
| フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) | 44 | 10 | ⑤ 398 | 46 | 15,351 |
| ノルマルーヘキサン | 624 | ④ 410 | 144 | ⑤ 586 | ③ 49,521 |
| ベンゼン | ⑤ 637 | 13 | 0 | 522 | 8,730 |
| マンガン及びその化合物 | 112 | 29 | ② 2,026 | 55 | 7,357 |
| ダイオキシン類 | 134 | (3.07) | (76.7) | 0 | 0 |
| 硫酸 (三酸化硫黄を含む) | — | — | — | 224 | 40,700 |
| メチルエチルケトン (別名 MEK) | — | — | — | 164 | 28,103 |
| メタノール | — | — | — | 197 | 20,597 |
| 塩化水素 (塩酸を含む) | — | — | — | 184 | 10,070 |
| 硝酸 | — | — | — | 101 | 6,823 |

(ウ) 大気への排出量 (上位5物質)

(単位：トン／年)

| 順位 | 物質名 | 届出排出量 | |
|----|--------------------|-------|------------------|
| | | 届出排出量 | (大気への排出量に占める割合%) |
| 1 | トルエン | 4,339 | (61.0) |
| 2 | キシレン | 614 | (8.6) |
| 3 | ジクロロメタン (別名塩化メチレン) | 486 | (6.8) |
| 4 | ノルマルーヘキサン | 410 | (5.8) |
| 5 | エチルベンゼン | 301 | (4.2) |

(エ) 公共用水域への排出量 (上位5物質)

(単位：トン／年)

| 順位 | 物質名 | 届出排出量 | |
|----|---------------|-------|---------------------|
| | | 届出排出量 | (公共用水域への排出量に占める割合%) |
| 1 | ほう素化合物 | 93 | (38.8) |
| 2 | ふっ化水素及びその水溶性塩 | 62 | (26.9) |
| 3 | 亜鉛の水溶性化合物 | 30 | (12.5) |
| 4 | マンガン及びその化合物 | 29 | (12.1) |
| 5 | 銅水溶性塩 (錯塩を除く) | 7 | (2.9) |

イ 化学物質管理促進法に基づく届出以外の化学物質排出量推計結果 (平成27年度データ／平成28年度届出)

届出によって把握される排出量の他に、対象業種でも届出対象とならない事業者や、建設業などのように対象でない事業者、自動車や二輪車などの移動体や家庭などからの排出があります。国は、これらからの排出量を都道府県別に推計し、集計しています。

(ア) 総排出量 (届出排出量+届出外排出量)

(単位：トン／年)

| 届出排出量 | 届出外排出量 | | | | | 総排出量 |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | 対象業種 | 非対象業種 | 家庭 | 移動体 | 届出外計 | |
| 7,347 (45.5%) | 2,436 (15.1%) | 1,720 (10.6%) | 2,340 (14.4%) | 2,322 (14.4%) | 8,818 (54.5%) | 16,165 (100%) |

(イ) 移動体からの排出量

(上位5物質) (単位：トン／年)

| 順位 | 物質名 | 排出量 |
|----|-----------|-----|
| 1 | トルエン | 826 |
| 2 | キシレン | 508 |
| 3 | ベンゼン | 227 |
| 4 | ホルムアルデヒド | 190 |
| 5 | ノルマルーヘキサン | 156 |

(ウ) 家庭からの排出量 (上位5物質)

(単位：トン／年)

| 順位 | 物質名 | 製品の例 | 排出量 |
|----|------------------------------------|-------------|-----|
| 1 | ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル | 台所用合成洗剤、化粧品 | 780 |
| 2 | ジクロロベンゼン | 防虫剤、消臭剤 | 484 |
| 3 | 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 | 洗濯用合成洗剤 | 375 |
| 4 | ポリ (オキシエチレン) = ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム | シャンプー、合成洗剤 | 146 |
| 5 | 2-アミノエタノール | 洗剤 | 103 |

(2) 化学物質環境モニタリング調査（平成28年度）

工業団地周辺での環境リスクを把握するため、モニタリング調査を実施しています。

ア 調査地域

岩槻工業団地（さいたま市）、大沼工業団地（羽生市）

イ 調査内容

調査地点：工業団地を囲む8地点及び工業団地の影響を受けにくいと考えられる1地点（対照地点）

調査方法：各調査地点において大気を年4回採取し、分析しました。

ウ 調査結果（全4回調査の平均値）

(ア) 岩槻工業団地

単位：(μg/m³)

| 調査地点名 調査対象物質 | 岩槻工業団地 | | | | | | | | | 環境基準 |
|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|------------------------|---------------------|----------------------|--------------------|-----------------|------------------|-------|
| | 北 蓮田市 黒浜 | 北東 さいたま市岩槻区 古ヶ場 | 東 さいたま市岩槻区 慈恩寺 | 南東 さいたま市岩槻区 表慈恩寺 | 南 さいたま市岩槻区 上里 | 南西 さいたま市岩槻区 岩槻 | 西 さいたま市岩槻区 掛 | 北西 蓮田市 黒浜 | 対照 白岡市 千駄野 | |
| トルエン | 37 | 87 | 35 | 38 | 29 | 34 | 37 | 29 | 14 | — |
| キシレン | 0.93 | 1.2 | 1.2 | 1.2 | 1.2 | 1.1 | 1.1 | 0.90 | 1.0 | — |
| エチルベンゼン | 1.4 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.3 | 1.2 | 1.3 | 1.1 | 1.4 | — |
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | 0.41 | 0.48 | 0.51 | 0.56 | 0.54 | 0.47 | 0.48 | 0.40 | 0.31 | — |
| 1,3,5-トリメチルベンゼン | 0.10 | 0.12 | 0.13 | 0.14 | 0.13 | 0.12 | 0.12 | 0.093 | 0.14 | — |
| ノルマルヘキサン | 1.2 | 1.0 | 1.0 | 0.94 | 0.89 | 1.1 | 1.4 | 1.2 | 0.82 | — |
| トリクロロエチレン | 1.5 | 1.2 | 1.1 | 1.1 | 1.3 | 1.9 | 19 | 1.7 | 1.0 | 200以下 |
| テトラクロロエチレン | 0.096 | 0.10 | 0.079 | 0.079 | 0.13 | 0.074 | 0.11 | 0.076 | 0.075 | 200以下 |

(イ) 大沼工業団地

単位：(μg/m³)

| 調査地点名 調査対象物質 | 大沼工業団地 | | | | | | | | | 環境基準 |
|-----------------|------------------|-----------------|------------------|-------------------|------------------|-----------------|----------------|-------------------|------------------|-------|
| | 北 羽生市 藤井下組 | 北東 羽生市 今泉 | 東 羽生市 中手子林 | 南東 羽生市 中手子林 | 南 羽生市 上手子林 | 南西 羽生市 北袋 | 西 羽生市 北袋 | 北西 羽生市 藤井下組 | 対照 羽生市 本川俣 | |
| トルエン | 6.6 | 4.8 | 6.5 | 5.8 | 8.5 | 9.0 | 38 | 10 | 5.7 | — |
| キシレン | 2.7 | 1.3 | 1.4 | 1.1 | 1.3 | 1.7 | 1.5 | 1.9 | 1.1 | — |
| エチルベンゼン | 1.7 | 1.3 | 1.5 | 1.3 | 1.6 | 1.6 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | — |
| 1,2,4-トリメチルベンゼン | 1.6 | 0.45 | 0.52 | 0.39 | 0.51 | 0.50 | 0.47 | 0.76 | 0.29 | — |
| ノルマルヘキサン | 1.1 | 0.74 | 0.78 | 0.71 | 0.79 | 1.3 | 2.5 | 1.8 | 0.80 | — |
| ジクロロメタン | 6.1 | 2.6 | 4.0 | 4.3 | 7.5 | 8.9 | 46 | 11 | 1.4 | 150以下 |
| 1-ブロモプロパン | 0.0056 | 0.0061 | 0.011 | 0.047 | 0.030 | 0.0074 | 0.0076 | 0.0074 | 0.0063 | — |

(3) 大気中石綿濃度調査結果一覧（平成28年度）

| No. | 測定地域種別 | 市町村名 | 測定場所 | 総繊維数濃度 (本/リットル) 9/26~11/2 |
|-----|--------|------|------------------|---------------------------------|
| 1 | 住宅地域 | 熊谷市 | 熊谷市久下公民館 | 0.38 |
| 2 | 住宅地域 | 秩父市 | 秩父市文化体育センター | 0.51 |
| 3 | 住宅地域 | 飯能市 | 飯能市役所 | 0.42 |
| 4 | 住宅地域 | 本庄市 | 本庄市児玉総合支所 | 0.46 |
| 5 | 住宅地域 | 春日部市 | 春日部市役所 | 0.34 |
| 6 | 住宅地域 | 羽生市 | 羽生市役所 | 0.76 |
| 7 | 住宅地域 | 深谷市 | 深谷市幡羅公民館 | 0.46 |
| 8 | 住宅地域 | 鶴ヶ島市 | 鶴ヶ島市北市民センター | 0.59 |
| 9 | 住宅地域 | 小川町 | 小川町総合福祉センター | 0.42 |
| 10 | 住宅地域 | 久喜市 | 久喜市鷲宮東コミュニティセンター | 0.67 |
| 11 | 道路沿線地域 | 草加市 | 草加市花栗自排局 | 0.92 |

| No. | 測定地域種別 | 市町村名 | 測定場所 | 総繊維数濃度 (本/リットル) 9/26~11/2 |
|-----|--------|------|---------------|---------------------------------|
| 12 | 道路沿線地域 | 戸田市 | 戸田美女木自排局 | 1.1※ |
| 13 | 道路沿線地域 | 入間市 | 国設入間自排局 | 0.83 |
| 14 | その他の地域 | 上尾市 | 上尾市北部浄水場 | 0.39 |
| 15 | その他の地域 | 久喜市 | 久喜菖蒲公園 | 0.68 |
| 16 | その他の地域 | 八潮市 | 西袋排水機場 | 0.60 |
| 17 | その他の地域 | 三芳町 | 三芳町清掃工場 | 0.93 |
| 18 | その他の地域 | 滑川町 | 滑川町文化スポーツセンター | 0.31 |
| 19 | その他の地域 | 吉見町 | 吉見町越中公園 | 0.31 |
| 20 | その他の地域 | 加須市 | 埼玉県環境科学国際センター | 0.33 |

※総繊維数濃度（幾何平均値）が1本/リットルを超えた場所について、その1本を超えた検体の石綿の同定を追加で行った。
その結果石綿繊維は確認されなかった。

(4) ダイオキシン類対策特別措置法の特定施設

ア 特定施設設置状況

(ア) 大気基準適用施設設置状況

(H29.3.31現在)

| 番号 | 施設の種類 | | 施設数 | | | 事業所数 | | |
|----|-----------------|-----------------|-----|----|-----|------|----|-----|
| | | | 県 | 市 | 計 | 県 | 市 | 計 |
| 1 | 焼結鉍の製造の用に供する焼結炉 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 製鋼用電気炉 | | 3 | 1 | 4 | 3 | 1 | 4 |
| 3 | 亜鉛回収施設 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | アルミニウム合金製造施設 | | 38 | 1 | 39 | 9 | 1 | 10 |
| 5 | 廃炉物 焼却炉 | 4t/時以上 | 34 | 26 | 60 | | | |
| | | 2t/時以上4t/時未満 | 72 | 7 | 79 | | | |
| | | 200kg/時以上2t/時未満 | 61 | 9 | 70 | | | |
| | | 200kg/時未満 | 70 | 18 | 88 | | | |
| | | 小計 | 237 | 60 | 297 | 152 | 35 | 187 |
| 合計 | | | 278 | 62 | 340 | 164 | 37 | 201 |

(イ) 水質基準対象施設

(H29.3.31現在)

| 番号 | 施設の種類 | | 施設数 | | | 事業場数 | | |
|----|---|--|-----|---|---|------|---|---|
| | | | 事務所 | 市 | 計 | 事務所 | 市 | 計 |
| 1 | 硫酸塩パルプ（クラフトパルプ）又は亜硫酸パルプ（サルファイトパルプ）の製造の用に供する塩素又は塩素化合物による漂白施設 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | カーバイド法アセチレンの製造の用に供するアセチレン洗浄施設 | | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 3 | 硫酸カリウムの製造の用に供する廃ガス洗浄施設 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | アルミナ繊維の製造の用に供する廃ガス洗浄施設 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 担体付き触媒の製造の用に供する焼成炉から発生するガスを処理する施設のうち廃ガス洗浄施設 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 塩化ビニルモノマーの製造の用に供する二塩化エチレン洗浄施設 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7 | カプロラクタムの製造の用に供する硫酸濃縮施設、シクロヘキサン分離施設、廃ガス洗浄施設 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8 | クロロベンゼン又はジクロロベンゼンの製造の用に供する水洗施設、廃ガス洗浄施設 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9 | 4-クロロフタル酸水素ナトリウムの製造の用に供するろ過施設、乾燥施設及び廃ガス洗浄施設 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10 | 2,3-ジクロロ-1,4-ナフトキノンの製造の用に供するろ過施設及び廃ガス洗浄施設 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 11 | ジオキサジンバイオレットの製造の用に供するニトロ化誘導体分離施設、還元誘導体分離施設、ニトロ化誘導体洗浄施設、還元誘導体洗浄施設、ジオキサジンバイオレット洗浄施設及び熱風乾燥施設 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 12 | アルミニウム又はその合金の製造の用に供する焙焼炉、溶解炉又は乾燥炉から発生するガスを処理する施設のうち廃ガス洗浄施設及び湿式集じん施設 | | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 |

| 番号 | 施 設 の 種 類 | 施設数 | | | 事業場数 | | |
|-----|---|-----|----|-----|------|----|----|
| | | 事務所 | 市 | 計 | 事務所 | 市 | 計 |
| 13 | 亜鉛の回収の用に供する精製施設、廃ガス洗浄施設及び湿式集じん施設 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 14 | 担体付き触媒からの金属の回収の用に供する施設のうちの過施設、精製施設及び廃ガス洗浄施設 | 60 | 0 | 60 | 5 | 0 | 5 |
| 15 | 廃棄物焼却炉に係る廃ガス洗浄施設、湿式集じん施設及び灰の貯留施設 | 102 | 20 | 122 | 43 | 7 | 50 |
| | 灰の貯留施設 | 37 | 12 | 49 | 18 | 8 | 26 |
| | 小計 | 139 | 32 | 171 | 61 | 15 | 76 |
| 16 | 廃PCB等又はPCB処理物の分解施設及びPCB汚染物又はPCB処理物の洗浄施設及び分離施設 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 17 | フロン類の破壊の用に供する施設のうちプラズマ反応施設、廃ガス洗浄施設及び湿式集じん施設 | 6 | 0 | 6 | 3 | 0 | 3 |
| 18 | 下水道終末処理施設 | 10 | 0 | 10 | 10 | 0 | 10 |
| 19 | 水質基準対象施設を設置する工場又は事業場から排出される水の処理施設 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | | 217 | 33 | 250 | 80 | 16 | 96 |

※ 「事業場数」については、ひとつの事業場に複数の種類の特定施設を有する場合は、その事業場の事業内容を最も反映する特定施設の区分に1事業場として計上。

(ウ) 立入検査数及び行政処分などの件数

(平成28年度)

| | 立入検査数 | | 行政検査数 | | 行政処分などの件数 | | | |
|----------|-------|----|-------|----|-----------|---|---------|---|
| | | | | | 命 令 | | 行 政 指 導 | |
| | 県 | 市 | 県 | 市 | 県 | 市 | 県 | 市 |
| 大気基準対象施設 | 232 | 52 | 26 | 19 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| 水質基準対象施設 | 86 | 3 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |

イ 設置者による測定結果報告

(ア) 大気基準適用施設

(平成28年度)

| 施設の種類の | 報告施設数 | | 測定結果(最小～最大) (ng-TEQ/m ³ N) | 基準値を超えた施設数 | |
|--------------|-------|-----------------|--|------------|-----------------|
| | 県 | 市 ^{※1} | | 県 | 市 ^{※1} |
| 製鋼用電気炉 | 3 | 1 | 0.000019～3.4 | 0 | 0 |
| アルミニウム合金製造施設 | 34 | 1 | 0.0～3.2 | 0 | 0 |
| 廃棄物焼却炉 | 173 | 48 | 0.00000019～65 | 1 | 2 |
| 合 計 | 210 | 50 | — | 1 | 2 |

(イ) ばいじん及び燃え殻

(平成28年度)

| 項 目 | 報告施設数 | | 測定結果(最小～最大) (ng-TEQ/m ³ N) | 基準値を超えた施設数 | |
|-------------------|-------|-----------------|--|------------|-----------------|
| | 県 | 市 ^{※1} | | 県 | 市 ^{※1} |
| ばいじん | 161 | 38 | 0.0～33 | 16 | 0 |
| 燃え殻 | 147 | 39 | 0.0～2.8 | 0 | 0 |
| 合 計 ^{※2} | 167 | 39 | — | 16 | 0 |

※1 市とは、さいたま市、川越市、川口市、所沢市、越谷市をいう。

※2 ばいじん及び燃え殻をともに報告している場合、1施設として計上しているため、合計は一致しない。

(ウ) 水質基準適用事業場数

(平成28年度)

| 特定施設 | 報告事業場数 | | 測定結果(pg-TEQ/L) (最小～最大) | 基準値を超えた事業場数 | |
|-------------|--------|---|---------------------------|-------------|---|
| | 県 | 市 | | 県 | 市 |
| 廃棄物焼却炉に係る施設 | 3 | 7 | 0.000033～2.2 | 0 | 0 |
| フロン類の破壊施設 | 2 | 0 | 0.000015～0.035 | 0 | 0 |
| 下水道終末処理施設 | 10 | 0 | 0.000087～0.29 | 0 | 0 |
| 合 計 | 15 | 7 | — | 0 | 0 |

(工) 水質基準適用事業場に適用される基準値

| 特 定 施 設 | 排出基準 (pg-TEQ/L) |
|---|-----------------|
| カーバイド法アセチレンの製造の用に供するアセチレン洗浄施設 | 10 ※基準は同じ |
| アルミニウム又はその合金の製造の用に供する焙焼炉又は乾燥炉から発生するガスを処理する施設のうち、廃ガス洗浄施設、湿式集じん施設 | |
| 担体付き触媒からの金属の回収の用に供する施設のうち、ろ過施設、精製施設及び排ガス洗浄施設 | |
| 廃棄物焼却炉に係る排ガス洗浄施設、湿式集じん施設及び灰の貯留施設 | |
| フロン類の破壊の用に供する施設のうち、プラズマ反応施設、廃ガス洗浄施設及び湿式集じん施設 | |
| 下水道終末処理施設 | |
| 水質基準対象施設を設置する工場又は事業場から排出される水の処理施設 | |

県内に所在する特定施設に係るもののみを記載した。

(5) 土壌の汚染に係る環境基準

| 項 目 | 環 境 上 の 条 件 |
|-----------------------------|--|
| カドミウム | 検液1Lにつき0.01mg以下であり、かつ、農用地においては、米1kgにつき0.4mg以下であること。 |
| 全シアン | 検液中に検出されないこと。 |
| 有機燐 | 検液中に検出されないこと。 |
| 鉛 | 検液1Lにつき0.01mg以下であること。 |
| 六価クロム | 検液1Lにつき0.05mg以下であること。 |
| 砒素 | 検液1Lにつき0.01mg以下であり、かつ、農用地（田に限る。）においては、土壌1kgにつき15mg未満であること。 |
| 総水銀 | 検液1Lにつき0.0005mg以下であること。 |
| アルキル水銀 | 検液中に検出されないこと。 |
| PCB | 検液中に検出されないこと。 |
| 銅 | 農用地（田に限る。）において、土壌1kgにつき125mg未満であること。 |
| ジクロロメタン | 検液1Lにつき0.02mg以下であること。 |
| 四塩化炭素 | 検液1Lにつき0.002mg以下であること。 |
| クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー） | 検液1Lにつき0.002mg以下であること。 |
| 1,2-ジクロロエタン | 検液1Lにつき0.004mg以下であること。 |
| 1,1-ジクロロエチレン | 検液1Lにつき0.1mg以下であること。 |
| シス-1,2-ジクロロエチレン | 検液1Lにつき0.04mg以下であること。 |
| 1,1,1-トリクロロエタン | 検液1Lにつき1mg以下であること。 |
| 1,1,2-トリクロロエタン | 検液1Lにつき0.006mg以下であること。 |
| トリクロロエチレン | 検液1Lにつき0.03mg以下であること。 |
| テトラクロロエチレン | 検液1Lにつき0.01mg以下であること。 |
| 1,3-ジクロロプロペン | 検液1Lにつき0.002mg以下であること。 |
| チウラム | 検液1Lにつき0.006mg以下であること。 |
| シマジン | 検液1Lにつき0.003mg以下であること。 |
| チオベンカルブ | 検液1Lにつき0.02mg以下であること。 |
| ベンゼン | 検液1Lにつき0.01mg以下であること。 |
| セレン | 検液1Lにつき0.01mg以下であること。 |
| ふっ素 | 検液1Lにつき0.8mg以下であること。 |
| ほう素 | 検液1Lにつき1mg以下であること。 |
| 1,4-ジオキサン | 検液1Lにつき0.05mg以下であること。 |

備考

- 1 検液とは、土壌を10倍量の水と混合して振とうすることによって、汚染物質を溶出させた液。
- 2 カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレン、ふっ素及びほう素に係る環境上の条件のうち検液中濃度に係る値にあつては、汚染土壌が地下水から離れており、かつ、原状において当該地下水中のこれらの物質の濃度がそれぞれ地下水1Lにつき0.01mg、0.01mg、0.05mg、0.01mg、0.0005mg、0.01mg、0.8mg及び1mgを超えていない場合には、それぞれ検液1Lにつき0.03mg、0.03mg、0.15mg、0.03mg、0.0015mg、0.03mg、2.4mg及び3mgとする。
- 3 「検液中に検出されないこと」とは、平成3年8月環境庁告示第46号別表中「測定方法」の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
- 4 有機燐とは、パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びEPNをいう。
- 5 クロロエチレン、1,4-ジオキサンの環境基準値は、平成29年4月1日から適用。

(6) 特定有害物質及び要措置区域又は形質変更時要届出区域の指定に係る土壌の汚染状態の基準（土壌汚染対策法）

| 特定有害物質の種類 | | 土壌溶出量基準 | 土壌含有量基準 |
|------------|-----------------|---|-------------------|
| 第一種特定有害物質 | クロロエチレン | 0.002mg/L以下 | |
| | 四塩化炭素 | 0.002mg/L以下 | |
| | 1,2-ジクロロエタン | 0.004mg/L以下 | |
| | 1,1-ジクロロエチレン | 0.1mg/L以下 | |
| | シス-1,2-ジクロロエチレン | 0.04mg/L以下 | |
| | 1,3-ジクロロプロペン | 0.002mg/L以下 | |
| | ジクロロメタン | 0.02mg/L以下 | |
| | テトラクロロエチレン | 0.01mg/L以下 | |
| | 1,1,1-トリクロロエタン | 1mg/L以下 | |
| | 1,1,2-トリクロロエタン | 0.006mg/L以下 | |
| | トリクロロエチレン | 0.03mg/L以下 | |
| ベンゼン | 0.01mg/L以下 | | |
| 第二種特定有害物質 | カドミウム及びその化合物 | 0.01mg/L以下 | 150mg/kg以下 |
| | 六価クロム化合物 | 0.05mg/L以下 | 250mg/kg以下 |
| | シアン化合物 | 検出されないこと | (遊離シアン) 50mg/kg以下 |
| | 水銀及びその化合物 | (総水銀) 0.0005mg/L以下 (アルキル水銀) 検出されないこと | 15mg/kg以下 |
| | セレン及びその化合物 | 0.01mg/L以下 | 150mg/kg以下 |
| | 鉛及びその化合物 | 0.01mg/L以下 | 150mg/kg以下 |
| | 砒素及びその化合物 | 0.01mg/L以下 | 150mg/kg以下 |
| | ふっ素及びその化合物 | 0.8mg/L以下 | 4,000mg/kg以下 |
| ほう素及びその化合物 | 1mg/L以下 | 4,000mg/kg以下 | |
| 第三種特定有害物質 | シマジン | 0.003mg/L以下 | |
| | チオベンカルブ | 0.02mg/L以下 | |
| | チウラム | 0.006mg/L以下 | |
| | PCB | 検出されないこと | |
| | 有機りん化合物 | 検出されないこと | |

備考

- 1 土壌溶出量基準は25の特定有害物質すべてについて、土壌含有量基準は「第二種特定有害物質」の9物質に限り定められている。
- 2 土壌溶出量基準は、(5) 土壌の汚染に係る環境基準の表の「環境上の条件」の欄の検液中濃度に係る値と同じ値になっている。
- 3 埼玉県生活環境保全条例に基づく土壌の汚染に係る基準についても、上と同じである。
- 4 クロロエチレンの基準値は、平成29年4月1日から適用。

(7) 農用地の土壌汚染状況調査の分析測定結果

| 調査年度 | | 調査地点の分析測定結果 | | | | | | | | | | | |
|------|------------|----------------|-----|------|------|----------------|-----|-----|------|--------------------|------|------|------|
| | | 土壌中（乾物） | | | | | | | | 玄米中（現物） | | | |
| | | 銅（基準値125mg/kg） | | | | 砒素（基準値15mg/kg） | | | | カドミウム（基準値0.4mg/kg） | | | |
| | | 最高 | 最低 | 平均 | 調査地点 | 最高 | 最低 | 平均 | 調査地点 | 最高 | 最低 | 平均 | 調査地点 |
| 一巡目 | (54~57) 全県 | 32.3 | 0.1 | 11.3 | 90 | 11.8 | tr | 1.9 | 90 | 0.37 | 0.02 | 0.11 | 46 |
| 二巡目 | (59~62) 全県 | 23.6 | 0.1 | 9.0 | 90 | 5.3 | tr | 1.4 | 90 | 0.30 | nd | 0.09 | 48 |
| 三巡目 | (元~4) 全県 | 21.6 | 0.3 | 9.3 | 90 | 8.0 | tr | 1.8 | 90 | 0.38 | tr | 0.09 | 46 |
| 四巡目 | (6~9) 全県 | 28.7 | 0.2 | 9.4 | 87 | 13.1 | tr | 2.2 | 87 | 0.30 | tr | 0.06 | 31 |
| 五巡目 | (11~14) 全県 | 30.8 | 0.1 | 11.2 | 180 | 11.3 | 0.1 | 2.0 | 180 | 0.28 | tr | 0.09 | 50 |
| 六巡目 | (16~19) 全県 | 21.5 | tr | 8.9 | 180 | 6.4 | 0.1 | 1.7 | 180 | 0.31 | tr | 0.06 | 47 |
| 七巡目 | (21~24) 全県 | 21.7 | tr | 9.5 | 165 | 7.9 | tr | 1.7 | 165 | 0.22 | tr | 0.03 | 43 |
| 八巡目 | (26~28) 全県 | 25.5 | 0.1 | 9.9 | 96 | 10.5 | 0.2 | 2.1 | 96 | 0.29 | 0.01 | 0.06 | 20 |

(注) 県農業技術研究センターの分析測定結果で、昭和58年、63年、平成5年、10年、20年、25年は各調査巡の取りまとめ年である。

nd：検出限界以下 tr：極微量検出

(8) 公共用水域の水質汚濁に係る環境基準
人の健康の保護に関する環境基準

| 項目 | 基準値 | 項目 | 基準値 |
|---------------------------|--------------|----------------|-------------|
| カドミウム | 0.003mg/L以下 | 1,1,2-トリクロロエタン | 0.006mg/L以下 |
| 全シアン | 検出されないこと。 | トリクロロエチレン | 0.01mg/L以下 |
| 鉛 | 0.01mg/L以下 | テトラクロロエチレン | 0.01mg/L以下 |
| 六価クロム | 0.05mg/L以下 | 1,3-ジクロロプロペン | 0.002mg/L以下 |
| 砒素 | 0.01mg/L以下 | チウラム | 0.006mg/L以下 |
| 総水銀 | 0.0005mg/L以下 | シマジン | 0.003mg/L以下 |
| アルキル水銀 | 検出されないこと。 | チオベンカルブ | 0.02mg/L以下 |
| PCB | 検出されないこと。 | ベンゼン | 0.01mg/L以下 |
| ジクロロメタン | 0.02mg/L以下 | セレン | 0.01mg/L以下 |
| 四塩化炭素 | 0.002mg/L以下 | 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 10mg/L以下 |
| 1,2-ジクロロエタン | 0.004mg/L以下 | ふっ素 | 0.8mg/L以下 |
| 1,1-ジクロロエチレン | 0.1mg/L以下 | ほう素 | 1 mg/L以下 |
| シス-1,2-ジクロロエチレン | 0.04mg/L以下 | 1,4-ジオキサン | 0.05mg/L以下 |
| 1,1,1-トリクロロエタン | 1 mg/L以下 | | |
| 達成期間 | | 該当水域 | |
| 直ちに達成され、維持されるように努めるものとする。 | | 全公共用水域 | |

備考

- 1 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
- 2 「検出されないこと」とは、昭和46年12月28日環境庁告示第59号別表1 測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
- 3 トリクロロエチレンの環境基準値は、平成26年11月17日環境省告示第126号により0.01mg/L以下に改正された。

(9) 公共用水域における健康項目の環境基準非達成の状況 (平成28年度)

| 河川名 | 地点名 (所在地) | 項目名 | 総検 体数 | 基準値超 過検体数 | 最大値 | 平均値 | 環境 基準値 |
|-----|--------------|-----|----------|--------------|-----|-----|-----------|
| | 非達成地点なし | | | | | | |

(10) 地下水の水質汚濁に係る環境基準

| 項目 | 基準値 | 項目 | 基準値 |
|-------------------------------------|--------------|----------------|-------------|
| カドミウム | 0.003mg/L以下 | 1,1,1-トリクロロエタン | 1mg/L以下 |
| 全シアン | 検出されないこと。 | 1,1,2-トリクロロエタン | 0.006mg/L以下 |
| 鉛 | 0.01mg/L以下 | トリクロロエチレン | 0.01mg/L以下 |
| 六価クロム | 0.05mg/L以下 | テトラクロロエチレン | 0.01mg/L以下 |
| 砒素 | 0.01mg/L以下 | 1,3-ジクロロプロペン | 0.002mg/L以下 |
| 総水銀 | 0.0005mg/L以下 | チウラム | 0.006mg/L以下 |
| アルキル水銀 | 検出されないこと。 | シマジン | 0.003mg/L以下 |
| PCB | 検出されないこと。 | チオベンカルブ | 0.02mg/L以下 |
| ジクロロメタン | 0.02mg/L以下 | ベンゼン | 0.01mg/L以下 |
| 四塩化炭素 | 0.002mg/L以下 | セレン | 0.01mg/L以下 |
| クロロエチレン(別名塩化 ビニル又は塩化ビニルモノ マー) | 0.002mg/L以下 | 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 10mg/L以下 |
| 1,2-ジクロロエタン | 0.004mg/L以下 | ふっ素 | 0.8mg/L以下 |
| 1,1-ジクロロエチレン | 0.1mg/L以下 | ほう素 | 1mg/L以下 |
| 1,2-ジクロロエチレン | 0.04mg/L以下 | 1,4-ジオキサン | 0.05mg/L以下 |

備考

- 1 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
- 2 「検出されないこと」とは、平成9年3月環境庁告示第10号別表の「測定方法」の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
- 3 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、硝酸イオンの濃度に換算係数0.2259を乗じたものと亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたものの和とする。
- 4 1,2-ジクロロエチレンの濃度はシス体の濃度とトランス体の濃度の和とする。
- 5 トリクロロエチレンの環境基準値は、平成26年11月17日環境省告示127号により0.01mg/L以下に改正された。
- 6 平成29年4月1日から、塩化ビニルモノマーの項目名をクロロエチレン(別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)に変更した。

(11) 地下水水質概況調査結果
ア 項目別検出状況

(平成28年度)

| 項目 | 調査地点数 | 基準超過地点数 | 基準適合率 (%) |
|----------------|-------|---------|-----------|
| カドミウム | 86 | 0 | 100 |
| 全シアン | 86 | 0 | 100 |
| 鉛 | 86 | 0 | 100 |
| 六価クロム | 86 | 0 | 100 |
| 砒素 | 86 | 4 | 95.3 |
| 総水銀 | 86 | 0 | 100 |
| アルキル水銀 | 5 | 0 | 100 |
| P C B | 86 | 0 | 100 |
| ジクロロメタン | 86 | 0 | 100 |
| 四塩化炭素 | 86 | 0 | 100 |
| 塩化ビニルモノマー | 86 | 0 | 100 |
| 1,2-ジクロロエタン | 86 | 0 | 100 |
| 1,1-ジクロロエチレン | 86 | 0 | 100 |
| 1,2-ジクロロエチレン | 86 | 0 | 100 |
| 1,1,1-トリクロロエタン | 86 | 0 | 100 |
| 1,1,2-トリクロロエタン | 86 | 0 | 100 |
| トリクロロエチレン | 86 | 0 | 100 |
| テトラクロロエチレン | 86 | 0 | 100 |
| 1,3-ジクロロプロペン | 86 | 0 | 100 |
| チウラム | 86 | 0 | 100 |
| シマジン | 86 | 0 | 100 |
| チオベンカルブ | 86 | 0 | 100 |
| ベンゼン | 86 | 0 | 100 |
| セレン | 86 | 0 | 100 |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 86 | 12 | 86.0 |
| ふっ素 | 86 | 0 | 100 |
| ほう素 | 86 | 0 | 100 |
| 1,4-ジオキサン | 86 | 0 | 100 |

イ 環境基準超過地点

(平成28年度)

| 項目 | 地点 | 濃度 (mg/L) | 基準値 (mg/L) |
|---------------|------|-------------|------------|
| 砒素 | 4地点 | 0.011~0.040 | 0.01以下 |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 12地点 | 11~32 | 10以下 |

ウ 調査地点数及び環境基準適合割合の推移

| 年度 | 調査市町村数 | 調査地点数 (井戸本数) | 環境基準適合地点数 (井戸本数) | 環境基準適合地点数 の割合 (%) |
|----|--------|-----------------|---------------------|----------------------|
| 24 | 56 | 138 | 124 | 89.9 |
| 25 | 51 | 139 | 120 | 86.3 |
| 26 | 47 | 88 | 76 | 86.4 |
| 27 | 46 | 86 | 74 | 86.0 |
| 28 | 50 | 86 | 70 | 81.4 |

(12) ダイオキシン類に係る環境基準

| 大気 | 水質 | 土壌 | 河川底質 |
|---------------------------------------|------------------------|-----------------|---------------|
| 年間平均値が 0.6pg-TEQ/m ³ 以下 | 年間平均値が 1 pg-TEQ/L以下 | 1,000pg-TEQ/g以下 | 150pg-TEQ/g以下 |

(13) ダイオキシン類対策特別措置法に基づく常時監視結果（平成28年度）

ア 大気

| 地域分類 | 調査機関 | 調査地点 | 調査結果 [pg-TEQ/m ³] | | | | |
|----------------|-------------------|--------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------------|------------------------------|--------|
| | | | 第1回 5/19~26 | 第2回 7/14~21 ^{*1} | 第3回 10/13~20 | 第4回 1/12~19 ^{*2} | 平均値 |
| 一般環境 (19地点) | 埼玉県 (12地点) | 八潮局（八潮市水道部） | 0.022 | 0.020 | 0.055 | 0.070 | 0.042 |
| | | 新座局（水道管理センター） | 0.021 | 0.025 | 0.033 | 0.026 | 0.026 |
| | | 富士見局（富士見市役所） | - | 0.018 | - | 0.029 | 0.024 |
| | | 日高局（高麗川南公民館） | 0.013 | 0.013 | 0.018 | 0.0087 | 0.013 |
| | | 久喜局（久喜南中学校） | 0.023 | 0.019 | 0.059 | 0.039 | 0.035 |
| | | 加須局（礼羽小学校） | 0.037 | 0.013 | 0.065 | 0.042 | 0.039 |
| | | 鴻巣局（鴻巣市役所） | - | 0.015 | - | 0.025 | 0.020 |
| | | 東松山局（五領町近隣公園） | 0.019 | 0.017 | 0.038 | 0.014 | 0.022 |
| | | 小川局（小川高等学校） | - | 0.015 | - | 0.010 | 0.013 |
| | | 深谷局（桜ヶ丘小学校） | 0.037 | 0.026 | 0.055 | 0.025 | 0.036 |
| | | 本庄児玉局（児玉児童公園） | - | 0.016 | - | 0.013 | 0.015 |
| | | 秩父局（秩父農林振興センター） | - | 0.0088 | - | 0.0040 | 0.0064 |
| | さいたま市 (2地点) | 大宮区役所 | 0.027 | 0.019 | 0.041 | 0.022 | 0.027 |
| | さいたま市役所局（さいたま市役所） | 0.023 | 0.020 | 0.028 | 0.020 | 0.023 | |
| | 川越市 | 川越市川越局（宮下町） | 0.014 | 0.013 | 0.021 | 0.014 | 0.016 |
| | 越谷市 | 越谷市役所（越ヶ谷） | 0.015 | 0.014 | 0.048 | 0.025 | 0.026 |
| | 川口市 | 川口市芝樋ノ爪小学校（芝樋ノ爪） | - | 0.030 | - | 0.021 | 0.026 |
| | 所沢市 (2地点) | 所沢市教育センター（けやき台） | 0.014 | 0.014 | 0.020 | 0.0092 | 0.014 |
| | 所沢市東所沢局（東所沢） | 0.020 | 0.018 | 0.028 | 0.017 | 0.021 | |
| 一般環境平均 | | | | | | 0.023 | |
| 固定発生源周辺 | 埼玉県 | 三ヶ尻（熊谷市三ヶ尻） | 0.056 | 0.017 | 0.10 | 0.057 | 0.058 |
| 沿道 (3地点) | 埼玉県 (3地点) | 戸田美女木自排局（西部福祉センター） | 0.057 | 0.12 | 0.038 | 0.027 | 0.061 |
| | | 草加市花栗自排局（花栗中学校） | - | 0.018 | - | 0.082 | 0.050 |
| | | 朝霞幸町自排局（旧朝霞第四小学校） | - | 0.025 | - | 0.033 | 0.029 |
| | 沿道平均 | | | | | | 0.047 |
| 全地点平均 | | | | | | | 0.028 |

※1 川口市調査分の第2回は、7/13~20

※2 川口市調査分の第4回は、1/11~1/18

イ 公共用水域（河川水質・河川底質）におけるダイオキシン類常時監視結果（平成28年度）

水質環境基準：年間平均値1[pg-TEQ/L]以下、底質環境基準：150[pg-TEQ/g]以下

| NO. | 河川名 | 調査地点 | 備考 | 採取日 | 調査結果 | | | 調査機関 |
|-----|-----|---------|----------|-----------|-----------------|-------|--------------------|-------|
| | | | | | 河川水質 [pg-TEQ/L] | | 河川底質 [pg-TEQ/g] | |
| | | | | | 測定値 | 年平均値 | | |
| 1 | 荒川 | 笹目橋 | 基 | H28.10.21 | 0.072 | 0.072 | 0.25 | 国土交通省 |
| 3 | | 治水橋 | 基 | H28.10.21 | 0.084 | 0.084 | 1.1 | |
| 6 | | 久下橋 | 基 | H28.10.21 | 0.070 | 0.070 | 0.62 | |
| 9 | | 中津川合流点前 | 基 | H28.10.27 | 0.012 | 0.012 | 0.079 | |
| 10 | 芝川 | 八丁橋 | 基 | H28.10.25 | 0.53 | 0.42 | 7.7 | さいたま市 |
| | | | | | H29.1.24 | | 0.30 | |
| 11 | | 境橋 | | H28.10.25 | 0.16 | 0.16 | 1.3 | |
| | | | H29.1.24 | 0.15 | - | | | |
| 12 | 新芝川 | 山王橋 | 基 | H28.10.18 | 0.88 | 0.78 | 3.1 | 川口市 |
| | | | | H29.1.13 | 0.68 | | - | |
| 18 | 鴨川 | 中土手橋 | 基 | H28.10.25 | 0.27 | 0.21 | 7.8 | さいたま市 |
| | | | | H29.1.24 | 0.15 | | - | |
| 22 | 入間川 | 初雁橋 | | H28.10.6 | 0.019 | 0.019 | 0.19 | 川越市 |
| 37 | 成木川 | 成木大橋 | 基 | H28.11.16 | 0.013 | 0.013 | 0.38 | 埼玉県 |
| 39 | 市野川 | 天神橋 | 基 | H28.10.28 | 0.066 | 0.066 | 0.72 | |
| 43 | 横瀬川 | 原谷橋 | 基 | H28.10.27 | 0.014 | 0.014 | 0.14 | |
| 45 | 中川 | 潮止橋 | | H28.5.25 | 1.2 | 0.69 | - | 国土交通省 |
| | | | | H28.7.27 | 0.64 | | - | |
| | | | | H28.10.6 | 0.52 | | - | |
| | | | | H28.12.2 | 0.39 | | - | |
| 48 | | 豊橋 | 基 | H28.11.4 | 0.37 | 0.37 | 2.4 | 埼玉県 |

| NO. | 河川名 | 調査地点 | 備考 | 採取日 | 調査結果 | | | 調査機関 | | |
|-----|-----------|------------|----------|-----------|-----------------|-----------|--------------------|-------|-------|-----|
| | | | | | 河川水質 [pg-TEQ/L] | | 河川底質 [pg-TEQ/g] | | | |
| | | | | | 測定値 | 年平均値 | | | | |
| 52 | 綾瀬川 | 内匠橋 | 基 | H28.5.24 | 1.5 | 1.4 | - | 国土交通省 | | |
| | | | | H28.7.21 | 2.8 | | - | | | |
| | | | | H28.10.7 | 0.29 | | 14 | | | |
| | | | | H28.12.16 | 0.86 | | - | | | |
| 53 | | 手代橋 | | | H28.5.24 | 1.9 | 1.7 | | - | |
| | | | | | H28.7.21 | 2.9 | | | - | |
| | | | | | H28.10.7 | 0.58 | | | - | |
| | | | | | H28.12.16 | 1.6 | | | - | |
| 54 | | 槐戸橋 | | | H28.5.24 | 1.9 | 1.4 | | - | |
| | | | | | H28.7.21 | 1.7 | | | - | |
| | | | | | H28.10.7 | 0.93 | | | - | |
| | | | | | H28.12.16 | 0.94 | | | - | |
| 55 | 噺橋 | 基 | | H28.10.25 | 1.3 | 0.81 | 16 | さいたま市 | | |
| | | | | H29.1.24 | 0.36 | | - | | | |
| 56 | 伝右川 | 伝右橋 | | | H28.4.11 | 0.66 | - | 埼玉県 | | |
| | | | | | H28.8.5 | | 0.78 | | - | |
| | | | | | H28.11.4 | | 0.94 | | 260 | |
| | | | | | H29.1.16 | | 0.41 | | - | |
| 57 | 古綾瀬川 | 綾瀬川合流点前 | 基 | | H28.4.11 | 0.44 | - | | | |
| | | | | | H28.8.5 | | 0.63 | | - | |
| | | | | | H28.11.17 | | 0.44 | | 10 | |
| | | | | | H29.1.16 | | 0.18 | | - | |
| 60 | 元荒川 | 中島橋 | 基 | | H28.11.4 | 0.47 | 0.47 | 1.6 | | |
| 64 | 新方川 | 昭和橋 | 基 | | H28.5.16 | 2.2 | - | 越谷市 | | |
| | | | | | H28.8.5 | | 2.2 | | - | |
| | | | | | H28.11.4 | | 0.83 | | 5.6 | |
| | | | | | H29.1.16 | | 0.27 | | - | |
| 65 | 大落古利根川 | ふれあい橋 | 基 | | H28.5.16 | 0.69 | - | | | |
| | | | | | H28.8.5 | | 0.96 | | - | |
| | | | | | H28.11.4 | | 0.79 | | 1.4 | |
| | | | | | H29.1.16 | | 0.20 | | - | |
| 69 | 新河岸川 | いろは橋 | 基 | | H28.11.16 | 0.23 | 0.23 | 2.6 | 埼玉県 | |
| 旭橋 | | | H28.10.6 | 0.12 | 0.12 | 1.2 | 川越市 | | | |
| 72 | 黒目川 | 東橋 | 基 | | H28.11.16 | 0.070 | 0.070 | 3.4 | 埼玉県 | |
| 77 | 不老川 | 不老橋 | 基 | | H28.10.6 | 0.032 | 0.032 | 1.4 | 川越市 | |
| 83 | 利根川 | 坂東大橋 | 基 | | H28.10.5 | 0.076 | 0.076 | 0.43 | 国土交通省 | |
| 89 | 小山川 | 一の橋 | 基 | | H28.10.27 | 0.076 | 0.076 | 0.97 | 埼玉県 | |
| 92 | 元小山川 | 県道本庄妻沼線交差点 | 基 | | H28.10.27 | 0.78 | 0.78 | - | | |
| A | 綾瀬川 | 綾瀬川橋 | | | H28.5.16 | 1.6 | - | 越谷市 | | |
| | | | | | H28.8.5 | | 2.2 | | - | |
| | | | | | H28.11.4 | | 0.69 | | 4.3 | |
| | | | | | H29.1.16 | | 0.25 | | - | |
| C | | 新箕子橋 | | | | H28.10.25 | 0.45 | 36 | さいたま市 | |
| | | | | | | H29.1.24 | | 0.22 | | - |
| D | | 関橋 | | | | H28.10.28 | 0.38 | 0.38 | - | 埼玉県 |
| E | | 上綾瀬橋 | | | | H28.4.11 | 1.0 | - | | |
| | | | | | | H28.8.5 | | 2.2 | - | |
| | | | | | | H28.10.28 | | 0.84 | 32 | |
| F | | 古綾瀬川 | 松江新橋 | | | H28.4.11 | 0.57 | - | 埼玉県 | |
| | | | | | | H28.8.5 | | 0.63 | | - |
| | H28.11.17 | | | | | 0.52 | | 7.2 | | |
| | H29.1.16 | | | | | 0.16 | | - | | |
| G | 弁天橋 | | | | | H28.4.11 | 0.81 | - | | |
| | | | | | | H28.8.5 | | 1.2 | - | |
| | | | | | | H28.11.17 | | 0.56 | 11 | |
| | | | | | | H29.1.16 | | 0.48 | - | |

| NO. | 河川名 | 調査地点 | 備考 | 採取日 | 調査結果 | | | 調査機関 |
|-----|-----|-----------|----|-----------|-----------------|-------|-----------------|-------|
| | | | | | 河川水質 [pg-TEQ/L] | | 河川底質 [pg-TEQ/g] | |
| | | | | | 測定値 | 年平均値 | | |
| H | 柳瀬川 | 清柳橋 | | H28.12.6 | 0.015 | 0.015 | 0.31 | 所沢市 |
| I | 不老川 | 金井沢橋 | | H28.12.6 | 0.028 | 0.028 | 4.9 | |
| L2 | 荒川 | 二瀬ダム | 基 | H28.10.20 | 0.067 | 0.067 | 0.73 | 国土交通省 |
| L3 | | 荒川貯水池(彩湖) | 基 | H28.10.20 | 0.12 | 0.12 | 10 | |
| K | 浦山川 | 浦山ダム | | H28.10.20 | 0.067 | 0.067 | 1.9 | 水資源機構 |
| M | 中津川 | 滝沢ダム | | H28.10.20 | 0.067 | 0.067 | 0.91 | |

注1) NO. 欄の数字は、平成28年度公共用水域水質測定計画の測定地点番号です。

アルファベットは、同測定計画にない地点であることを示します。

注2) 備考欄の「基」は、環境基準点であることを示しています。

ウ 地下水常時監視結果（平成28年度）

環境基準：1 pg-TEQ/L 以下

| No. | 調査機関 | 調査地点 | | 採取日 | 調査結果 [pg-TEQ/L] |
|-----|-------|-------|-------|-----------|-----------------|
| 1 | 埼玉県 | 羽生市 | 常木 | H28.10.7 | 0.011 |
| 2 | | 鴻巣市 | 明用 | H28.9.29 | 0.013 |
| 3 | | 新座市 | 石神 | H28.9.29 | 0.010 |
| 4 | | 八潮市 | 木曾根 | H28.10.11 | 0.013 |
| 5 | | 白岡市 | 篠津 | H28.10.7 | 0.012 |
| 6 | | 鳩山町 | 高野倉 | H28.9.29 | 0.038 |
| 7 | | 美里町 | 白石 | H28.9.28 | 0.013 |
| 8 | さいたま市 | さいたま市 | 北区日進町 | H28.8.29 | 0.048 |
| 9 | 川越市 | 川越市 | 南大塚 | H28.10.13 | 0.012 |
| 10 | 川口市 | 川口市 | 柳崎 | H28.5.26 | 0.062 |
| 11 | 所沢市 | 所沢市 | 下富 | H28.11.29 | 0.011 |
| 12 | 越谷市 | 越谷市 | 伊原 | H28.11.16 | 0.056 |

エ 土壌常時監視結果（平成28年度）

(ア) 一般環境把握調査

環境基準：1000pg-TEQ/g 以下

| No. | 調査機関 | 調査地点 | | 採取日 | 調査結果 [pg-TEQ/g] |
|-----|-------|-------|-------|-----------|-----------------|
| 1 | さいたま市 | さいたま市 | 南区太田窪 | H28.10.4 | 31 |
| 2 | 川越市 | 川越市 | 笠幡 | H28.12.5 | 7.8 |
| 3 | | | 古谷上 | H28.12.5 | 1.3 |
| 4 | 川口市 | 川口市 | 金山町 | H28.12.16 | 3.7 |
| 5 | | | 南町 | H28.12.16 | 1.3 |
| 6 | | | 道合 | H28.12.16 | 23 |
| 7 | 行田市 | 行田市 | 須加 | H28.8.23 | 6.9 |
| 8 | | | 深水町 | H28.8.23 | 1.4 |
| 9 | | | 小針 | H28.8.23 | 1.1 |
| 10 | 所沢市 | 所沢市 | 牛沼 | H28.11.22 | 2.8 |
| 11 | | | 南永井 | H28.11.22 | 2.2 |
| 12 | 飯能市 | 飯能市 | 双柳 | H28.12.2 | 1.5 |
| 13 | | | 飯能 | H28.12.2 | 0.57 |
| 14 | | | 岩沢 | H28.12.2 | 0.34 |
| 15 | | | 下直竹 | H28.12.2 | 2.3 |
| 16 | | | 吾野 | H28.12.2 | 0.23 |
| 17 | 本庄市 | 本庄市 | 児玉町児玉 | H28.11.17 | 1.0 |

| No. | 調査機関 | 調査地点 | | 採取日 | 調査結果 [pg-TEQ/g] |
|-----|-------|-------|------|-----------|--------------------|
| 18 | 羽生市 | 羽生市 | 上岩瀬 | H28.9.21 | 0.071 |
| 19 | | | 下手子林 | H28.9.21 | 0.0038 |
| 20 | | | 弥勒 | H28.9.21 | 4.2 |
| 21 | | | 上新郷 | H28.9.21 | 0.042 |
| 22 | 越谷市 | 越谷市 | 恩間 | H28.9.5 | 0.006 |
| 23 | 戸田市 | 戸田市 | 上戸田 | H29.1.18 | 18 |
| 24 | | | 笹目北町 | H29.1.18 | 65 |
| 25 | 北本市 | 北本市 | 栄 | H29.1.19 | 30 |
| 26 | 三郷市 | 三郷市 | 谷口 | H28.10.18 | 8.3 |
| 27 | | | 戸ヶ崎 | H28.10.18 | 3.9 |
| 28 | | | 早稲田 | H28.10.18 | 0.22 |
| 29 | 坂戸市 | 坂戸市 | 石井 | H28.9.5 | 8.8 |
| 30 | | | 新堀 | H28.9.5 | 7.9 |
| 31 | ふじみ野市 | ふじみ野市 | 福岡新田 | H29.2.22 | 2.7 |
| 32 | | | 元福岡 | H29.2.22 | 0.93 |
| 33 | | | 苗間 | H29.2.22 | 1.3 |
| 34 | | | 上野台 | H29.2.22 | 0.38 |

(イ) 発生源周辺状況調査

環境基準 : 1000pg-TEQ/g 以下

| No. | 調査機関 | 調査地点 | | 採取日 | 調査結果 [pg-TEQ/g] |
|-----|------|------|-----|-----------|--------------------|
| 1 | 埼玉県 | 新座市 | 大和田 | H28.11.30 | 59 |
| 2 | | | 大和田 | H28.11.30 | 14 |
| 3 | | | 菅沢 | H28.11.30 | 6.2 |
| 4 | | | 野火止 | H28.11.30 | 36 |
| 5 | | | 大和田 | H28.11.30 | 0.058 |
| 6 | | | 大和田 | H28.11.30 | 4.9 |
| 7 | | 所沢市 | 坂之下 | H28.11.30 | 24 |
| 8 | | | 坂之下 | H28.11.30 | 44 |

4 水質関係

(1) 生活環境の保全に関する環境基準

ア 河川（湖沼を除く）

(ア)

| 項目 類型 | 利用目的の適応性 | 基準値 | | | | |
|----------|-------------------------------------|------------------|-------------------------|----------------------|---------------|----------------------|
| | | 水素イオン 濃度 (pH) | 生物化学的 酸素要求量 (BOD) | 浮遊物質 量 (SS) | 溶存酸素量 (DO) | 大腸菌群数 |
| AA | 水道1級 自然環境保全 及びA以下の欄に掲げるもの | 6.5以上 8.5以下 | 1 mg/L以下 | 25mg/L以下 | 7.5mg/L以上 | 50MPN /100mL以下 |
| A | 水道2級 水産1級 水浴 及びB以下の欄に掲げるもの | 6.5以上 8.5以下 | 2 mg/L以下 | 25mg/L以下 | 7.5mg/L以上 | 1,000MPN /100mL以下 |
| B | 水道3級 水産2級 及びC以下の欄に掲げるもの | 6.5以上 8.5以下 | 3 mg/L以下 | 25mg/L以下 | 5 mg/L以上 | 5,000MPN /100mL以下 |
| C | 水産3級 工業用水1級 及びD以下の欄に掲げるもの | 6.5以上 8.5以下 | 5 mg/L以下 | 50mg/L以下 | 5 mg/L以上 | — |
| D | 工業用水2級 農業用水 及びEの欄に掲げるもの | 6.0以上 8.5以下 | 8 mg/L以下 | 100mg/L以下 | 2 mg/L以上 | — |
| E | 工業用水3級 環境保全 | 6.0以上 8.5以下 | 10mg/L以下 | ごみ等の浮遊 が認められないこと。 | 2 mg/L以上 | — |
| 該当 水域 | 全公共用水域のうち、水域類型ごとに指定する水域 | | | | | |
| 備考 | 基準値は、日間平均値とする。(湖沼もこれに準ずる。) | | | | | |

- (注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 2 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 〃 2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 〃 3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 3 水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 〃 2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
 〃 3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
 4 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 〃 2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
 〃 3級：特殊の浄水操作を行うもの
 5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

(イ)

| 項目 類型 | 水生生物の生息状況の適応性 | 基準値 | | |
|----------|---|------------|------------------------|--|
| | | 全亜鉛 | ノニルフェノール ^{※1} | 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS) ^{※2} |
| 生物A | イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域 | 0.03mg/L以下 | 0.001mg/L以下 | 0.03mg/L以下 |
| 生物特A | 生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域 | 0.03mg/L以下 | 0.0006mg/L以下 | 0.02mg/L以下 |
| 生物B | コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域 | 0.03mg/L以下 | 0.002mg/L以下 | 0.05mg/L以下 |
| 生物特B | 生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域 | 0.03mg/L以下 | 0.002mg/L以下 | 0.04mg/L以下 |
| 該当 水域 | 全公共用水域のうち、水域類型ごとに指定する水域 | | | |
| 備考 | 基準値は、年間平均値とする。(湖沼もこれに準ずる。) | | | |
| | ※1 ノニルフェノールは、平成24年8月22日環境省告示第127号により追加。 | | | |
| | ※2 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS) は、平成25年3月27日環境省告示第30号により追加。 | | | |

イ 湖沼（天然湖沼及び貯水量1,000万 m³以上であり、かつ、水の滞留時間が4日間以上ある人工湖）
（ア）

| 項目 類型 | 利用目的の適応性 | 基準値 | | | | |
|----------|---|------------------|-----------------------|----------------------|---------------|----------------------|
| | | 水素イオン 濃度 (pH) | 化学的酸素 要求量 (COD) | 浮遊物質量 (SS) | 溶存酸素量 (DO) | 大腸菌群数 |
| A A | 水道1級 水産1級 自然環境保全 及びA以下の欄に掲げるもの | 6.5以上 8.5以下 | 1 mg/L以下 | 1 mg/L以下 | 7.5mg/L以上 | 50MPN /100mL以下 |
| A | 水道2、3級 水産2級 水浴 及びB以下の欄に掲げるもの | 6.5以上 8.5以下 | 3 mg/L以下 | 5 mg/L以下 | 7.5mg/L以上 | 1,000MPN /100mL以下 |
| B | 水産3級 工業用水1級 農業用水 及びCの欄に掲げるもの | 6.5以上 8.5以下 | 5 mg/L以下 | 15mg/L以下 | 5 mg/L以上 | — |
| C | 工業用水2級 環境保全 | 6.0以上 8.5以下 | 8 mg/L以下 | ごみ等の浮遊 が認められないこと。 | 2 mg/L以上 | — |
| 該当水域 | 全公共用水域のうち、水域類型ごとに指定する水域 | | | | | |
| 備考 | 水産1級、水産2級及び水産3級については、当分の間、浮遊物質量の項目の基準値は適用しない。 | | | | | |

- (注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 2 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 〃 2、3級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作、又は、前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 3 水産1級：ヒメマス等貧栄養湖型の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 〃 2級：サケ科魚類及びアユ等貧栄養湖型の水産生物用並びに水産3級の水産生物用
 〃 3級：コイ、フナ等富栄養湖型の水産生物用
 4 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 〃 2級：薬品注入等による高度の浄水操作、又は、特殊な浄水操作を行うもの
 5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

(イ)

| 項目 類型 | 利用目的の適応性 | 基準値 | |
|----------|--|-----------|-------------|
| | | 全窒素 | 全磷 |
| I | 自然環境保全 及びII以下の欄に掲げるもの | 0.1mg/L以下 | 0.005mg/L以下 |
| II | 水道1、2、3級 (特殊なものを除く) 水産1種 水浴及びIII以下の欄に掲げるもの | 0.2mg/L以下 | 0.01mg/L以下 |
| III | 水道3級(特殊なもの) 及びIV以下の欄に掲げるもの | 0.4mg/L以下 | 0.03mg/L以下 |
| IV | 水産2種 及びVの欄に掲げるもの | 0.6mg/L以下 | 0.05mg/L以下 |
| V | 水産3種 工業用水 農業用水 環境保全 | 1mg/L以下 | 0.1mg/L以下 |
| 該当水域 | 全公共用水域のうち、水域類型ごとに指定する水域 | | |
| 備考 | 1 基準値は、年間平均値とする。 2 水域類型の指定は、湖沼植物プランクトンの著しい繁殖を生ずるおそれがある湖沼について行うものとし、全窒素の項目の基準値は、全窒素が湖沼植物プランクトンの増殖の要因となる湖沼について適用する。 3 農業用水については、全磷の項目の基準値は適用しない。 | | |

- (注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 2 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 水道2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの（「特殊なもの」とは、臭気物質の除去が可能な特殊な浄水操作を行うものをいう。）
 3 水産1種：サケ科魚類及びアユ等の水産生物用並びに水産2種及び水産3種の水産生物用
 水産2種：ワカサギ等の水産生物用及び水産3種の水産生物用
 水産3種：コイ、フナ等の水産生物用
 4 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

(ウ)

| 項目 類型 | 水生生物の生息状況の適応性 | 基準値 | | |
|--|---|-------------|----------------|---------------------------------|
| | | 全 亜 鉛 | ノニルフェノール ※1 | 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS) ※2 |
| 生物 A | イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域 | 0.03mg/L 以下 | 0.001mg/L 以下 | 0.03mg/L 以下 |
| 生物特 A | 生物 A の水域のうち、生物 A の欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域 | 0.03mg/L 以下 | 0.0006mg/L 以下 | 0.02mg/L 以下 |
| 生物 B | コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域 | 0.03mg/L 以下 | 0.002mg/L 以下 | 0.05mg/L 以下 |
| 生物特 B | 生物 A 又は生物 B の水域のうち、生物 B の欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域 | 0.03mg/L 以下 | 0.002mg/L 以下 | 0.04mg/L 以下 |
| 該当水域 | 全公共用水域のうち、水域類型ごとに指定する水域 | | | |
| 備考 基準値は、年間平均値とする。 | | | | |
| ※ 1 ノニルフェノールは、平成24年8月22日環境省告示第127号により追加。 | | | | |
| ※ 2 LAS は、平成25年3月27日環境省告示第30号により追加。 | | | | |

(工)

| 項目 類型 | 水生生物が生息・再生産する場の適応性 | 基準値 |
|--------------------------------------|--|------------|
| | | 底層溶存酸素量 |
| 生物 1 | 生息段階において貧酸素耐性の低い水生生物が生息できる場を保全・再生する水域又は再生産段階において貧酸素耐性の低い水生生物が再生産できる場を保全・再生する水域 | 4.0mg/L 以上 |
| 生物 2 | 生息段階において貧酸素耐性の低い水生生物を除き、水生生物が生息できる場を保全・再生する水域又は再生産段階において貧酸素耐性の低い水生生物を除き、水生生物が再生産できる場を保全・再生する水域 | 3.0mg/L 以上 |
| 生物 3 | 生息段階において貧酸素耐性の高い水生生物が生息できる場を保全・再生する水域、再生産段階において貧酸素耐性の高い水生生物が再生産できる場を保全・再生する水域又は無生物域を解消する水域 | 2.0mg/L 以上 |
| 該当水域 | 全公共用水域のうち、水域類型ごとに指定する水域 | |
| 備考 基準値は年間平均値とする。 | | |
| ※ 底層溶存酸素量は、平成28年3月30日環境省告示第37号により追加。 | | |
| ※ 平成28年3月31日時点で、埼玉県内で類型指定されている水域は無い。 | | |

(2) 地点別BOD75%値と環境基準達成率の推移（過去5年間）

○：環境基準達成 ×：環境基準非達成

| 水域名 | 番号 | 基準点 | 地点名 | 類型 | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平成26年度 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | |
|----------|----|-----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|---|
| | | | | | 値 | 達成 | 値 | 達成 | 値 | 達成 | 値 | 達成 | | |
| 荒川下流 (1) | 1 | ○ | 笹目橋 | C | 4.9 | ○ | 6.4 | × | 3.3 | ○ | 3.8 | ○ | 4.0 | ○ |
| | 3 | ○ | 治水橋 ※3 | A | 1.5 | ○ | 1.7 | ○ | 1.6 | ○ | 0.9 | ○ | 1.2 | ○ |
| | 4 | ○ | 開平橋 ※3 | | 1.2 | ○ | 1.4 | ○ | 1.0 | ○ | 1.0 | ○ | 1.1 | ○ |
| | 6 | ○ | 久下橋 ※3 | 1.1 | ○ | 1.4 | ○ | 1.1 | ○ | 0.8 | ○ | 0.9 | ○ | |
| 荒川上流 (2) | 7 | ○ | 正喜橋 | A | 0.9 | ○ | 0.9 | ○ | 0.8 | ○ | < 0.5 | ○ | 0.5 | ○ |
| | 8 | ○ | 親鼻橋 | | 0.8 | ○ | 0.8 | ○ | 0.7 | ○ | 0.6 | ○ | 0.6 | ○ |
| 荒川上流 (1) | 9 | ○ | 中津川合流点前 | AA | < 0.5 | ○ | < 0.5 | ○ | < 0.5 | ○ | < 0.5 | ○ | < 0.5 | ○ |
| 芝川 | 10 | ○ | 八丁橋 ※4 | D | 5.3 | ○ | 4.3 | ○ | 3.3 | ○ | 3.9 | ○ | 3.4 | ○ |
| | 12 | ○ | 山王橋 ※4 | | 4.9 | ○ | 4.0 | ○ | 2.0 | ○ | 2.8 | ○ | 2.9 | ○ |
| 鴨川 | 18 | ○ | 中土手橋 | C | 5.6 | × | 3.3 | ○ | 3.8 | ○ | 3.4 | ○ | 4.5 | ○ |
| 入間川下流 | 20 | ○ | 入間大橋 ※1 | A | 2.0 | ○ | 2.2 | × | 2.3 | × | 1.9 | ○ | 2.0 | ○ |
| | 21 | ○ | 落合橋 ※1 | | 1.0 | ○ | 1.6 | ○ | 1.1 | ○ | 0.7 | ○ | 0.6 | ○ |
| 入間川上流 | 25 | ○ | 給食センター前 | A | 0.6 | ○ | 0.7 | ○ | 0.8 | ○ | < 0.5 | ○ | 0.6 | ○ |
| 越辺川下流 | 26 | ○ | 落合橋 | B | 2.9 | ○ | 2.3 | ○ | 2.5 | ○ | 2.4 | ○ | 2.5 | ○ |
| 越辺川上流 | 27 | ○ | 今川橋 | A | 0.9 | ○ | 1.1 | ○ | 1.2 | ○ | 0.7 | ○ | 0.7 | ○ |

| 水域名 | 番号 | 基準点 | 地点名 | 類型 | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平成26年度 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | |
|------------|----|-----|------------|----|--------|------|--------|------|--------|----|--------|----|--------|-----|
| | | | | | 値 | ○ | 値 | ○ | 値 | ○ | 値 | ○ | 値 | ○ |
| 都幾川 | 29 | ○ | 東松山橋 | A | 0.7 | ○ | 0.8 | ○ | 0.5 | ○ | 0.5 | ○ | < 0.5 | ○ |
| 槻川 | 31 | ○ | 兜川合流点前 | B | 1.3 | ○ | 1.2 | ○ | 1.5 | ○ | 0.8 | ○ | 1.1 | ○ |
| 高麗川 | 33 | ○ | 高麗川大橋 | A | 0.6 | ○ | 0.6 | ○ | < 0.5 | ○ | < 0.5 | ○ | < 0.5 | ○ |
| 小畔川 | 35 | ○ | とげ橋※1 | B | 1.9 | ○ | 3.1 | × | 1.8 | ○ | 1.1 | ○ | 1.3 | ○ |
| 霞川 | 36 | ○ | 大和橋※2 | B | 1.3 | ○ | 1.8 | ○ | 1.8 | ○ | 1.1 | ○ | 0.7 | ○ |
| 成木川 | 37 | ○ | 成木大橋 | A | 0.6 | ○ | 0.9 | ○ | 0.9 | ○ | < 0.5 | ○ | < 0.5 | ○ |
| 市野川下流 | 38 | ○ | 徒歩橋 | C | 2.7 | ○ | 3.5 | ○ | 4.6 | ○ | 2.9 | ○ | 4.9 | ○ |
| 市野川上流 | 39 | ○ | 天神橋 | B | 1.9 | ○ | 2.7 | ○ | 3.5 | × | 1.8 | ○ | 2.4 | ○ |
| 和田吉野川 | 41 | ○ | 吉見橋 | B | 2.8 | ○ | 2.0 | ○ | 1.9 | ○ | 1.6 | ○ | 2.4 | ○ |
| 赤平川 | 42 | ○ | 赤平橋※1 | AA | 0.5 | ○ | 0.6 | ○ | 0.7 | ○ | < 0.5 | ○ | < 0.5 | ○ |
| 横瀬川 | 43 | ○ | 原谷橋 | A | 1.0 | ○ | 1.0 | ○ | 1.0 | ○ | 0.9 | ○ | 0.8 | ○ |
| 中川中流 | 46 | ○ | 八条橋 | C | 3.4 | ○ | 2.9 | ○ | 2.4 | ○ | 1.8 | ○ | 2.6 | ○ |
| 中川上流 | 48 | ○ | 豊橋 | C | 2.9 | ○ | 3.4 | ○ | 3.5 | ○ | 2.3 | ○ | 2.3 | ○ |
| 綾瀬川下流 | 52 | ○ | 内匠橋 | C | 4.5 | ○ | 3.7 | ○ | 2.4 | ○ | 2.2 | ○ | 2.6 | ○ |
| 綾瀬川上流 | 55 | ○ | 躰橋 | C | - ※6 | - ※6 | - ※6 | - ※6 | 2.8 | ○ | 2.7 | ○ | 2.8 | ○ |
| 古綾瀬川 | 57 | ○ | 綾瀬川合流点前※2 | D | 7.6 | ○ | 7.9 | ○ | 3.9 | ○ | 6.9 | ○ | 3.9 | ○ |
| 大場川 | 59 | ○ | 葛三橋※2 | C | 4.3 | ○ | 3.6 | ○ | 4.4 | ○ | 2.8 | ○ | 2.7 | ○ |
| 元荒川 | 60 | ○ | 中島橋 | C | 3.2 | ○ | 3.9 | ○ | 3.8 | ○ | 2.9 | ○ | 3.6 | ○ |
| 新方川 | 64 | ○ | 昭和橋 | C | 4.0 | ○ | 4.5 | ○ | 5.2 | × | 4.0 | ○ | 4.5 | ○ |
| 大落古利根川 | 65 | ○ | ふれあい橋 | C | 3.9 | ○ | 5.3 | × | 3.5 | ○ | 4.0 | ○ | 3.6 | ○ |
| 新河岸川 | 68 | ○ | 笹目橋※5 | C | 2.8 | ○ | 3.5 | ○ | 3.3 | ○ | 2.6 | ○ | 3.0 | ○ |
| | 69 | ○ | いろは橋※5 | | 2.1 | | 2.3 | | 2.3 | | 1.4 | | 2.1 | |
| 白子川 | 71 | ○ | 三園橋※5 | C | 2.4 | ○ | 2.4 | ○ | 2.9 | ○ | 1.8 | ○ | 2.0 | ○ |
| 黒目川 | 72 | ○ | 東橋 | C | 1.2 | ○ | 1.1 | ○ | 1.5 | ○ | 0.9 | ○ | 1.4 | ○ |
| 柳瀬川 | 74 | ○ | 栄橋 | C | 1.5 | ○ | 2.8 | ○ | 3.5 | ○ | 3.3 | ○ | 3.9 | ○ |
| 不老川 | 77 | ○ | 不老橋※4 | C | 4.6 | ○ | 5.1 | × | 3.9 | ○ | 3.1 | ○ | 4.0 | ○ |
| 利根川中流 | 79 | ○ | 栗橋 | A | 1.7 | ○ | 2.0 | ○ | 1.5 | ○ | 1.0 | ○ | 1.2 | ○ |
| | 80 | ○ | 利根大堰 | | 1.2 | | 1.1 | | 0.9 | | 0.8 | | 1.0 | |
| | 83 | ○ | 坂東大橋 | | 1.3 | | 0.9 | | 1.0 | | 0.9 | | 0.8 | |
| 江戸川上流 | 84 | ○ | 流山橋 | A | 1.2 | ○ | 1.7 | ○ | 1.0 | ○ | 0.8 | ○ | 1.1 | ○ |
| 福川 | 87 | ○ | 昭和橋 | B | 7.3 | × | 5.0 | × | 3.3 | × | 2.4 | ○ | 2.8 | ○ |
| 小山川下流 | 88 | ○ | 新明橋 | B | 2.5 | ○ | 2.6 | ○ | 2.6 | ○ | 2.0 | ○ | 1.7 | ○ |
| 小山川上流 | 89 | ○ | 一の橋 | A | 2.0 | ○ | 2.0 | ○ | 2.6 | × | 1.3 | ○ | 1.3 | ○ |
| 唐沢川 | 91 | ○ | 森下橋※2 | B | 2.4 | ○ | 2.4 | ○ | 2.4 | ○ | 1.8 | ○ | 1.6 | ○ |
| 元小山川 | 92 | ○ | 県道本庄妻沼線交差点 | B | 5.5 | × | 4.4 | × | 4.0 | × | 3.8 | × | 3.0 | ○ |
| 神流川(3) | 93 | ○ | 神流川橋 | A | 0.6 | ○ | 0.6 | ○ | 0.8 | ○ | 0.8 | ○ | 0.6 | ○ |
| 神流川(2) | 94 | ○ | 藤武橋 | A | 0.8 | ○ | 0.7 | ○ | 0.8 | ○ | 0.9 | ○ | 0.6 | ○ |
| 環境基準達成数 | | | | | | 40 | | 36 | | 38 | | 43 | | 44 |
| 環境基準達成率(%) | | | | | | 91 | | 82 | | 86 | | 98 | | 100 |

- ※1 平成17年4月12日の埼玉県告示により、赤平川はAA類型に、入間川下流はA類型に、小畔川はB類型に指定された。
- ※2 平成18年3月24日の埼玉県告示により、霞川はB類型に、古綾瀬川はD類型に、大場川はC類型に、唐沢川はB類型に指定された。
- ※3 平成21年3月31日の環境省告示により、荒川中流はB類型からA類型に指定された。
- ※4 平成24年2月24日の埼玉県告示により、芝川はD類型に、不老川はC類型に指定された。
- ※5 平成25年3月24日の埼玉県告示により、新河岸川と白子川はC類型に指定された。
- ※6 躰橋は平成24年度及び25年度欠測。

(3) 生活環境項目の地点別年度平均値 (平成28年度)

ア 河川

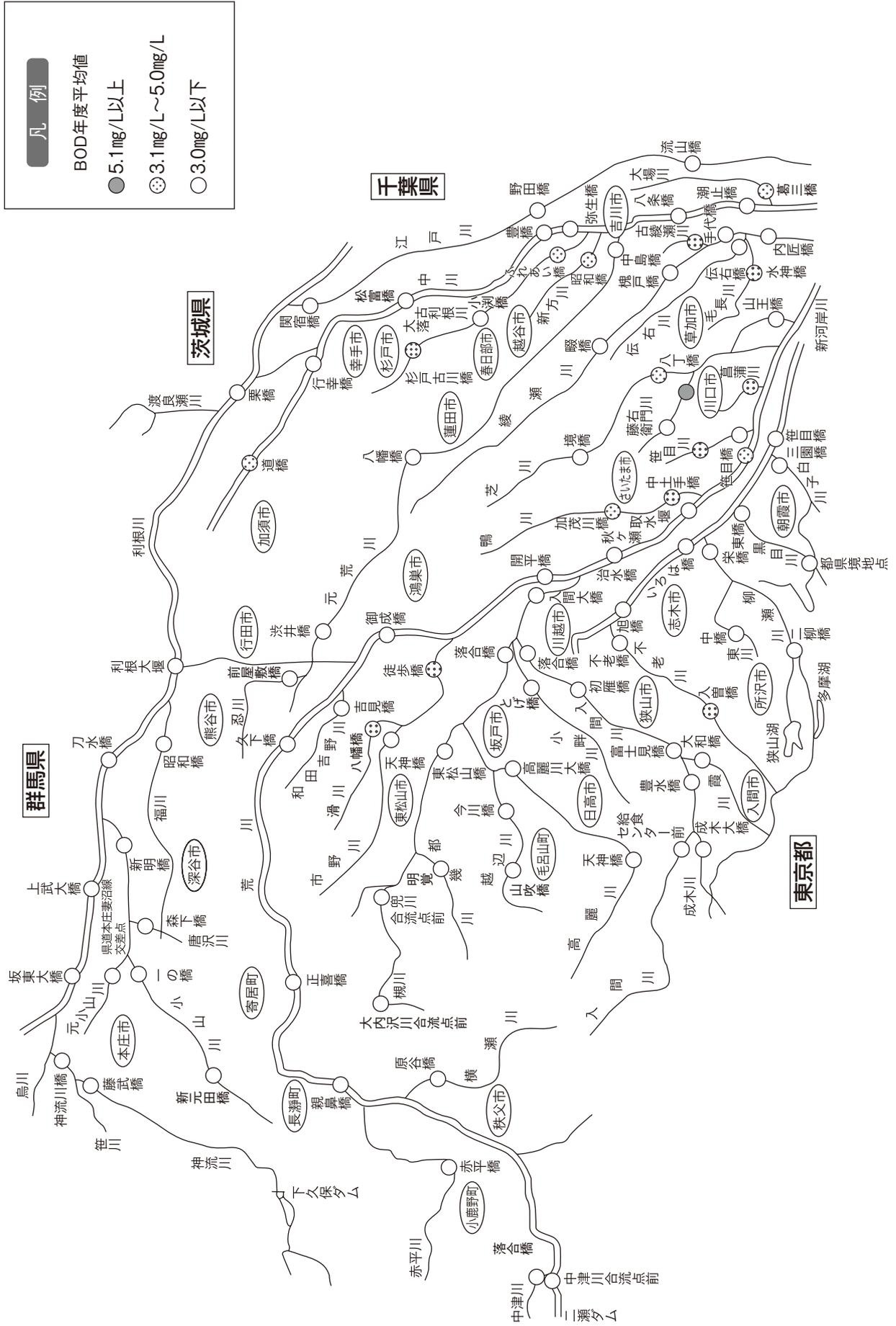
| 河川名 | 地点番号 | 類型 | 環境基準 | 基準点 | | 地点名 | pH | BOD (mg/L) | COD (mg/L) | SS (mg/L) | DO (mg/L) | 大腸菌群数 (MPN/100mL) | 全窒素 (mg/L) | 全りん (mg/L) | 全亜鉛 (mg/L) | ノニルフェノール (mg/L) | LAS (mg/L) |
|-------|------|----|------|-----|----|----------|-----|------------|------------|-----------|-----------|-------------------|------------|------------|------------|-----------------|------------|
| | | | | 一般 | 生物 | | | | | | | | | | | | |
| 荒川 | 1 | C | 生物B | ○ | ○ | 笹目橋 | 7.6 | 3.2 | 6.6 | 7 | 7.5 | 11000 | 8.4 | 0.37 | 0.023 | 0.00012 | 0.0038 |
| 〃 | 2 | A | 生物B | | | 秋ヶ瀬取水堰 | 8.0 | 1.3 | 3.3 | 6 | 11 | 5700 | 2.1 | 0.090 | | | |
| 〃 | 3 | A | 生物B | ○ | ○ | 治水橋 | 7.7 | 1.0 | 3.1 | 8 | 9.6 | 17000 | 2.1 | 0.10 | 0.006 | 0.00006 | 0.0019 |
| 〃 | 4 | A | 生物B | ○ | ○ | 開平橋 | 7.6 | 1.0 | 3.4 | 14 | 9.8 | 33000 | 2.1 | 0.11 | 0.008 | < 0.00006 | 0.0028 |
| 〃 | 5 | A | 生物B | | | 御成橋 | 7.7 | 0.9 | 3.8 | 23 | 10 | 80000 | 2.0 | 0.11 | | | |
| 〃 | 6 | A | 生物B | ○ | ○ | 久下橋 | 7.8 | 0.8 | 3.0 | 12 | 9.7 | 63000 | 1.5 | 0.076 | 0.009 | < 0.00006 | 0.0010 |
| 〃 | 7 | A | 生物特B | ○ | ○ | 正喜橋 | 7.9 | 0.6 | 2.7 | 21 | 10 | 55000 | 1.2 | 0.062 | 0.005 | < 0.00006 | 0.0019 |
| 〃 | 8 | A | 生物A | ○ | ○ | 親鼻橋 | 8.2 | 0.6 | 2.1 | 3 | 11 | 6100 | 1.0 | 0.047 | 0.002 | < 0.00006 | 0.0015 |
| 〃 | 9 | AA | 生物A | ○ | ○ | 中津川合流点前 | 8.0 | < 0.5 | 1.2 | 5 | 11 | 1000 | 0.38 | 0.011 | 0.001 | < 0.00006 | < 0.00006 |
| 芝川 | 10 | D | 生物B | ○ | ○ | 八丁橋 | 7.4 | 3.1 | 6.3 | 20 | 7.2 | 17000 | 4.7 | 0.38 | 0.021 | 0.00010 | 0.031 |
| 〃 | 11 | D | 生物B | | | 境橋 | 7.5 | 2.0 | 4.4 | 8 | 7.6 | 13000 | 3.9 | 0.28 | 0.040 | 0.00017 | 0.041 |
| 新芝川 | 12 | D | 生物B | ○ | ○ | 山王橋 | 7.1 | 2.3 | 5.5 | 17 | 6.4 | 27000 | 5.3 | 0.27 | 0.011 | 0.00007 | 0.014 |
| 藤右衛門川 | 13 | | | | | 論處橋 | 7.2 | 5.4 | 6.0 | 5 | 6.5 | 150000 | 5.0 | 0.25 | 0.009 | 0.00006 | 0.067 |
| 〃 | 14 | | | | | 柳橋 | 7.4 | 2.5 | 4.0 | 12 | 5.7 | 240000 | 4.8 | 0.096 | 0.012 | 0.00060 | 0.058 |
| 菖蒲川 | 15 | | | | | 荒川合流点前 | 7.2 | 4.1 | 7.4 | 15 | 6.0 | | 7.9 | 0.40 | 0.019 | 0.00011 | 0.031 |
| 笹目川 | 16 | | | | | 笹目樋管 | 7.2 | 2.2 | 6.0 | 14 | 6.6 | | 5.5 | 0.23 | 0.019 | 0.00008 | 0.0036 |
| 〃 | 17 | | | | | 市立浦和南高校脇 | 7.5 | 3.9 | 6.3 | 10 | 6.5 | 32000 | 3.0 | 0.34 | 0.019 | 0.00007 | 0.012 |
| 鴨川 | 18 | C | 生物B | ○ | ○ | 中土手橋 | 7.5 | 3.4 | 5.9 | 21 | 7.5 | 6000 | 3.8 | 0.27 | 0.023 | 0.00016 | 0.022 |
| 〃 | 19 | C | 生物B | | | 加茂川橋 | 7.5 | 3.2 | 6.1 | 11 | 6.3 | 49000 | 4.9 | 0.33 | 0.027 | 0.00033 | 0.055 |
| 入間川 | 20 | A | 生物B | ○ | ○ | 入間大橋 | 7.6 | 1.7 | 4.3 | 9 | 9.7 | 120000 | 3.9 | 0.22 | 0.006 | 0.00006 | 0.0010 |
| 〃 | 21 | A | 生物B | ○ | ○ | 落合橋 | 8.0 | 0.6 | 2.4 | 4 | 11 | 7800 | 2.8 | 0.091 | 0.004 | < 0.00006 | < 0.00006 |
| 〃 | 22 | A | 生物B | | | 初雁橋 | 8.0 | 0.8 | 2.8 | 7 | 11 | 8500 | 3.1 | 0.12 | 0.004 | < 0.00006 | 0.0006 |
| 〃 | 23 | A | 生物B | | | 富士見橋 | 7.8 | 1.2 | 2.9 | 2 | 10 | 11000 | 4.0 | 0.22 | 0.005 | < 0.00006 | 0.0026 |
| 〃 | 24 | A | 生物B | | | 豊水橋 | 7.7 | 2.0 | 3.1 | 2 | 10 | 40000 | 5.5 | 0.37 | 0.006 | < 0.00006 | 0.0031 |
| 〃 | 25 | A | 生物A | ○ | ○ | 給食センター前 | 8.2 | 0.5 | 1.6 | 1 | 11 | 6600 | 0.95 | 0.040 | 0.002 | < 0.00006 | 0.0006 |
| 越辺川 | 26 | B | 生物B | ○ | ○ | 落合橋 | 7.5 | 2.1 | 4.3 | 7 | 9.3 | 26000 | 4.8 | 0.28 | 0.008 | 0.00006 | 0.0023 |
| 〃 | 27 | A | 生物B | ○ | ○ | 今川橋 | 7.9 | 0.6 | 2.6 | 3 | 11 | 17000 | 3.5 | 0.25 | 0.005 | < 0.00006 | 0.0015 |
| 〃 | 28 | A | 生物A | ○ | ○ | 山吹橋 | 8.1 | 0.8 | 2.4 | 3 | 11 | 16000 | 1.3 | 0.074 | 0.003 | < 0.00006 | 0.0024 |
| 都幾川 | 29 | A | 生物B | ○ | ○ | 東松山橋 | 7.7 | 0.5 | 1.6 | 2 | 9.8 | 9600 | 1.3 | 0.030 | 0.002 | < 0.00006 | 0.0008 |
| 〃 | 30 | A | 生物A | ○ | ○ | 明覚 | 8.0 | 0.6 | 2.0 | 2 | 11 | 35000 | 1.2 | 0.045 | 0.001 | < 0.00006 | 0.0057 |
| 槻川 | 31 | B | 生物B | ○ | ○ | 兜川合流点前 | 8.3 | 0.9 | 2.8 | 2 | 11 | 22000 | 1.5 | 0.071 | 0.004 | < 0.00006 | 0.0098 |
| 〃 | 32 | B | 生物A | | | 大内沢川合流点前 | 8.3 | 0.5 | 2.0 | 2 | 11 | 18000 | 0.92 | 0.028 | 0.001 | < 0.00006 | 0.0016 |
| 高麗川 | 33 | A | 生物B | ○ | ○ | 高麗川大橋 | 7.5 | 0.5 | 1.0 | 2 | 9.7 | 8000 | 2.4 | 0.024 | 0.001 | < 0.00006 | < 0.00006 |
| 〃 | 34 | A | 生物A | ○ | ○ | 天神橋 | 8.3 | 0.5 | 1.5 | 1 | 11 | 4300 | 0.98 | 0.034 | 0.001 | < 0.00006 | 0.0006 |
| 小畔川 | 35 | B | 生物B | ○ | ○ | とげ橋 | 7.9 | 1.0 | 4.5 | 8 | 10 | 25000 | 5.7 | 0.49 | 0.012 | < 0.00006 | 0.0068 |
| 霞川 | 36 | B | 生物B | ○ | ○ | 大和橋 | 8.3 | 0.8 | 3.2 | 3 | 11 | 43000 | 5.5 | 0.14 | 0.008 | < 0.00006 | 0.0026 |
| 成木川 | 37 | A | 生物A | ○ | ○ | 成木大橋 | 8.2 | 0.5 | 2.2 | 1 | 11 | 9500 | 1.3 | 0.050 | 0.001 | < 0.00006 | 0.0006 |
| 市野川 | 38 | C | 生物B | ○ | ○ | 徒歩橋 | 8.0 | 4.2 | 7.9 | 14 | 9.9 | | 3.9 | 0.33 | 0.020 | 0.00006 | 0.0073 |
| 〃 | 39 | B | 生物B | ○ | ○ | 天神橋 | 8.4 | 1.8 | 6.7 | 9 | 11 | 61000 | 2.2 | 0.62 | 0.029 | 0.00006 | 0.0088 |
| 滑川 | 40 | | | | | 八幡橋 | 8.1 | 3.7 | 7.6 | 9 | 10 | 160000 | 5.2 | 0.43 | 0.017 | 0.00008 | 0.018 |
| 和田吉野川 | 41 | B | 生物B | ○ | ○ | 吉見橋 | 7.4 | 1.7 | 5.0 | 23 | 8.5 | 80000 | 2.8 | 0.21 | 0.010 | < 0.00006 | 0.0066 |
| 赤平川 | 42 | AA | 生物A | ○ | ○ | 赤平橋 | 8.2 | < 0.5 | 1.5 | 2 | 10 | 8500 | 1.1 | 0.055 | 0.001 | < 0.00006 | 0.0011 |
| 横瀬川 | 43 | A | 生物A | ○ | ○ | 原谷橋 | 8.6 | 0.8 | 2.7 | 2 | 11 | 11000 | 1.8 | 0.085 | 0.003 | < 0.00006 | 0.0048 |
| 中津川 | 44 | | | | | 落合橋 | 8.1 | 0.5 | 1.7 | 1 | 11 | 1700 | 0.51 | 0.012 | 0.001 | < 0.00006 | < 0.00006 |
| 中川 | 45 | C | 生物B | | | 潮止橋 | 7.6 | 2.8 | 7.0 | 25 | 8.5 | | 3.5 | 0.24 | 0.025 | | |
| 〃 | 46 | C | 生物B | ○ | ○ | 八条橋 | 7.6 | 2.4 | 5.8 | 23 | 8.8 | | 3.0 | 0.17 | 0.011 | 0.00006 | 0.0079 |
| 〃 | 47 | C | 生物B | | | 弥生橋 | 7.5 | 1.8 | 5.5 | 19 | 7.6 | | 2.8 | 0.19 | 0.017 | | |

| 河川名 | 地点番号 | 類型 環境基準 | | 基準点 | | 地点名 | pH | BOD (mg/L) | COD (mg/L) | SS (mg/L) | DO (mg/L) | 大腸菌群数 (MPN/100mL) | 全窒素 (mg/L) | 全りん (mg/L) | 全亜鉛 (mg/L) | ノニル フェノール (mg/L) | LAS (mg/L) |
|--------|------|------------|-----|-----|----|---------|-----|---------------|---------------|--------------|--------------|----------------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|---------------|
| | | | | 一般 | 生物 | | | | | | | | | | | | |
| 〃 | 48 | C | 生物B | ○ | ○ | 豊橋 | 7.5 | 2.1 | 6.3 | 28 | 7.1 | | 2.6 | 0.19 | 0.012 | 0.00006 | 0.012 |
| 〃 | 49 | C | 生物B | | | 松富橋 | 7.4 | 1.7 | 5.6 | 28 | 7.4 | 42000 | 2.3 | 0.15 | 0.011 | < 0.00006 | 0.0049 |
| 〃 | 50 | C | 生物B | | | 行幸橋 | 7.5 | 1.9 | 5.3 | 18 | 8.1 | | 2.4 | 0.14 | 0.012 | < 0.00006 | 0.0056 |
| 〃 | 51 | C | 生物B | | | 道橋 | 7.4 | 3.5 | 6.1 | 20 | 8.1 | | 2.7 | 0.20 | 0.018 | 0.00006 | 0.0054 |
| 綾瀬川 | 52 | C | 生物B | ○ | ○ | 内匠橋 | 7.4 | 2.1 | 6.1 | 25 | 5.9 | | 4.1 | 0.21 | 0.023 | 0.00015 | 0.018 |
| 〃 | 53 | C | 生物B | | | 手代橋 | 7.4 | 2.7 | 7.6 | 23 | 6.0 | | 3.5 | 0.21 | 0.030 | | |
| 〃 | 54 | C | 生物B | | | 槐戸橋 | 7.4 | 2.4 | 6.5 | 15 | 7.0 | | 3.7 | 0.21 | 0.016 | | |
| 〃 | 55 | C | 生物B | ○ | ○ | 曙橋 | 7.5 | 2.7 | 5.2 | 18 | 8.8 | 15000 | 3.7 | 0.23 | 0.013 | 0.00007 | 0.024 |
| 伝右川 | 56 | | | | | 伝右橋 | 7.8 | 2.7 | 5.5 | 13 | 5.8 | 10000 | 3.4 | 0.29 | 0.020 | | |
| 古綾瀬川 | 57 | D | 生物B | ○ | ○ | 綾瀬川合流点前 | 7.7 | 3.3 | 7.9 | 13 | 5.8 | | 3.5 | 0.22 | 0.023 | 0.00007 | 0.011 |
| 毛長川 | 58 | | | | | 水神橋 | 7.8 | 3.1 | 5.4 | 17 | 5.7 | 6200 | 3.6 | 0.27 | 0.021 | | |
| 大場川 | 59 | C | 生物B | ○ | ○ | 葛三橋 | 7.5 | 3.2 | 7.6 | 19 | 7.5 | | 3.5 | 0.22 | 0.019 | 0.00010 | 0.0086 |
| 元荒川 | 60 | C | 生物B | ○ | ○ | 中島橋 | 7.7 | 3.0 | 5.2 | 13 | 9.7 | 7800 | 3.2 | 0.18 | 0.019 | < 0.00006 | < 0.0006 |
| 〃 | 61 | C | 生物B | | | 八幡橋 | 7.5 | 1.5 | 5.1 | 18 | 9.1 | 36000 | 2.3 | 0.14 | 0.009 | < 0.00006 | 0.0018 |
| 〃 | 62 | C | 生物B | | | 渋井橋 | 7.5 | 2.0 | 4.6 | 13 | 7.9 | 36000 | 2.2 | 0.18 | 0.008 | < 0.00006 | 0.0043 |
| 忍川 | 63 | | | | | 前屋敷橋 | 7.4 | 2.1 | 4.6 | 16 | 7.6 | 43000 | 2.2 | 0.22 | 0.008 | 0.00006 | 0.011 |
| 新方川 | 64 | C | 生物B | ○ | ○ | 昭和橋 | 7.6 | 3.7 | 5.8 | 20 | 8.1 | 17000 | 3.1 | 0.21 | 0.016 | < 0.00006 | < 0.0006 |
| 大落古利根川 | 65 | C | 生物B | ○ | ○ | ふれあい橋 | 7.6 | 3.3 | 5.1 | 10 | 8.9 | 9800 | 3.6 | 0.12 | 0.013 | < 0.00006 | < 0.0006 |
| 〃 | 66 | C | 生物B | | | 小淵橋 | 7.4 | 2.4 | 5.5 | 11 | 7.6 | 10000 | 4.0 | 0.18 | 0.010 | 0.00006 | 0.0060 |
| 〃 | 67 | C | 生物B | | | 杉戸古川橋 | 7.5 | 3.1 | 5.9 | 18 | 7.6 | | 5.7 | 0.25 | 0.011 | < 0.00006 | 0.0078 |
| 新河岸川 | 68 | C | 生物B | ○ | ○ | 笹目橋 | 7.1 | 2.9 | 6.4 | 12 | 7.2 | 140000 | 8.5 | 0.46 | 0.027 | 0.00006 | 0.0024 |
| 〃 | 69 | C | 生物B | ○ | ○ | いろは橋 | 7.1 | 2.1 | 4.9 | 14 | 7.0 | 1100000 | 6.4 | 0.17 | 0.015 | 0.00006 | 0.0088 |
| 〃 | 70 | C | 生物B | | | 旭橋 | 7.1 | 0.9 | 3.0 | 7 | 7.5 | 35000 | 6.9 | 0.11 | 0.010 | < 0.00006 | 0.0011 |
| 白子川 | 71 | C | 生物B | ○ | ○ | 三園橋 | 7.3 | 2.0 | 5.6 | 5 | 7.3 | 340000 | 7.3 | 0.26 | 0.019 | 0.00006 | 0.0078 |
| 黒目川 | 72 | C | 生物B | ○ | ○ | 東橋 | 7.7 | 1.1 | 3.2 | 12 | 11 | 78000 | 5.1 | 0.072 | 0.015 | < 0.00006 | 0.0039 |
| 〃 | 73 | C | 生物B | | | 都県境地点 | 7.5 | 0.6 | 2.0 | 4 | 11 | 28000 | 4.8 | 0.029 | 0.006 | < 0.00006 | 0.0016 |
| 柳瀬川 | 74 | C | 生物B | ○ | ○ | 栄橋 | 7.3 | 3.0 | 6.8 | 9 | 8.7 | 72000 | 7.1 | 0.33 | 0.025 | 0.00006 | 0.0011 |
| 〃 | 75 | C | 生物B | | | 二柳橋 | 8.0 | 1.3 | 2.6 | 4 | 10 | | 3.2 | 0.092 | 0.007 | < 0.00006 | 0.0027 |
| 東川 | 76 | | | | | 中橋 | 7.5 | 3.0 | 5.6 | 3 | 7.0 | 370000 | 4.9 | 0.22 | 0.024 | < 0.00006 | 0.0064 |
| 不老川 | 77 | C | 生物B | ○ | ○ | 不老橋 | 7.7 | 2.4 | 6.1 | 2 | 11 | 110000 | 8.5 | 0.23 | 0.019 | < 0.00006 | 0.014 |
| 〃 | 78 | C | 生物B | | | 入曾橋 | 7.4 | 3.1 | 8.1 | 2 | 8.0 | | 8.6 | 0.17 | 0.041 | < 0.00006 | 0.0071 |
| 利根川 | 79 | A | 生物B | ○ | ○ | 栗橋 | 7.7 | 1.1 | 3.4 | 11 | 10 | 6000 | 2.4 | 0.11 | 0.008 | 0.00008 | 0.0018 |
| 〃 | 80 | A | 生物B | ○ | ○ | 利根大堰 | 7.6 | 0.8 | 3.0 | 9 | 9.9 | 5600 | 2.5 | 0.11 | 0.007 | 0.00009 | 0.0015 |
| 〃 | 81 | A | 生物B | | | 刀水橋 | 7.6 | 0.9 | 2.8 | 7 | 10 | 9300 | 2.3 | 0.10 | 0.013 | | |
| 〃 | 82 | A | 生物B | | | 上武大橋 | 7.5 | 0.7 | 2.6 | 7 | 10 | 7000 | 1.8 | 0.076 | 0.006 | | |
| 〃 | 83 | A | 生物B | ○ | ○ | 坂東大橋 | 7.5 | 0.7 | 2.7 | 8 | 11 | 7000 | 1.6 | 0.075 | 0.006 | 0.00008 | 0.0009 |
| 江戸川 | 84 | A | 生物B | ○ | ○ | 流山橋 | 7.7 | 0.8 | 3.1 | 18 | 9.5 | 23000 | 2.3 | 0.11 | 0.007 | < 0.00006 | 0.0012 |
| 〃 | 85 | A | 生物B | | | 野田橋 | 7.6 | 0.8 | 4.6 | 22 | 9.5 | 20000 | 2.0 | 0.10 | 0.017 | | |
| 〃 | 86 | A | 生物B | | | 関宿橋 | 7.6 | 0.8 | 3.5 | 16 | 9.6 | 72000 | 2.3 | 0.13 | 0.010 | | |
| 福川 | 87 | B | 生物B | ○ | ○ | 昭和橋 | 7.2 | 2.7 | 4.7 | 8 | 6.0 | 1300000 | 4.5 | 0.24 | 0.009 | < 0.00006 | 0.011 |
| 小山川 | 88 | B | 生物B | ○ | ○ | 新明橋 | 8.0 | 1.4 | 4.5 | 11 | 11 | 29000 | 4.3 | 0.24 | 0.012 | 0.00006 | 0.0050 |
| 〃 | 89 | A | 生物B | ○ | ○ | 一の橋 | 8.1 | 1.2 | 4.3 | 6 | 11 | 50000 | 3.3 | 0.16 | 0.005 | < 0.00006 | 0.0022 |
| 〃 | 90 | A | 生物A | ○ | ○ | 新元田橋 | 8.4 | 0.6 | 2.3 | 1 | 12 | 9400 | 1.2 | 0.043 | 0.001 | < 0.00006 | 0.0009 |
| 唐沢川 | 91 | B | 生物B | ○ | ○ | 森下橋 | 8.2 | 1.7 | 4.2 | 9 | 11 | 98000 | 3.2 | 0.30 | 0.010 | < 0.00006 | 0.012 |
| 元小山川 | 92 | B | 生物B | ○ | ○ | 県道本庄交差点 | 7.6 | 2.6 | 6.6 | 10 | 7.2 | 440000 | 8.9 | 0.68 | 0.035 | 0.00016 | 0.040 |
| 神流川 | 93 | A | 生物A | ○ | ○ | 神流川橋 | 8.0 | 0.6 | 1.6 | 4 | 10 | 2100 | 1.0 | 0.028 | 0.002 | 0.00006 | 0.0006 |
| 〃 | 94 | A | 生物A | ○ | ○ | 藤武橋 | 8.0 | 0.6 | 1.8 | 5 | 10 | 3900 | 1.0 | 0.031 | 0.003 | 0.00009 | 0.0007 |
| 平均 | | | | | | | 7.7 | 1.8 | 4.4 | 11 | 9.0 | 80000 | 3.5 | 0.19 | 0.012 | 0.00008 | 0.0086 |

イ 湖沼

| 河川名 | 地点番号 | 環境基準 類型 | | 基準点 | | 地点名 | pH | COD (mg/L) | SS (mg/L) | DO (mg/L) | 大腸菌群数 (MPN/100mL) | 全窒素 (mg/L) | 全りん (mg/L) | 全亜鉛 (mg/L) | ノニル フェノール (mg/L) | LAS (mg/L) |
|--------------|------|------------|-------|-----|----|-----|-----|---------------|--------------|--------------|----------------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|---------------|
| | | 湖沼AⅢ | 湖沼生物A | 一般 | 生物 | | | | | | | | | | | |
| 下久保 ダム貯水池 | L1 | 湖沼AⅢ | 湖沼生物A | ○ | ○ | 湖心 | 7.8 | 1.8 | 8 | 7.2 | 220 | 0.88 | 0.016 | 0.001 | < 0.00006 | < 0.0006 |
| 二瀬ダム 貯水池 | L2 | 湖沼AⅢ | 湖沼生物A | ○ | ○ | 湖心 | 7.6 | 1.4 | 3 | 7.6 | 97 | 0.39 | 0.013 | 0.004 | < 0.00006 | < 0.0006 |
| 荒川 貯水池 | L3 | 湖沼AⅢ | | ○ | | 湖心 | 8.4 | 6.5 | 9 | 9.9 | 3300 | 1.1 | 0.057 | 0.004 | - | - |
| 平均 | | | | | | | 7.9 | 3.2 | 7 | 8.2 | 1200 | 0.79 | 0.029 | 0.003 | < 0.00006 | < 0.0006 |

(4) 河川水質状況 (平成28年度)



(5) BOD の値からみた主要河川の地点別汚濁状況

ア BOD年度平均値の低い10地点

| 順位 | 河川名 | | 地点名 (所在地) | BOD年度平均値 (mg/L) | | |
|----|-----|------------------|----------------------|-----------------|--------|-------|
| | | | | 28年度 | 27年度 | 26年度 |
| 1 | 荒 | 川 | 中津川合流点前 (秩父市) | <0.5 | ① <0.5 | ① 0.5 |
| | 赤 | 平 | 赤平橋 (小鹿野町) | <0.5 | ③ 0.5 | ③ 0.6 |
| 3 | 入 | 間 | 給食センター前 (飯能市) | 0.5 | ③ 0.5 | ⑪ 0.8 |
| | 都 | 幾 | 東松山橋 (東松山市) | 0.5 | ③ 0.5 | ③ 0.6 |
| | 槻 | 川 | 大内沢川合流点前 (東秩父村) | 0.5 | ③ 0.5 | ⑪ 0.8 |
| | 高 | 麗 | 高麗川大橋 (坂戸市) | 0.5 | ③ 0.5 | ① 0.5 |
| | 高 | 麗 | 天神橋 (日高市) | 0.5 | ① <0.5 | ⑪ 0.8 |
| | 成 | 木 | 成木大橋 (飯能市) | 0.5 | ③ 0.5 | ⑫ 0.9 |
| | 中 | 津 | 落合橋 (秩父市) | 0.5 | ③ 0.5 | ⑤ 0.7 |
| 10 | 荒 | 川 | 正喜橋 (寄居町) | 0.6 | ⑩ 0.6 | ⑤ 0.7 |
| | 荒 | 川 | 親鼻橋 (皆野町) | 0.6 | ⑩ 0.6 | ⑤ 0.7 |
| | 入 | 間 | 落合橋 (川島町・川越市) | 0.6 | ⑫ 0.8 | ⑫ 1.0 |
| | 越 | 辺 | 今川橋 (鳩山町・毛呂山町) | 0.6 | ⑭ 0.7 | ⑫ 1.0 |
| | 都 | 幾 | 明覚 (ときがわ町) | 0.6 | ⑩ 0.6 | ⑪ 0.8 |
| | 黒 | 目 | 都県境地点 (新座市・東京都東久留米市) | 0.6 | ⑫ 0.8 | ⑫ 1.0 |
| | 小 | 山 | 新元田橋 (本庄市) | 0.6 | ⑩ 0.6 | ⑭ 1.1 |
| | 神 | 流 | 神流川橋 (群馬県高崎市・上里町) | 0.6 | ⑭ 0.7 | ⑤ 0.7 |
| 神 | 流 | 藤武橋 (群馬県藤岡市・上里町) | 0.6 | ⑫ 0.8 | ⑤ 0.7 | |

イ BOD年度平均値の高い10地点

| 順位 | 河川名 | | 地点名 (所在地) | BOD年度平均値 (mg/L) | | |
|----|-----|---|------------------------|-----------------|-------|-------|
| | | | | 28年度 | 27年度 | 26年度 |
| 1 | 藤 | 右 | 論處橋 (川口市) | 5.4 | ② 5.7 | ① 7.0 |
| 2 | 市 | 野 | 徒歩橋 (吉見町・川島町) | 4.2 | ⑫ 2.8 | ② 4.7 |
| 3 | 菖 | 蒲 | 荒川合流点前 (川口市・戸田市) | 4.1 | ⑭ 2.3 | ⑧ 3.5 |
| 4 | 笹 | 目 | 市立浦和南高校脇 (さいたま市南区・戸田市) | 3.9 | ⑫ 2.7 | ⑮ 2.1 |
| 5 | 滑 | 川 | 八幡橋 (東松山市) | 3.7 | ⑫ 2.9 | ⑤ 3.9 |
| | 新 | 方 | 昭和橋 (越谷市) | 3.7 | ⑤ 3.3 | ⑦ 3.6 |
| 7 | 中 | 川 | 道橋 (加須市) | 3.5 | ③ 4.9 | ⑨ 3.4 |
| 8 | 鴨 | 川 | 中土手橋 (さいたま市桜区) | 3.4 | ⑫ 2.7 | ⑥ 3.7 |
| 9 | 古 | 綾 | 綾瀬川合流点前 (草加市) | 3.3 | ① 6.1 | ④ 4.0 |
| | 大 | 落 | ふれあい橋 (松伏町・越谷市) | 3.3 | ⑧ 3.2 | ⑨ 3.4 |

(注) 丸文字は各年度の順位

(6) 湖沼水質調査結果 (平成28年度)

【 夏 季 】

| 湖沼名 | 採取年月日 | 採取時刻 | 天候 | 気温 (°C) | 水温 (°C) | 全水深 (m) | 透明度 (m) | 色相 | 濁り | pH | DO (mg/L) |
|------|------------|-----------|------------|------------|-----------------|---------------|--------------|--------------|------------|---------------|-----------------|
| 玉淀湖 | H28.9.29 | 13:25 | 曇り | 25.2 | 22.7 | 16.20 | 1.00 | 淡白色透 | 有り | 8.0 | 8.9 |
| 円良田湖 | H28.9.29 | 12:33 | 曇り | 25.0 | 23.5 | 14.70 | 1.55 | 淡黄緑色透 | 無し | 9.0 | 13 |
| 間瀬湖 | H28.9.29 | 10:51 | 曇り | 24.5 | 21.8 | 17.50 | 2.50 | 無色透明 | 無し | 7.9 | 10 |
| 鎌北湖 | H28.8.29 | 13:50 | 曇り | 27.0 | 24.5 | 9.90 | 1.90 | 無色透明 | 無し | 7.8 | 8.9 |
| 宮沢湖 | H28.8.29 | 10:50 | 曇り | 26.5 | 25.0 | 7.10 | 1.10 | 淡緑色濁 | 有り | 8.6 | 8.4 |
| 柴山沼 | H28.9.9 | 10:55 | 曇り | 28.0 | 27.0 | 4.30 | 1.30 | 淡緑色濁 | 有り | 7.5 | 8.6 |
| 山ノ神沼 | H28.9.9 | 11:45 | 曇り | 30.0 | 29.0 | 0.99 | 0.30 | 淡緑色濁 | 有り | 9.6 | 14 |
| 湖沼名 | COD (mg/L) | SS (mg/L) | 導電率 (mS/m) | 全窒素 (mg/L) | アンモニア性窒素 (mg/L) | 亜硝酸性窒素 (mg/L) | 硝酸性窒素 (mg/L) | 有機性窒素 (mg/L) | 全りん (mg/L) | りん酸性りん (mg/L) | クロロフィル a (µg/L) |
| 玉淀湖 | 1.6 | 5 | 13 | 1.0 | <0.1 | 0.004 | 0.88 | 0.15 | 0.044 | 0.02 | 1 |
| 円良田湖 | 4.0 | 2 | 10 | 1.5 | <0.1 | 0.012 | 1.1 | 0.54 | 0.027 | <0.01 | 17 |
| 間瀬湖 | 2.6 | 1 | 9 | 2.2 | <0.1 | 0.014 | 2.0 | 0.36 | 0.024 | <0.01 | 10 |
| 鎌北湖 | 3.7 | 3 | 9 | 1.7 | <0.1 | 0.008 | 1.6 | 0.26 | 0.025 | <0.01 | 9 |
| 宮沢湖 | 6.2 | 6 | 11 | 0.64 | 0.1 | 0.021 | 0.21 | 0.14 | 0.041 | <0.01 | 24 |
| 柴山沼 | 4.7 | 4 | 21 | 1.5 | 0.1 | 0.013 | 1.0 | 0.17 | 0.045 | <0.01 | 16 |
| 山ノ神沼 | 17 | 39 | 19 | 4.1 | <0.1 | 0.11 | 1.6 | 3.1 | 0.24 | <0.01 | 270 |

【 冬 季 】

| 湖沼名 | 採取年月日 | 採取時刻 | 天 候 | 気温 (°C) | 水温 (°C) | 全水深 (m) | 透明度 (m) | 色 相 | 濁り | pH | DO (mg/L) |
|-------|------------|-----------|------------|------------|-----------------|---------------|--------------|--------------|------------|---------------|----------------|
| 玉 淀 湖 | H29.2.24 | 13:25 | 晴れ | 10.5 | 6.0 | 16.30 | 4.30 | 無色透明 | 無し | 7.9 | 12 |
| 円良田湖 | H29.2.24 | 12:35 | 晴れ | 10.5 | 5.2 | 14.65 | 1.70 | 淡緑色透 | 無し | 7.8 | 12 |
| 間瀬湖 | H29.2.24 | 10:39 | 晴れ | 8.9 | 5.0 | 17.80 | 1.70 | 淡緑色透 | 無し | 7.7 | 12 |
| 鎌北湖 | H29.2.21 | 13:10 | 晴れ | 7.0 | 5.0 | 9.80 | 2.00 | 無色透明 | 無し | 7.9 | 12 |
| 宮沢湖 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 柴山沼 | H29.2.28 | 10:05 | 晴れ | 7.8 | 7.8 | 3.80 | 0.80 | 淡緑色濁 | 有り | 8.3 | 12 |
| 山ノ神沼 | H29.2.28 | 10:51 | 晴れ | 9.5 | 9.5 | 0.95 | 0.20 | 緑褐色濁 | 有り | 8.4 | 14 |
| 湖沼名 | COD (mg/L) | SS (mg/L) | 導電率 (mS/m) | 全窒素 (mg/L) | アンモニア性窒素 (mg/L) | 亜硝酸性窒素 (mg/L) | 硝酸性窒素 (mg/L) | 有機性窒素 (mg/L) | 全りん (mg/L) | りん酸性りん (mg/L) | クロロフィルa (μg/L) |
| 玉 淀 湖 | 1.9 | <1 | 18 | 1.1 | 0.1 | 0.021 | 0.92 | 0.32 | 0.055 | 0.04 | 0.8 |
| 円良田湖 | 4.6 | 3 | 13 | 1.0 | <0.1 | 0.009 | 0.70 | 0.03 | 0.020 | <0.01 | 21 |
| 間瀬湖 | 4.0 | 3 | 10 | 1.2 | <0.1 | 0.008 | 0.90 | 0.26 | 0.022 | <0.01 | 37 |
| 鎌北湖 | 2.7 | 3 | 12 | 1.1 | <0.1 | 0.010 | 0.98 | 0.28 | 0.020 | <0.01 | 17 |
| 宮沢湖 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 柴山沼 | 5.2 | 10 | 25 | 1.1 | <0.1 | 0.007 | 0.78 | 0.63 | 0.044 | <0.01 | 32 |
| 山ノ神沼 | 13 | 21 | 21 | 3.7 | <0.1 | 0.030 | 1.8 | 2.4 | 0.15 | <0.01 | 88 |

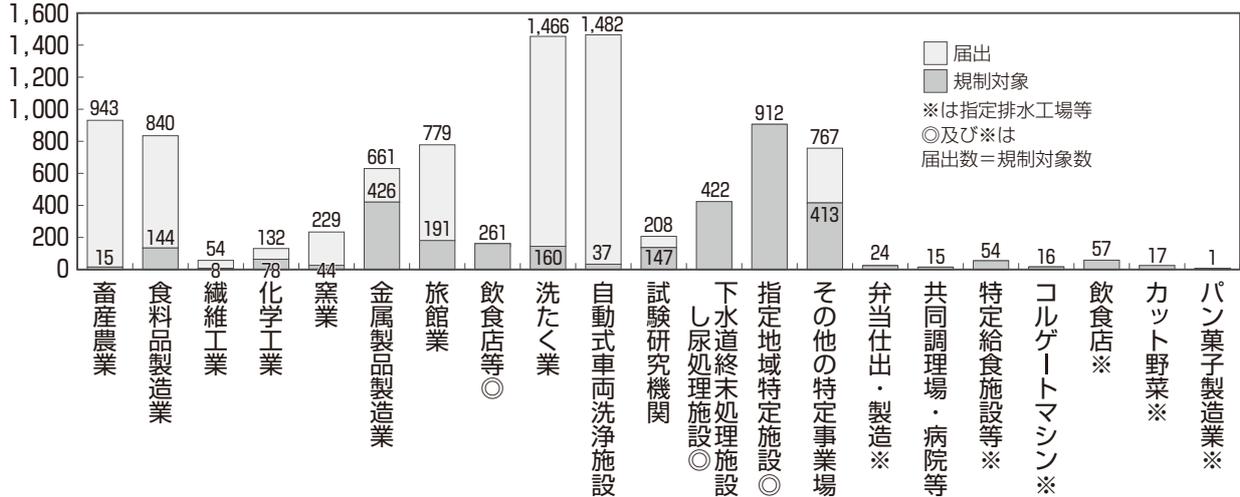
※ 各湖沼とも表層水（水面下0.5m）を採取
 ※ 宮沢湖の冬季調査は工事のため欠測

(7) 県全域水質汚濁発生源総括表（平成27年度）

| 区 分 | 基礎データ (フレーム) | 排水量 (m³/日) | BOD 負荷量 | | | | |
|-------------------|---------------------|------------|-----------|---------|-------------|---------|-------|
| | | | (kg/日) | 構成比 (%) | 前年度比 (kg/日) | | |
| 生活系 | 下 水 処 理 場 | 5,590 千人 | 1,566,613 | 4,341 | 6.3 | ▲ 1,674 | |
| | 合併処理浄化槽 (501人槽以上) | 107 ♪ | 35,953 | 232 | 0.4 | 41 | |
| | 合併処理浄化槽 (201~500人槽) | 27 ♪ | 7,446 | 226 | 0.3 | ▲ 20 | |
| | 合併処理浄化槽 (200人槽以下) | 721 ♪ | 201,891 | 10,816 | 15.7 | 441 | |
| | 単独処理浄化槽 (501人槽以上) | 0 ♪ | 0 | 0 | 0.0 | 0 | |
| | 単独処理浄化槽 (201~500人槽) | 0.2 ♪ | 14 | 1 | 0.0 | 0 | |
| | 単独処理浄化槽 (200人槽以下) | 757 ♪ | 65,073 | 3,443 | 5.0 | ▲ 159 | |
| | し 尿 処 理 場 | 120 ♪ | 5,598 | 17 | 0.0 | 11 | |
| | そ の 他 | 4 ♪ | 0 | 0 | 0.0 | 0 | |
| 雑 排 水 | 881 ♪ | 170,953 | 32,604 | 47.4 | ▲ 1,842 | | |
| 小 計 | 7,326 ♪ | 2,053,541 | 51,680 | 75.1 | ▲ 3,202 | | |
| 産業系 | 下 水 処 理 場 | 27 件 | 180,483 | 492 | 0.7 | ▲ 229 | |
| | 規 制 対 象 事 業 場 | 2,017 ♪ | 236,648 | 2,354 | 3.4 | ▲ 314 | |
| | そ の 他 事 業 場 | 12,901 ♪ | 68,685 | 6,075 | 8.9 | 390 | |
| | 小 計 | 14,945 ♪ | 485,816 | 8,921 | 13.0 | ▲ 153 | |
| 畜産系 | 下 水 処 理 場 | 27 件 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | |
| | 規 制 対 象 畜 舎 | 4 百頭 | 336 | 20 | 0.0 | 15 | |
| | その他の畜舎 | 牛 | 276 ♪ | 2,488 | 1,769 | 2.6 | ▲ 141 |
| | | 豚 | 1,040 ♪ | 1,404 | 2,080 | 3.0 | 57 |
| | | 馬 | 12 ♪ | 108 | 77 | 0.1 | 1 |
| 小 計 (全 飼 育 頭 数) | 1,332 ♪ | 4,336 | 3,946 | 5.7 | ▲ 68 | | |
| その他系 | 下 水 処 理 場 | 27 件 | 257,945 | 737 | 1.1 | ▲ 313 | |
| | 山 林 | 121,259 ha | - | 1,021 | 1.5 | 0 | |
| | 水 田 | 34,610 ♪ | - | 305 | 0.4 | ▲ 10 | |
| | そ の 他 | 223,582 ♪ | - | 2,236 | 3.2 | 9 | |
| | 小 計 | 379,451 ♪ | 257,945 | 4,299 | 6.2 | ▲ 314 | |
| 合 計 | - | 2,801,638 | 68,846 | 100 | ▲ 3,737 | | |

※ 「排水量」及び「BOD負荷量」は「基礎データ」を基に計算。

(8) 特定事業場・指定排水工場等の業種内容（平成28年度・政令市等を含む）



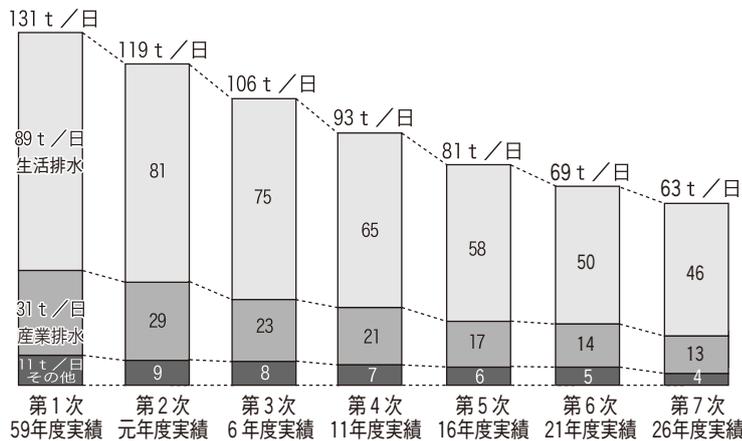
(9) 埼玉県における総量規制

① 指定地域（太線枠内）（平成29年4月1日現在）

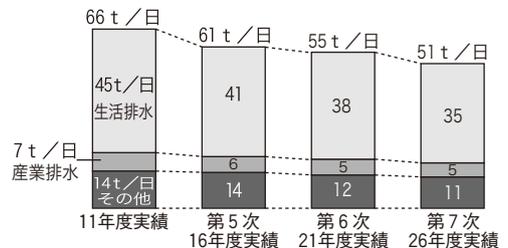
| | |
|---|------|
| 全域が指定地域となる市町村 | (52) |
| 一部が指定地域となる市町 (熊谷市、行田市、秩父市、加須市、深谷市、 皆野町、美里町、寄居町) | (8) |
| 全部が指定地域から除外される市町 (本庄市、神川町、上里町) | (3) |



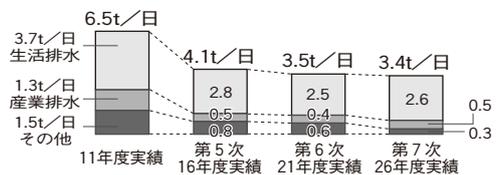
② 化学的酸素要求量



③ 窒素含有量



④ りん含有量



(10) 排水基準超過に対する行政措置状況（平成28年度）

| | 立入検査 件数 | 排水検査 検査数 | 排水基準 超過件数 | 行政処分 | | | | |
|------|------------|-------------|----------------|--------|-------------|--------------|----------------|-------------|
| | | | | 一時停止命令 | 改善命令 | 改善勧告 | 注 意 | その他 |
| 県 | 1,391 | 913 | 77 (8.4%) | 0 | 2 (0.2%) | 9 (1.0%) | 66 (7.2%) | 0 |
| 政令市等 | 1,297 | 1,056 | 169 (16.0%) | 0 | 0 | 12 (1.1%) | 154 (14.6%) | 3 (0.3%) |
| 合 計 | 2,688 | 1,969 | 246 (12.5%) | 0 | 2 (0.1%) | 21 (1.1%) | 220 (11.2%) | 3 (0.2%) |

※ () 内は排水検査件数に対する同欄件数の割合

(11) 生活排水対策重点地域の指定状況（平成29年4月1日現在）

| 流 域 名 | 関連流域市町村 | 生活排水対策重点 地域指定年月日 | 生活排水対策推進 計画策定年月 | 生活排水対策推進 協議会設置年月 |
|---------------|------------------------|---------------------|--|---------------------|
| 不老川流域 | 川越市、所沢市、 狭山市、入間市 | 平成3年8月9日 | 第1次 平成4年3月 第2次 平成19年3月 第3次 平成29年3月 | 平成5年4月 |
| 元小山川流域 | 本庄市、上里町 | 平成4年7月6日 | 平成5年3月 | 平成5年10月 |
| 中川上流域 | 加須市、羽生市、 久喜市 | 平成6年3月10日 | 平成7年3月 | 平成8年3月 |
| 赤平川流域 | 秩父市、小鹿野町 | 平成12年9月6日 | 平成14年3月 | 平成14年11月 |
| 荒川上流域 | 秩父市、横瀬町、 皆野町、長瀬町 | 平成14年2月18日 | 平成15年3月 | 平成15年11月 |
| 槻川・都幾川 上流域 | 嵐山町、小川町、 ときがわ町、東秩父村 | 平成14年12月19日 | 平成16年3月 | 平成17年2月 |

(12) 浄化槽設置基数及び浄化槽整備事業の推移

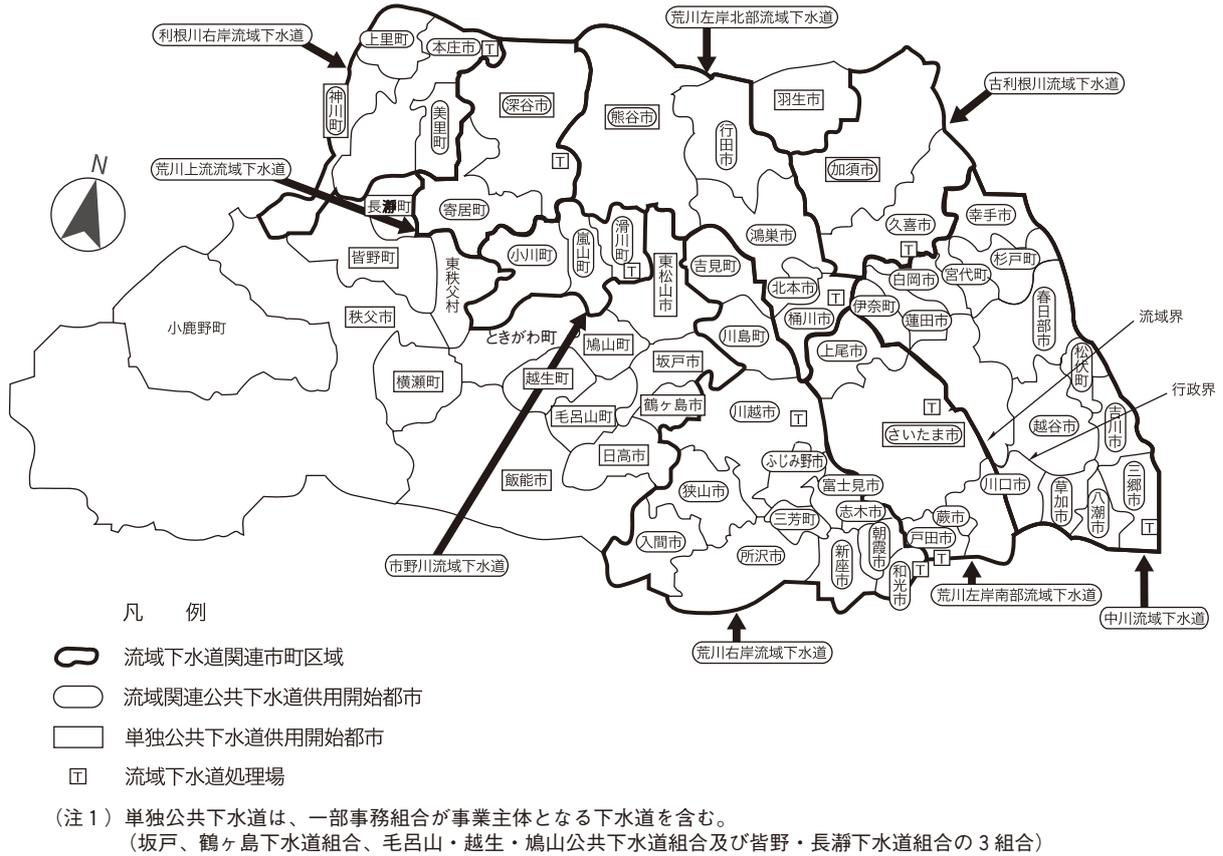
| | 浄化槽設置基数 | | | 浄化槽整備事業（県費補助） | | |
|------|--------------|------------------|-------------------|---------------|---------|-------------|
| | 総設置基数 （基） | うち合併処理 浄化槽（基） | 合併処理浄化槽 の割合（%） | 市町村数 | 補助基数（基） | 補助額 （千円） |
| 19年度 | 616,351 | 180,902 | 29.4 | 53 | 2,497 | 214,034 |
| 20年度 | 613,098 | 189,001 | 30.8 | 53 | 2,365 | 171,422 |
| 21年度 | 611,574 | 196,675 | 32.2 | 46 | 2,080 | 153,683 |
| 22年度 | 566,469 | 199,383 | 35.2 | 44 | 1,970 | 146,689 |
| 23年度 | 551,317 | 210,893 | 38.3 | 45 | 894 | 285,529 |
| 24年度 | 526,841 | 206,702 | 39.2 | 47 | 1,213 | 435,796 |
| 25年度 | 527,666 | 214,290 | 40.6 | 49** | 1,240 | 430,921 |
| 26年度 | 525,960 | 219,782 | 41.8 | 47** | 1,088 | 378,272 |
| 27年度 | 508,794 | 223,200 | 43.9 | 46** | 1,170 | 419,063 |
| 28年度 | 501,876 | 228,976 | 45.6 | 49** | 1,151 | 392,936 |

※ 皆野・長瀬下水道組合含む

(13) 下水道普及状況

| | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | |
|-------------|-------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 整備 状況 | 処理人口(万人) | 501 | 511 | 518 | 526 | 533 | 542 | 548 | 553 | 567 | 573 | 579 | 584 | 590 |
| | 処理面積 (km ²) | 586 | 599 | 608 | 622 | 633 | 644 | 654 | 665 | 673 | 679 | 688 | 694 | 703 |
| 処理人口普及率 (%) | 71.6 | 72.9 | 73.5 | 74.5 | 75.2 | 76.1 | 76.7 | 77.4 | 77.9 | 78.6 | 79.2 | 79.7 | 80.3 | |
| 処理面積整備率 (%) | 15.4 | 15.8 | 16.0 | 16.4 | 16.7 | 16.9 | 17.2 | 17.5 | 17.7 | 17.9 | 18.1 | 18.3 | 18.5 | |

(14) 埼玉県流域下水道・公共下水道計画現況（平成29年4月1日現在）

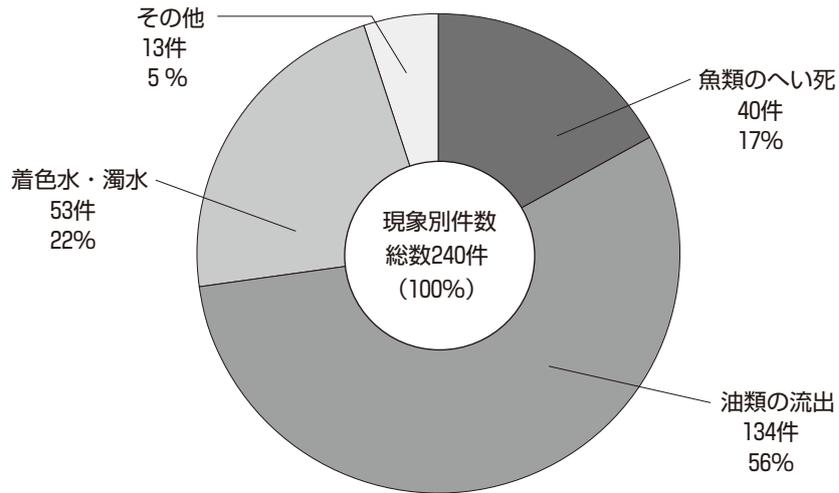


(15) 流域下水道の計画と現況（平成29年4月1日現在）

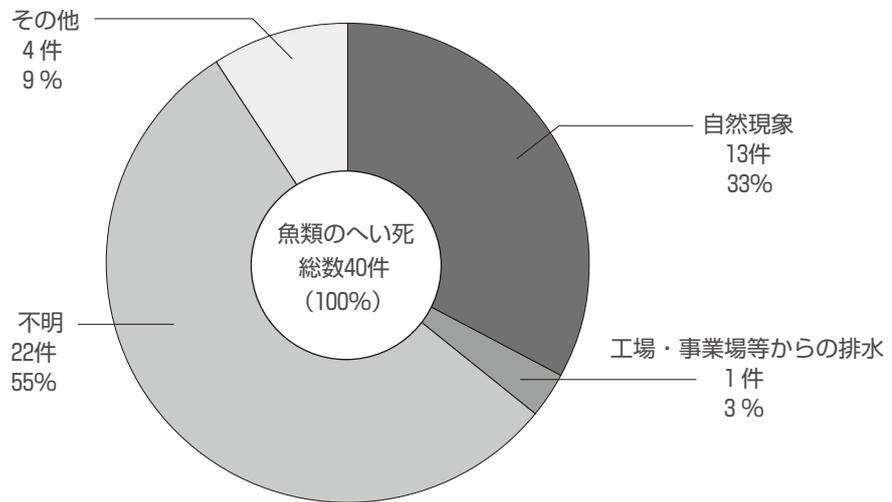
| 流域名 | 処理場 | 事業着手年月日 | 処理開始年月日 | 全体計画 | | 現況 | | |
|--------|---------------|-------------|------------|--------------------------|-------------|--------------------------|--------------------------|-------------|
| | | | | 処理能力 (m ² /日) | 処理区域内人口 (人) | 処理能力 (m ² /日) | 処理水量 (m ² /日) | 処理区域内人口 (人) |
| 荒川左岸南部 | 荒川水循環センター | 昭和42年3月27日 | 昭和47年10月1日 | 895,400 8系列 | 1,764,500 | 1,070,400 8系列 | 651,415 | 1,890,695 |
| 荒川左岸北部 | 元荒川水循環センター | 昭和46年12月13日 | 昭和56年4月1日 | 233,100 5系列 | 434,300 | 223,750 3.5系列 | 143,580 | 330,653 |
| 荒川右岸 | 新河岸川水循環センター | 昭和46年12月13日 | 昭和56年4月1日 | 789,900 | 1,574,090 | 697,900 5系列 | 513,250 | 1,613,818 |
| | 新河岸川上流水循環センター | — | 平成18年4月1日 | | | 34,200 1系列 | | |
| 中川 | 中川水循環センター | 昭和48年3月29日 | 昭和58年4月1日 | 765,000 14系列 | 1,454,000 | 613,200 9系列 | 414,805 | 1,346,059 |
| 古利根川 | 古利根川水循環センター | 昭和52年9月17日 | 昭和58年4月1日 | 89,500 4系列 | 128,300 | 74,400 3系統 | 41,170 | 111,505 |
| 荒川上流 | 荒川上流水循環センター | 昭和61年3月15日 | 平成4年4月1日 | 15,900 3系列 | 25,600 | 10,152 1.5系列 | 4,865 | 18,228 |
| 市野川 | 市野川水循環センター | 平成元年10月3日 | 平成6年4月1日 | 22,800 4系列 | 42,200 | 17,600 3系列 | 11,357 | 36,797 |
| 利根川右岸 | 小山川水循環センター | 平成17年3月14日 | 平成21年4月1日 | 52,800 4系列 | 74,400 | 30,000 2系列 | 13,799 | 50,756 |
| 計 | — | — | — | 2,864,400 | 5,497,390 | 2,771,602 | 1,840,340 | 5,398,511 |

(注) 処理水量は、28年度実績（日平均）であり、計欄は、各流域処理水量（m²/日）の合計値である。

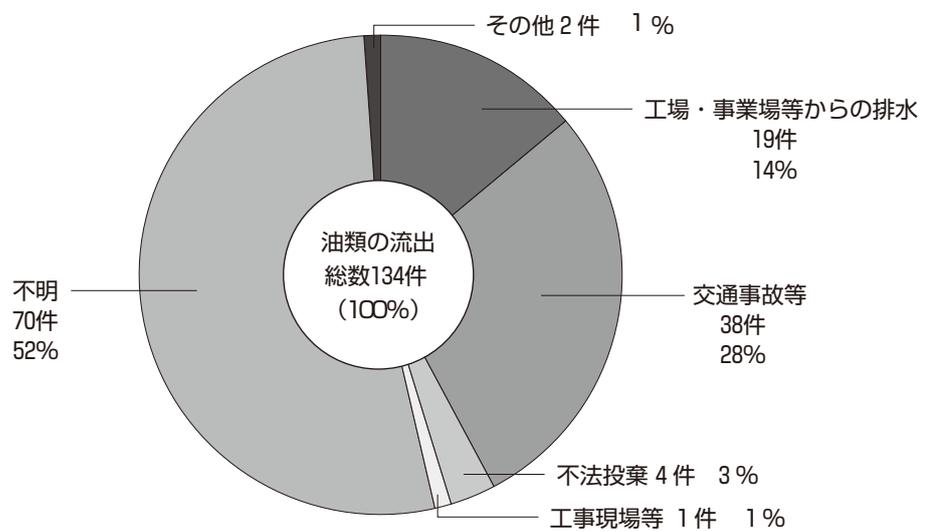
(16) 異常水質事故の現象別発生件数（平成28年度）



(17) 異常水質事故における魚類のへい死の発生原因内訳（平成28年度）



(18) 異常水質事故における油類の流出の発生原因内訳（平成28年度）



(19) 県内の雨水・再生水利用施設の設置年度別施設数

| 施設区分 | 設置年度 | | | | | | | | |
|----------------------------------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | H20 まで | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 計 |
| 1. 雨水のみ利用 | 430 | 22 | 12 | 7 | 10 | 13 | 37 | 23 | 554 |
| 2. 建物から発生した排水を自家処理し、再利用 | 46 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 46 |
| 3. 複数の建物から発生した排水を一つの処理施設で浄化し、再利用 | 16 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 18 |
| 4. 下水処理場で処理した下水再生水を利用 | 17 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17 |
| 計 | 509 | 22 | 12 | 7 | 10 | 13 | 39 | 23 | 635 |

平成28年度全国水需給動態調査（国土交通省）

（注）2. 及び3. は雨水と再生水を併用している施設を含む

(20) 県内の雨水・再生水利用施設の利用目的別件数

| 施設区分 | 利用目的 | | | | | | | | 施設数 |
|----------------------------------|-------|-----|-----------|------------------|----|----|-----|-----|-----|
| | 水洗トイレ | 散水 | 冷却・ 冷房 | 洗車・ 洗浄・ 清掃 | 修景 | 消防 | その他 | | |
| 1. 雨水のみ利用 | 284 | 300 | 16 | 82 | 18 | 15 | 28 | 554 | |
| 2. 建物から発生した排水を自家処理し、再利用 | 42 | 8 | 9 | 7 | 4 | 0 | 0 | 46 | |
| 3. 複数の建物から発生した排水を一つの処理施設で浄化し、再利用 | 11 | 2 | 7 | 2 | 1 | 0 | 1 | 18 | |
| 4. 下水処理場で処理した下水再生水を利用 | 2 | 1 | 14 | 16 | 2 | 0 | 4 | 17 | |
| 合計 | 339 | 311 | 46 | 107 | 25 | 15 | 33 | 635 | |

平成28年度全国水需給動態調査（国土交通省）

（H28.3月末時点）

（注）複数の用途に使用している施設が多く、雨水・再生水利用施設数と利用目的別件数の合計は一致しない。

(21) 地域別地下水採取量

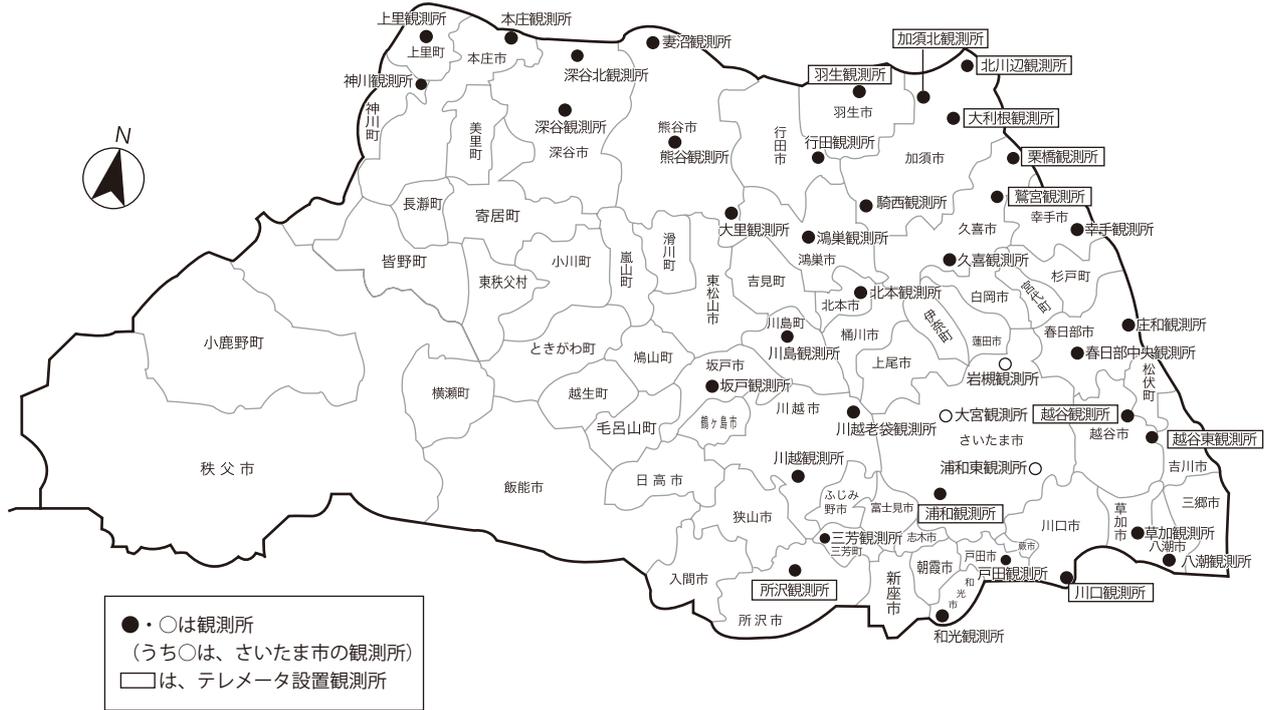
（単位：千m³／日）

| 地域名 | 平成23年 | | | | 平成24年 | | | | 平成25年 | | | |
|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| | 水道用 | 建築物用 | 工業用 | 計 | 水道用 | 建築物用 | 工業用 | 計 | 水道用 | 建築物用 | 工業用 | 計 |
| 東部地域 | 51.9 | 3.3 | 10.8 | 66.0 | 49.0 | 3.2 | 12.6 | 64.8 | 50.6 | 3.3 | 10.8 | 64.7 |
| 中央部地域 | 122.0 | 4.0 | 26.7 | 152.7 | 124.8 | 4.1 | 26.9 | 155.9 | 128.5 | 3.9 | 25.3 | 157.8 |
| 西部地域 | 104.4 | 12.2 | 36.8 | 153.4 | 104.9 | 12.2 | 36.5 | 153.7 | 105.7 | 10.2 | 35.8 | 151.6 |
| 北東部地域 | 59.2 | 3.4 | 18.7 | 81.3 | 56.1 | 3.5 | 18.2 | 77.8 | 53.6 | 2.9 | 19.5 | 76.1 |
| 比企地域 | 21.1 | 0.7 | 4.1 | 26.0 | 20.3 | 1.0 | 3.3 | 24.6 | 19.7 | 1.0 | 3.2 | 23.8 |
| 北部地域 | 133.2 | 3.3 | 52.2 | 188.7 | 133.3 | 3.4 | 50.5 | 187.2 | 130.1 | 2.8 | 47.6 | 180.5 |
| 計 | 491.7 | 26.9 | 149.3 | 668.0 | 488.5 | 27.5 | 148.0 | 664.0 | 488.2 | 24.1 | 142.2 | 654.5 |
| | 73.6% | 4.0% | 22.4% | 100% | 73.6% | 4.1% | 22.3% | 100% | 74.6% | 3.7% | 21.7% | 100% |

| 地域名 | 平成26年 | | | | 平成27年 | | | | 平成28年 | | | | 対前年比(%) |
|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|--------|---------|
| | 水道用 | 建築物用 | 工業用 | 計 | 水道用 | 建築物用 | 工業用 | 計 | 水道用 | 建築物用 | 工業用 | 計 | |
| 東部地域 | 48.1 | 3.4 | 8.3 | 59.8 | 51.1 | 4.3 | 8.0 | 63.4 | 52.2 | 4.3 | 7.8 | 64.3 | 101.4 |
| 中央部地域 | 131.6 | 4.2 | 26.3 | 162.1 | 129.5 | 4.5 | 23.3 | 157.4 | 126.4 | 5.1 | 22.7 | 154.2 | 98.0 |
| 西部地域 | 101.8 | 12.3 | 36.3 | 150.3 | 103.5 | 10.2 | 38.7 | 152.5 | 107.1 | 10.5 | 40.6 | 158.2 | 103.7 |
| 北東部地域 | 51.8 | 3.0 | 19.1 | 74.0 | 50.4 | 3.2 | 19.2 | 72.8 | 48.9 | 2.9 | 19.8 | 71.6 | 98.4 |
| 比企地域 | 19.1 | 0.7 | 3.9 | 23.7 | 19.1 | 0.7 | 3.9 | 23.7 | 19.7 | 0.7 | 3.4 | 23.8 | 100.4 |
| 北部地域 | 118.5 | 2.8 | 46.0 | 167.3 | 127.0 | 3.1 | 45.3 | 175.4 | 124.3 | 2.9 | 40.7 | 167.9 | 95.7 |
| 計 | 470.9 | 26.4 | 140.0 | 637.3 | 480.6 | 26.0 | 138.5 | 645.1 | 478.6 | 26.4 | 135.0 | 640.0 | 99.2 |
| | 73.9% | 4.1% | 22.0% | 100% | 74.5% | 4.0% | 21.5% | 100% | 74.8% | 4.1% | 21.1% | 100.0% | - |

注 (1) 水道用は採取量報告に基づく数量。
 (2) 建築物用は条例に基づく採取量報告と建築物用地下水の採取の規制に関する法律に基づく採取量報告数値を合算。
 (3) 工業用は条例に基づく採取量報告と工業用水法に基づく採取量報告を合算。
 但し、2種指定地域やその他の地域は工業統計による数値を採用。

(22) 地盤沈下・地下水観測所分布図（平成29年4月1日現在）



(23) 年間最大沈下量 経年変化

| 年次 | 年間最大沈下量 | 観測市町村 | 年次 | 年間最大沈下量 | 観測市町村 | 年次 | 年間最大沈下量 | 観測市町村 | |
|-------|---------|-----------------|------------|---------|-------------|------------|--|-------------|--|
| 昭和36年 | 18.7 | 川口市 | 昭和56年 | 6.7 | 久喜市 (旧鷲宮町) | 平成13年 | 2.2 | 越谷市 | |
| 37年 | 23.6 | | 57年 | 5.3 | 久喜市 (旧栗橋町) | 14年 | 2.4 | 加須市 (旧北川辺町) | |
| 38年 | 20.8 | | 58年 | 5.2 | 久喜市 (旧鷲宮町) | 15年 | 2.5 | 所沢市 | |
| 39年 | 18.8 | | 59年 | 6.0 | 久喜市 (旧栗橋町) | 16年 | 4.7 | 越谷市 | |
| 40年 | 18.5 | | 60年 | 5.6 | | 17年 | 1.8 | 久喜市 (旧栗橋町) | |
| 41年 | 15.6 | | 61年 | 4.7 | | 18年 | 1.9 | 加須市 (旧大利根町) | |
| 42年 | 16.5 | | 62年 | 4.8 | | 19年 | 2.7 | | |
| 43年 | 16.0 | 戸田市 | 63年 | 5.4 | | 20年 | 1.1 | 所沢市 | |
| 44年 | 13.8 | 草加市 | 平成元年 | 4.6 | 21年 | 1.6 | | | |
| 45年 | 20.9 | 朝霞市 | 2年 | 4.4 | 22年 | 2.4 | 加須市 | | |
| 46年 | 19.4 | 新座市 | 3年 | 4.2 | 23年 | 12.5* | | | |
| 47年 | 23.8 | 所沢市 | 4年 | 4.7 | 加須市 (旧北川辺町) | 24年 | 2.3 | 幸手市 | |
| 48年 | 25.2 | | 5年 | 3.2 | 久喜市 (旧鷲宮町) | 25年 | 2.3 | 加須市 | |
| 49年 | 27.2 | | 6年 | 4.8 | | 26年 | 1.2 | | |
| 50年 | 14.7 | | 7年 | 4.4 | 越谷市 | 27年 | 1.0 | 川越市 | |
| 51年 | 14.1 | | 8年 | 4.0 | 久喜市 (旧栗橋町) | 28年 | 1.8 | 加須市 | |
| 52年 | 9.8 | | 久喜市 (旧鷲宮町) | 9年 | 3.4 | 越谷市 | *平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動による地盤沈下の影響が大きいため参考値とする。 | | |
| 53年 | 12.5 | | | 10年 | 2.4 | | | | |
| 54年 | 9.6 | 久喜市 (旧鷲宮町・旧栗橋町) | | 11年 | 3.3 | 久喜市 (旧鷲宮町) | | | |
| 55年 | 7.9 | 久喜市 (旧鷲宮町) | 12年 | 2.9 | | | | | |

5 騒音・振動・悪臭関係

(1) 騒音に係る環境基準（騒音の評価手法は、等価騒音レベル）

ア 一般地域の環境基準

| 地域の 類型 | 該 当 地 域 | 時 間 の 区 分 | |
|-----------|--|----------------------------|-------------------------------|
| | | 昼 間 〔午前6時から 午後10時まで〕 | 夜 間 〔午後10時から 翌日の午前6時まで〕 |
| A | 第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域 第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域 | 55デシベル以下 | 45デシベル以下 |
| B | 第1種住居地域 第2種住居地域 準住居地域 用途地域の定めのない地域 | | |
| C | 近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域 | 60デシベル以下 | 50デシベル以下 |

（備考）工業専用地域については適用されない。

イ 道路に面する地域の環境基準

| 地域の区分 | 昼 間 | 夜 間 |
|--|----------|----------|
| A地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域 | 60デシベル以下 | 55デシベル以下 |
| B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域及びC地域のうち車線を有する道路に面する地域 | 65デシベル以下 | 60デシベル以下 |

（備考）車線とは、1縦列の自動車が安全かつ円滑に走行するために必要な一定の幅員を有する帯状の車道部分をいう。

ウ 幹線交通を担う道路に近接する空間の環境基準（特例）

| 区 分 | 昼 間 | 夜 間 |
|---------|----------|----------|
| 屋 外 | 70デシベル以下 | 65デシベル以下 |
| 窓を閉めた屋内 | 45デシベル以下 | 40デシベル以下 |

（備考）1 幹線交通を担う道路とは、高速自動車国道、一般国道、県道、4車線以上の市町村道及び自動車専用道路をいう。
2 近接する空間とは、道路端からの距離が2車線以下では15m、3車線以上では20mの区間をいう。
3 窓を閉めた屋内の基準を適用することができるのは、個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれていると認められるときである。

(2) 悪臭防止法に基づく規制内容

| 物質濃度規制地域 | 臭気指数規制地域 |
|-------------------|-----------------|
| 22の特定悪臭物質の濃度による規制 | 臭気全体のおいの強さによる規制 |

※臭気指数とは、においを感じなくなるまで、においを無臭空気で希釈した時の希釈倍率（臭気濃度）を対数化して、10倍した数値。

(3) 騒音規制法と振動規制法の対象工場等数
(H28.3.31現在)

| 区分 | 施設・作業の種類 | 工場等数 | |
|------------------|----------------|--------------------------------|-----|
| 騒音規制法対象 | 金属加工機械 | 3,006 | |
| | 空気圧縮機等 | 4,596 | |
| | 土石用粉碎機等 | 277 | |
| | 織機 | 326 | |
| | 建設用資材製造機械 | 191 | |
| | 穀物用製粉機 | 18 | |
| | 木材加工機械 | 1,010 | |
| | 抄紙機 | 47 | |
| | 印刷機械 | 929 | |
| | 合成樹脂用射出成形機 | 744 | |
| | 鋳造型機 | 70 | |
| | 計 | 11,214 | |
| | 特定建設作業 | くい打機等を使用する作業 | 100 |
| | | びょう打機を使用する作業 | 0 |
| | | さく岩機を使用する作業 | 784 |
| | | 空気圧縮機を使用する作業 | 177 |
| | | コンクリートプラント又はアスファルトプラントを設けて行う作業 | 0 |
| バックホウを使用する作業 | | 232 | |
| トラクターショベルを使用する作業 | | 3 | |
| ブルドーザーを使用する作業 | | 32 | |
| 計 | 1,328 | | |
| 振動規制法対象 | 金属加工機械 | 2,773 | |
| | 圧縮機 | 2,297 | |
| | 土石用粉碎機等 | 194 | |
| | 織機 | 270 | |
| | コンクリートブロックマシン等 | 20 | |
| | 木材加工機械 | 63 | |
| | 印刷機械 | 609 | |
| | ゴム練用のロール機等 | 59 | |
| | 合成樹脂用射出成形機 | 585 | |
| | 鋳造型機 | 53 | |
| | 計 | 6,923 | |
| | 特定建設作業 | くい打機等を使用する作業 | 106 |
| | | 鋼球を使用して破壊する作業 | 0 |
| | | 舗装版粉碎機を使用する作業 | 13 |
| ブレーカーを使用する作業 | | 640 | |
| 計 | | 759 | |

(4) 自動車騒音に係る要請限度（騒音の評価手法は、等価騒音レベル）

ア 区域の区分と要請限度

| | 区域の区分 | 時間の区分 | |
|---|---|--------|--------|
| | | 昼間 | 夜間 |
| 1 | a 区域及び b 区域のうち 1 車線を有する道路に面する区域 | 65デシベル | 55デシベル |
| 2 | a 区域のうち 2 車線以上の車線を有する道路に面する区域 | 70デシベル | 65デシベル |
| 3 | b 区域のうち 2 車線以上の車線を有する道路に面する区域及び c 区域のうち車線を有する道路に面する区域 | 75デシベル | 70デシベル |

イ 幹線交通を担う道路に近接する区域に係る要請限度（特例）

| 昼間 | 夜間 |
|--------|--------|
| 75デシベル | 70デシベル |

ウ 区域の類型

| 区域の類型 | 該当地域 |
|-------|--|
| a 区域 | 第 1 種低層住居専用地域、第 2 種低層住居専用地域 第 1 種中高層住居専用地域、第 2 種中高層住居専用地域 |
| b 区域 | 第 1 種住居地域、第 2 種住居地域、準住居地域、用途地域の定めのない地域 |
| c 区域 | 近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域 |

(5) 新幹線鉄道騒音に係る環境基準の概要
環境基準

| 地域の類型 | 基準値 |
|-------|----------|
| I | 70デシベル以下 |
| II | 75デシベル以下 |

(注) 地域の類型 I：主として住居の用に供される地域。
地域の類型 II：I 以外の地域であって通常の生活を保全する必要がある地域。

(6) 新幹線鉄道騒音に係る環境基準の地域指定の概要

| | |
|---|---|
| 1 | 指定地域の範囲 東北新幹線・上越新幹線の軌道中心線から左右両側にそれぞれ300m以内の地域。ただし、戸田市、蕨市及びさいたま市（旧大宮市の区域を除く。）の区域では軌道中心線から左右両側にそれぞれ200m以内の地域とし、また、長大スパンけた橋りょうの各橋台からそれぞれ400mの区間では、軌道中心線から左右両側にそれぞれ400m以内の地域とする。 |
| 2 | 類型の当てはめ 類型 I 第 1 種低層住居専用地域、第 2 種低層住居専用地域、第 1 種中高層住居専用地域、第 2 種中高層住居専用地域、第 1 種住居地域、第 2 種住居地域、準住居地域、用途地域が定められていない地域 類型 II 近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域 |
| 3 | 指定から除外する地域及び類型を当てはめない地域 工業専用地域、河川区域、鉄道用地 |

(7) 東北・上越新幹線鉄道騒音・振動測定結果（平成28年度）

| 新幹線名 | 測定区域 (測定年月日) | 用途地域（類型） | 騒音レベル（デシベル） | | | 振動レベル（デシベル） | |
|-------|--------------------------|------------------------|----------------|-----|------|-------------|----|
| | | | 25m | 50m | 100m | 25m | |
| 東北新幹線 | 大宮駅以北 | 上尾（上り側） (H28.10.13) | 第2種住居地域 (I) | 77 | 74 | — | 53 |
| | | 伊奈（上り側） (H28.4.27) | 無指定 (I) | 68 | 67 | 63 | 55 |
| | | 白岡（下り側） (H28.4.12) | 第1種住居地域 (I) | 65 | 66 | 60 | 58 |
| | | 久喜（下り側） (H28.10.19) | 第1種住居地域 (I) | 69 | 66 | 61 | 59 |
| | 大宮駅以南 | 戸田（下り側） (H28.5.19) | 第1種住居地域 (I) | 71 | 68 | — | 48 |
| | | 戸田（上り側） (H28.6.14) | | 76 | 68 | — | 44 |
| 上越新幹線 | 上尾（下り側） (H28.5.26) | 無指定 (I) | 67 | 68 | 67 | 50 | |
| | 鴻巣（上り側） (H28.6.10) | 無指定 (I) | 73 | 69 | 68 | 63 | |
| | 行田（下り側） (H28.4.8) | 第1種住居地域 (I) | 72 | 68 | 59 | 62 | |
| | 熊谷宮本（下り側） (H28.5.31) | 商業地域 (II) | 67 | 65 | 60 | 53 | |
| | 熊谷三ヶ尻（下り側） (H28.4.19) | 無指定 (I) | 69 | 69 | 65 | 42 | |
| | 本庄（下り側） (H28.5.12) | 無指定 (I) | 70 | 67 | 61 | 54 | |

(注) 1 測定結果欄の距離は、測定地点側の軌道中心からの距離である。
2 測定結果欄の_は、環境基準値を超えたことを示す。

(8) 航空機騒音に係る環境基準の概要

○環境基準（Lden）：平成25年4月1日施行

| 地域の類型 | 基準値 |
|-------|----------|
| I | 57デシベル以下 |
| II | 62デシベル以下 |

(備考) I 類型：専ら住居の用に供される区域

II 類型：I 以外の地域であって、通常の生活を保全する必要がある区域

※Lden（時間帯補正等価騒音レベル）とは、昼間（7：00～19：00）、夕（19：00～22：00）、夜間（22：00～7：00）の時間帯別に重みを付けて求めた等価騒音レベルである。

(9) 航空機騒音に係る環境基準の地域指定の概要

ア 対象飛行場

入間飛行場、横田飛行場

イ 指定地域の範囲

| 対象 | 範囲（滑走路中心線から） | | | |
|-------|--------------|------|------|------|
| | 東側 | 西側 | 南側 | 北側 |
| 入間飛行場 | 3 km | 2 km | 7 km | 10km |
| 横田飛行場 | 3 km | 2 km | 都県境 | 17km |

ウ 地域の類型を当てはめる地域

| 地域の類型 | 当てはめる地域 |
|-------|--|
| I | 第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域、第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域、用途地域の定めのない地域 |
| II | 近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域 |

エ 当てはめから除外する地域

工業専用地域、入間基地内

(10) 航空機騒音発生状況概要（平成28年度）

| | 番号 | 測定地 | 点類型 | ※1 Lden (デシベル) | 騒音発生回数 (上段：総数、 下段：1日平均) | | 有効測定日数 (日) |
|---------|----|-----------------------|-----|-------------------|-------------------------------|-----|---------------|
| | | | | | | | |
| 入間飛行場南側 | 1 | 康寿園 (所沢市東狭山ヶ丘) | I | 59 | 14,823 ----- 41 | 365 | |
| | 2 | 宮前小学校 (所沢市東狭山ヶ丘) | I | 57 | 14,450 ----- 40 | 365 | |
| | 3 | 所沢西高等学校 (所沢市北野新町) | I | 55 | 8,021 ----- 22 | 365 | |
| | 4 | 小手指小学校 (所沢市小手指元町) | I | 51 | 6,251 ----- 17 | 365 | |
| 入間飛行場北側 | 5 | 狭山緑陽高等学校 (狭山市広瀬東) | I | 56 | 14,377 ----- 39 | 365 | |
| | 6 | 綜研化学駐車場 (狭山市柏原) | I | 62 | 16,257 ----- 45 | 365 | |
| | 7 | 柏原小学校 (狭山市柏原) | I | 55 | 9,741 ----- 27 | 365 | |
| | 8 | 老人福祉センター宝荘 (狭山市柏原) | I | 53 | 9,635 ----- 26 | 365 | |
| 横田飛行場北側 | 9 | 金子小学校 (入間市西三ツ木) | I | 56 | 5,463 ----- 15 | 365 | |
| | 10 | 飯能南高等学校 (飯能市阿須) | I | 52 | 5,047 ----- 14 | 365 | |
| | 11 | 加治東小学校 (飯能市岩沢) | I | 49 | 3,956 ----- 11 | 365 | |
| | 12 | 飯能第一中学校 (飯能市双柳) | I | 49 | 4,403 ----- 12 | 365 | |

※ Lden 欄の_は、環境基準値を超えたことを示す。

(11) 悪臭防止法に基づく臭気指数規制の概要

ア 敷地境界線における規制基準

| 区域区分 | | 基準値（臭気指数） | |
|------|---------------|-----------|-----|
| | | (1) | (2) |
| A 区域 | (B、C区域を除く区域) | 15 | 15 |
| B 区域 | (農業振興地域) | 18 | 21 |
| C 区域 | (工業地域・工業専用地域) | 18 | 18 |

基準値(1) 熊谷市、川口市、秩父市(一部)、所沢市、飯能市、加須市、東松山市、狭山市、羽生市、鴻巣市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、吉見町、皆野町、長瀨町、杉戸町、松伏町

基準値(2) 本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町

イ 煙突等の排出口における規制基準

敷地境界線の基準を用いて、悪臭防止法施行規則第6条の2に定める換算式により算出します。

ウ 排出水中の規制基準

敷地境界線の基準を用いて、悪臭防止法施行規則第6条の3に定める換算式により算出します。

換算式 $I_w = L + 16$

I_w : (排出水の臭気指数)

L : (敷地境界線における規制基準)

(12) 騒音・振動・悪臭に係る苦情件数の推移

(単位：件)

| | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度* |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 騒音 | 工場・事業場 | 344 | 331 | 342 | 230 | 228 |
| | 建設作業 | 263 | 336 | 306 | 312 | 289 |
| | 交通 | 47 | 45 | 51 | 63 | 55 |
| | 近隣 | 197 | 189 | 201 | 178 | 131 |
| | その他 | 216 | 229 | 267 | 257 | 282 |
| | 合計 | 1,067 | 1,130 | 1,167 | 1,040 | 985 |
| 振動 | 工場・事業場 | 57 | 40 | 48 | 23 | 23 |
| | 建設作業 | 99 | 113 | 127 | 78 | 85 |
| | 交通 | 14 | 10 | 11 | 12 | 9 |
| | その他 | 5 | 13 | 11 | 10 | 14 |
| | 合計 | 175 | 176 | 197 | 123 | 131 |
| 悪臭 | 製造事業所 | 165 | 154 | 136 | 124 | 127 |
| | 家庭生活 | 109 | 106 | 68 | 89 | 89 |
| | 商店・飲食店 | 27 | 32 | 32 | 19 | 25 |
| | その他 | 444 | 391 | 394 | 327 | 325 |
| | 合計 | 745 | 683 | 630 | 559 | 566 |

※平成28年度は速報値

5

騒音・振動・悪臭関係